

安息日学校のレッスン

2018年

三人の天使のメッセージ

第4天使の奉仕 - 最終警告

製作 : サバススクール学科

第四天使省

レッスン 1 - 永遠の福音

黄金の詩: 「そして、私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た。そして彼は、地上に住む人々、すべての国民、親族、言語、そして人々に宣べ伝える永遠の福音を持っていた。」アポック書。 14:6。

日曜日

「そして私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、そして彼は福音を持っていた。」アポック。 14:6。

「ゴスペル」という言葉は「良い知らせ」を意味します。イエスが「主の御霊が……私に福音を伝えるよう油を注いでくださった」(ルカ 4:18)と語られた原文の「福音を伝える」と訳されている同じ用語は、他の箇所でも「良い知らせ」として使われています。……彼らに言った、「恐れるな。「見よ、わたしはあなたたちに大きな喜びの良い知らせを伝えます。それはすべての民にとってのものであります。なぜなら、今日ダビデの町であなたたちに救い主、すなわち主キリストが生まれたからです。」(ルカ 2:10,11)。天使はこの良い知らせを次のように要約しました。「今日、ダビデの町であなたに救い主が生まれました。それは主キリストです。」「神はご自分の民を罪から救ってくださいます」(マタイ 1:21)。このように、福音はイエスが私たちが罪から救うために来られたキリストであることを私たちに告げます。「罪は律法を犯すことです」(ヨハネ第一 3:4)。したがって、イエスが私たちが律法違反から救い、律法に従順にするために来られたことがわかります。そのためには、私たちが持っている力を受け取らなければなりません。パウロはこう言いました、「私は…罪の下に売られているのです」(ローマ7:14)。私たちが罪から解放する力は「神の力であるキリスト」です(1コリント1:24)。したがって、福音の良い知らせは、キリストの到来の知らせであり、十戒の違反や不従順から私たちが救う神の力です。

1) 福音とは何ですか? (ロマ 1:16)

A.: 「私は福音を恥じていません。福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。」(ローマ 1:16)

2) 神の力を受けて救われるには誰を信じるべきですか?

A.: 「主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家も救われます。」(使徒 16:31) 「そして、他の誰にも救いはありません。なぜなら、私たちが救われるために天に与えられた名前は他にないからです」(使徒言行録4:12)。

月曜日

「そして私は別の天使が天国の真ん中を飛んでいるのを見た…」アポック。 14:6。

1) 福音はどこで宣べ伝えられるべきですか？

A.: 「そして、この王国の福音は、すべての国民への証しとして、全世界に宣べ伝えられるでしょう。」
(マタイ 24:14)

ヨハネは、天使が福音を宣べ伝えるために空を飛んでいるのを見た。実際のところ、空で何かが起こった場合、見たい人は誰でもそれを見ることができます。神はこの言葉で、福音の良い日より、つまり私たちを罪から救い出す神の力としてのキリストの福音がすべての人に宣べ伝えられることを望んでいることを明らかにしています。「神は……すべての人が救われることを望んでおられます」（1テモテ2:3,4）。イエスは私たち一人一人に、「全世界に出て行って、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい」（マルコ16:15）と言われます。神は私たちがこの聖なる業において自分の能力のすべてを発揮することを期待されています。

「むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行きなさい」（マタイ10:6）。イスラエル人は安息日を守る者でした。福音はまずこの階級の人々に宣べ伝えられなければなりません。他の皆の次に、「あなたがたはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てまでわたしの証人となるでしょう」（使徒1:8）。

かつて使徒たちはキリストの呼びかけに応え、「彼らの声は全地に響き渡り、彼らの言葉は世の果てにまで響き渡った」（ローマ10:18）。パウロは、当時、「福音は……天の下のあらゆる生き物に宣べ伝えられた」（コロサイ1:23）と述べています。そしてイエスは私たちを同じ働きに招いておられます。黙示録の天使は、「あらゆる国民、部族、言語、そして人々に福音を宣べ伝えるよう命じられました（黙示録 14:3）。

14:6)。天使という言葉は、「使者」を意味する原文の翻訳です。私たちはこのメッセンジャーとして召されています。私たちはあなたの招きに従うでしょうか？

火曜日

「そして、私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、そして彼は永遠の福音を持っていた。」アポック。 14:6。

永遠という言葉は、常に存在し、決して変化しないものを意味します。聖書は神を永遠のお方と呼び、「今おられる方、かつておられた方、そしてこれから来られる方」（黙示録 1:8）と述べています。福音も同様です。それは創世記の時代と今日も同じであり、将来も同じです。それは最終回で説教されます。新約聖書の時代に、パウロは「聖書は…アブラハムに良いよりを宣べ伝えた」と宣言しました（ガラテヤ 3:8）。アブラムはパウロより2000年近く前に生きていました。そして彼も同じ福音を受けました。

日曜日のレッスンで、私たちは福音が私たちを罪から解放する神の力としてのキリストの発表であることを学びました。創世記は、この良い知らせがアダムの墮落直後にエデンで語られたことを示しています。エホバ神は蛇にこう言われました。「わたしはあなたとそのとの間に、またあなたの子孫とその子孫の間に敵意を置きます。これはあなたを傷つけるでしょう

そうすれば、彼のかかとを打撲することになるでしょう」（創世記3:15）。これは、その性の子孫のうちの誰かが来て、蛇であるサタンを倒すだろうという発表でした。サタンはあなたの頭を打ち砕くでしょう。その子孫が人間イエス・キリストでした。ルカ3章では、イエスの母マリアの父である祖父ヨセフから始まり、イエスの母の両親が一人ずつ言及されています。このテキストは、最初の父親であるアダムに私たちを導きます（ルカ 3:38）。イエスはカルバリの十字架でサタンの頭に傷を負わせました。

「主権と権力を剥奪し、それを公に示し、同じ十字架の上でそれらに勝利しました」（コロサイ2:15）。物言わぬ羊のように苦しみながら、彼はサタンの邪悪さとその政府の真の原則を公に示し、彼の正義を支持する聖なる者たち全員の同情心を引き裂いた。神の政府はキリストの十字架によってより優れ、賢明で義であると義とされました。この意味で、イエスはサタンの頭に傷を負わせました。しかし、敵の頭を傷つけるために、イエスは十字架の苦しみに耐えなければなりません。したがって、神は比喩的な言葉で、蛇が彼のかかとを傷つけるだろうと言いました。一時的な傷ですが、キリストの栄光の復活によって癒されるでしょう。

創世記で告げられたキリストの福音は、使徒の時代まで変わりませんでした。そして神は、終末に自分が変わるだろうと考える動機を私たちに与えません。

1) 現代が到来したとき、神は人々に送られた福音を変えるのでしょうか？

A.: 「主であるわたしは変わりません」（マラヤ 3:6）。

水曜日

「そして、私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、そして彼は宣言すべき永遠の福音を持っていた」アポック。 14:6

神は福音が秘密にされるのではなく、宣べ伝えられることを望んでおられます。私たちがそれを受け取ったら、神は私たちがそれを他の人に伝えることを期待されています。福音は神の力であるキリストの発表であるため、それを宣べ伝えることは、罪の解放者としてのキリストを宣べ伝えることになります。それを宣言しないということは、キリストを告白しないことを意味します。「ですから、人々の前でわたしを告白する者は皆、わたしも天におられるわたしの父の前で告白します。しかし、人々の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前でもその者を否認するであろう。」

（マタ 10:32,33）。したがって、天でキリストによって告白された人は皆、地上でキリストを救い主として宣言したことになります。真のクリスチャンは宣教師として生まれます。彼がキリストを宣べ伝える動機は給料ではなく、彼がイエスのうちに見つけた救い主を他の人にも見つけてもらいたいという願望です。「神の意志に従って自発的に」マスターのために働きます。それは「汚れた貪欲からではなく、喜んで」（1ペテロ5:2）。

1) イエスの告白を拒む臆病な人たちはどうなるでしょうか。

答え：「しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、殺人者、不品行な者、魔術師、偶像崇拜者、そしてすべての嘘をつく者たちについては、彼らの役割は火と燃える湖の中で行われます。硫黄、それは第二の死である」（黙示録 21:8）。

私たちが非常に多くの恐ろしい罪を犯したにもかかわらず、イエスは私たちが恥じませんでした。私たちは神を恥じることになるだろうか？キリストの無限の犠牲によって救われた人間が、救い主の名を告げることを拒否するのは、天にとって何という不名誉なことでしょう。これは私たちのために支払われたすべての犠牲を無視していることの最大の証拠です。この状況では誰も見つからないようにしましょう。パウロはエペソの人々に、「すべての聖徒たちと私のために、常に祈りなさい…あらゆる忍耐と願いを込めて見守り、口を開いたときに御言葉が与えられ、大胆に神の奥義を知ることができるようになさい」と勧めました。私が鎖につながれた使者であるこの福音は、その中で語るべきことを語る勇気を持つためである」（エペソ6:18-20）。私たちも同じことをする必要があります。イエスを宣べ伝える私たちの努力を信頼しても、ペテロのようにイエスを否定することになるだけです。私たちの強みはすべて自分自身の弱さです。神から力を受けることによってのみ、私たちは語るべきように福音を宣べ伝えるのに必要な勇気を得ることができます。

木曜日

「そして、私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、そして彼は地上に住む人々に宣べ伝える永遠の福音を持っていた。」 14:6。

地上に住む人々は、黙示録 6 章の啓示で聖徒たちを迫害し殺害する人々として言及されています。そして地上に住む者たちの血の復讐をするのか？」（黙示録6:10）。8章では、それらは神の証人の死を記念するものとして見られます。この二人の預言者は地上に住む人々を苦しめたので、彼らは互いに贈り物を送り合うでしょう。」（黙示録 11:10）。神はこの階級の人々に対して、終わりの日に福音を告げ知らせるように命じられます。この仕事はあまり期待できそうにないことが判明した。説教者を殺そうとする人々のために説教してください。しかし、これは私たちの主であるイエスがなさったことです。「彼は自分のものに来ましたが、自分のものは彼を受け入れませんでした。」（ヨハネ1:11）。彼はかつてイスラエルの指導者たちにこう言いました。アブラハムがそうしたことはしませんでした」（ヨハネ 8:40）。そして私たちに対して、彼は次のように明言しています。もし彼らがわたしを迫害したなら、あなたたちも迫害するでしょう」（ヨハネ15:20）。

神の評価は私たちの評価とは異なります。神は、人間が今日どのような存在であるか、つまり迫害者であり恵みを拒絶するのではなく、人間が神の力によって何ができるか、つまり神聖なものであると見ています。主は私たちに良いたよりを伝えるよう望んでおられます。なぜなら、多くの人が主の招きを拒否するかもしれないからです。

救いの福音であれば、他の多くの人々がそれを受け入れるでしょう。イザヤの預言には、イエスは「自分の魂の労苦の成果を見て満足するであろう。私の義なる僕は彼の知識によって多くの人を義とし、彼は彼らの咎を負うであろう。」

53:11) 彼は恩知らずの人々に対する愛を示し、この愛が多くの人々を変え、彼らに神の子となる力を与えました。私たちは、主がされたように魂のために働き、主がされたように不倶戴天の敵を愛するよう招かれています。そして、すべての終わりに、私たちは魂が永遠に救われるのを見て神の喜びを分かち合い、次のような神の言葉を聞きましょう。あなたはいくつかのことに対して忠実でしたが、私はあなたを多くのことに対して支配者にしてあげます。あなたの主の喜びに入りなさい」 (マタイ 25:21) 。私たち全員がキリストとともにこの喜びにあずかれますように！

金曜日

「そして、私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た。そして彼は、地上に住む人々、すべての国民、親族、言語、人々に宣べ伝える永遠の福音を持っていた。」

アポック。 14:6。

まとめ：

神は、誰もが知っておくべきメッセージを持っているため、空の真ん中を飛んでいる天使を遣わしました。これは永遠の福音であり、御父が私たちに救い主キリスト・イエスを送ってくださった、そして彼が救いに至る神の力であるという良い知らせです。神はご自分を信じるすべての人を罪から、神の律法に対する不従順から救ってくださいます。そうです、イエス・キリストを信じる人は皆、イエスが与えてくださる神の力によって十戒に従順になります。このようにして、私たちは人類がかつて墮落した状態、つまりアダムとエバが生きていた神聖で幸福な状態から回復されるのです。福音を受け入れることによって、私たちに對する神の約束が果たされます。わたしは聖なる者だからです」 (レビ記11:45) 。

天使は直接すべての人に福音を告げるのではなく、人々が目覚め、天使として、神の使者として行動し、福音を告げ知らせるように働きます。神は福音を宣べ伝えるために人間を任命されました。パウロはガラテヤの人々に、「あなたは私を神の御使いとして受け入れてくださいました」 (ガラテヤ4:14)と言いました。主は私たちが良いたよりを告げ知らせる者となり、たとえ迫害者や敵、恵みを軽蔑する者に対しても、勇気を持ってそれを宣べ伝えることを期待しておられます。私たちのような人々に。地球に住む人々へ。そして、私たちが神の力を信頼して、この福音をすべての国、部族、言語、人々に伝えるよう努力できますように。パウロはその呼びかけに従いました。しかし、私ではなく、私とともにある神の恵みです。」 (1コリント15:10)。

神が私たちに祝福し、私たちがこの任務に忠実になるようにしてくださいますように。神の恵みによって、私たちは神の使者であると。アーメン！

レッスン 2 – 最初の天使のメッセージ – 神を畏れ、神に栄光を帰しましょう！

黄金の詩: 「そして私は、別の天使が天の真ん中を飛んで大声でこう言うのを見た。『神を畏れ、神に栄光を帰せよ、神の裁きの時が来たからだ。』そして天と地と海と水の泉を造られた方を崇拜しなさい。」アポック。 14:6,7。

「特別な意味で、セブンスデー・アドベンチストは見張り人、そして光の担い手として世界に置かれました。彼らには、滅びゆく世界への警告の最後のメッセージが託されていた。神の言葉の素晴らしい光が彼らを照らします。彼らは、第一、第二、第三の天使のメッセージを宣言するという最も厳粛な仕事を託されました。これほど重要な仕事はありません。他のものに注意を奪われてはなりません。」最終イベント、ページ。 41

日曜日

判決の発表

1) 私たちは自分の人生を誰かに語らなければなりませんか？

A: 「私たち一人一人が自分自身について神に説明します。」 「そして神の前に隠れている生き物はいない。しかし、神の目の前ではすべてが裸であり、開かれており、私たちはその神に対して説明をしなければなりません。」 (ロマ 14:12; ヘブライ 4:13) 。

「玉座が設置され、古代の者が座るまで、私は見続けました。彼の衣服は雪のように白く、彼の頭の髪はきれいな羊毛のようでした。彼の玉座、炎の炎、そして炎を燃やす車輪。火の川が彼の前から流れ出ました。何千人もの人々が主に仕え、何百万人もの人々が主の前に立った。判決が下され、本が開かれた。」ダニエル 7:9,10。

ダニエルは天で裁きが始まり、書物が開かれるのを見ました。聖書はこう述べています。「神は、それが善であろうと悪であろうと、あらゆる業と、あらゆる隠された事柄に裁きを下すであろう」。(伝道 12:13,14) 。すべての個人のすべての作品が審査されます。そしてその評価は表面的なものではありません。「神はイエス・キリストを通して人間の秘密を裁かれるでしょう」(ローマ 2:16)。考え、意図と動機、言葉と行動、すべてが徹底的に調査されます。なぜなら、「主は人間が見るようには見ていないからです。」人間は目の前のものを見るが、主は心を見るからだ。」(サムエル16:7) 。

私たちのすべての作品は、知られているものも隠れたものも、忠実に本に記録されています。詩篇作者はこう言いました。私の涙をあなたの瓶に入れてください。あなたの本には載っていないのですか？」(詩 56:8) 。「あなたの目は私の形のない体をご覧になり、あなたの書にはこれらすべてのことが書かれており、それは日々形成されていました。」(詩139 :16) 。「それゆえ、闇と闇の隠された事柄をも明らかにされる主が来られるまで、何も裁いてはいけません。」

神は心の思いを明らかにしてください」 (コリント 4:5)。良い行いも悪い行いも同様に記録されます。そして、主を恐れる者たちと主の御名を覚えている者たちのために、彼の前に記念碑が書かれている。」 (悪い。

3:16); 「見よ、これはわたしの前に書き記されている……あなたの咎と、あなたの先祖たちの咎が共に記されている、と主は言われる」 (イザヤ65:5,6)。

すべての人の行いが正当化されるか非難されるために比較されるルール、正義の基準は、神の聖なる律法、十戒です。「律法なしに罪を犯した人は皆、律法なしでも滅びます。そして、律法の下で罪を犯した者は皆、律法によって裁かれることとなります。律法を聞く者は神の前に義ではないが、律法を行う者は義とされるからである。」 (ロマ 2:16,12,13)。したがって、判決で承認されるためには、相応の準備が必要であることがわかります。だからこそ天使は「神を畏れ、神に栄光を帰しなさい」と言うのです。私たちは今週を通じてこの備えに関するメッセージを学びます。

月曜日

「そして私は別の天使が空を飛んでいるのを見た ……」と大きな声で言いました」アポック。 14:6,7。

1) 聖霊を受けた後、エリザベスに何が起こりましたか?

A.: 「エリザベスは聖霊に満たされて、大声で叫び、こう言いました。「あなたは性の中で祝福されています、そしてあなたの子宮の実も祝福されています！」そして、私の主の母が私を訪ねてくるということはどこで私に証明するのですか？見よ、あなたの挨拶の聲が私の耳に届いたとき、小さな子供が私の胎内で飛び跳ねて喜んだからです。信じた者は幸いである、主から語られたことは必ず実現するからだ。」 (ルカ 1:41-45)。

聖霊に満たされた後、エリサベトは大きな声で話せるようになり、神の靈感を受けた言葉を語り、それは聖書に記録され今日まで保存されています。大きな声で話すということは、御霊の力を借りていることを意味します。私たちがエリサベトのように、聖霊に満たされると、大声で話す天使の役割を果たす力を神から与えられます。

大きな声で説教するということは、恥ずかしがらずに説教ということでもあります。十字架上で、「イエスは大声で叫び、霊を捨てられた」 (マタイ27:50)。ユダヤ人たちはスティーブンを殺す前に、「大声で叫び、一斉に彼に向かって突進した」。すると彼は「ひざまずいて大声で叫びました。主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と言いました。(使徒 7:57,60)。誰にでも聞こえるように、大きな声で、はっきりと、勇気を持って。この勇気はキリストの聖霊によってのみ与えられます。

このエージェントだけが、私たちが力と勇気を持って大きな声で話すことを可能にします。これが起こるためには、私たちは伝道活動において聖霊を導こうと努めるべきではありません。私たちが用いなければならないのは神です。「神の御霊に導かれている者は皆、神の子だからです」 (ローマ 8:14)。それでは、私たちが力と勇気を持ってメッセージを伝えるための神の道具となれるよう、御霊の注ぎを求め、その導きに身を委ねましょう。

火曜日

「そして私は、別の天使がアポックの天の真ん中を飛んでいくのを …… 大きな声で言います、「神を畏れなさい」。
見た。14:6,7。

1) 主を畏れるとは何ですか？

A: 「主を恐れることは悪を憎むことです。」 「主を畏れることによって、人は悪から遠ざかるのです。」
(箴言 8:13; 16:6) 。

神を畏れるとは、「あなたの神、主を畏れ、この律法の言葉をすべて守るように気をつけなさい」 (申命記 31:12,13)と書かれているように、律法に従うことです。「愛は律法を実現するものです」 (ロマ13:10)。
したがって、神を畏れることは隣人を愛することでもあります。しかし、あなたはあなたの神を恐れるであろう」 (レビ記25:17) 。

裁きの規則は法律であるため、黙示録の最初の天使は人々にその戒律と調和する必要性を指摘しています。私たちの天の父は、神を畏れる人の模範を私たちに残してくださいました。それはイエスです。「エッセイの幹からは新芽が芽生え、その根からは枝[イエス]が実を結びます。…そして彼はその喜びを喜ぶでしょう。」主を畏れなさい」 (イザヤ11:1,3) 。彼は主を畏れることに喜びを感じ、主の律法に従うことに喜びを見出しました。そして彼の命は私たちのものになることができます。そのためには、私たちはただ彼を救い主として信じる必要があります。神はこう約束されました。「そしてわたしは彼らと永遠の契約を結び、彼らから離れず、彼らに善を施す。そうすれば私は彼らの心に私の恐れを植え付けます。」 32:40,41。イエスはこの契約の仲介者です。「彼はより良い契約の仲介者であるように、より優れた奉仕を獲得しました。」 (ヘブライ 3:40,41)

8:6) 。イエスは神に執り成し、私たちに関してそれが成就されるように、つまり神がご自身の恐れ、戒めに従う喜びを私たちの心に置いてくださるようにと懇願します。そして、イエスの働きは無駄ではなく、確実に行われます。なぜなら、十字架でのイエスの死は、御父がイエスに代えて契約を履行するという保証だからです。この契約は遺言にたとえられ、遺言者の死亡が約束の履行を保証します。イエスは「新約の仲介者です。そのため、罪の赦しのために死が介入するとき…召された人々がその約束を受け取ることができるように…死があった場所でも遺言は効力を持ちます。」 (ヘブライ 9:15,17) 。イエスはすでに亡くなっているので、遺言、契約は果たさなければなりません。そして神は彼の中で、「わたしの恐れをあなたの心に置きます」と言われます。私たちがイエスを救い主として信じるなら、イエスは天国で私たちのために執り成してくださいます。そうすれば神は私たちの心に神の恐れを置き、契約を成就してくださいます。そうすれば、私たちは神の戒めを守り、裁きにおいて承認されるでしょう。それでは、私たちは裁きを恐れるべきでしょうか？まさか、準備は万端なので！

水曜日

「そして私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、彼に … 大きな声で「神を畏れなさい」と言い、
栄光を与えなさい。」アポック。 14:6,7。

1) なぜ人間は神に栄光を帰さなかったのか、と黙示録は述べています。

A.: 「彼らは神の名を冒瀆し…神に栄光を与えるために悔い改めませんでした。」 (黙示録16:9)。

もし彼らが悔い改めていれば、神に栄光を帰することができたでしょう。最初の天使のメッセージは、まず「神を恐れよ」という言葉を通して、戒めに従うことの重要性を強調しています。そして、「神に栄光を帰してください」と言って、罪を悔い改めるよう私たちに勧めておられます。悔い改めとは、罪を悲しみ、罪から離れることを意味します。パウロはコリントの信者たちが真の悔い改めを経験したと述べています。なぜなら、神のみこころに添った悲しみは、救いにつながる悔い改めをもたらし、後悔をもたらすものではないからです。しかし、世界の悲しみは死をもたらします。というのは、まさにこのこと、つまり、あなたが神に従って悲しんでいることが、あなたの中にどれほどの気遣いを生み出していないのか、見てください。そうです、何という謝罪、何という憤り、何という恐怖、何という切望、何という熱意、何という復讐でしょう。あなたはすべてのことにおいて、これらの事柄に関して自分が無実であることを証明しました」 (IIコリント 7:9-11)。

2) ダビデが真の悔い改めを経験したとき、彼は自分が犯した間違いを後悔しただけでしょうか、それとも新たな従順な心を求めましたか？

A.: 「神よ、あなたの慈しみに従って私を憐れんでください。そしてあなたの多くの慈悲に従って、私の罪を消し去ってください…ヒソップで私を清めてください、そうすれば私はきれいになります。私を洗ってください、そうすれば私は雪より白くなります…私を信じてください、ああ
神よ、純粋な心よ、私の中に揺るぎない精神を新たにしてください。」 (詩 51:1-12)。

心から罪を憎み、正しいことをしたいと願うこのような悔い改めは、神によってのみ生み出されます。神は、私たちが生きるために私たちの代わりに死んでくださった救い主である御子を備えてくださった神の慈しみに目を向けるよう勧めておられます。「神の親切はあなたを悔い改めに導きます」 (ローマ2:4)。

木曜日

「そして私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、彼に …… 大きな声で「神を畏れなさい」と言い、栄光を与えなさい。」アポック。 14:6,7。

1) アカンはどうして神に栄光を帰すことができたのでしょうか。

A.: 「それからヨシュアはアカンに言った。『わが子よ、どうか、イスラエルの神、主に栄光を帰し、神の御前で告白してください。今、あなたが何をしたか話してください。それを私に隠さないでください。』（ヨシュア記 7:19）。

私たちは自分の罪を告白することによって神に栄光を帰します。そうすることで、私たちは自分の失敗の責任が神にあるわけではないことを証します。問題は神の中にあるのではなく、私たちの中にあります。神とその法と政府は正当化されません。したがって、告白には罪の言い訳が伴うべきではありません。「罪は律法を犯すことです」（ヨハネ第一 3:4）。罪を言い訳することはそれを正当化することです。そしてそれを正当化することは、違反を正当化することを意味し、その結果、神とその律法を非難することになります。もし違反が正しいなら、法律は間違っており、法律を与える側も間違っている、というのは明白な結論だろう。

告白は言葉を切り詰めることなく、明確でなければなりません。彼の過ちを認めると、「民はみなサムエルに言った。『私たちが死なないように、あなたの僕たちのためにあなたの神、主に祈ってください。なぜなら、私たちはすべての罪に、自分自身に王を求めるという悪を加えたのだからである』（サムエル12:19）。

「私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。」（1ヨハネ3:4）裁きの時、私たちが最も必要としているのは浄化されることです。そうすれば、私たちは評価されるときに承認されるからです。

そして、最初の天使のメッセージは、「神を恐れよ」と言い、私たちに自分の罪を告白するよう勧めています。それが救いのメッセージであることが分かります。なぜなら、一度信じて従えば、私たちは裁きにおいて承認される立場に置かれるからです。

私たち自身の利益のために、それに従いましょう！

金曜日

「そして私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、彼に …… 大きな声で「神を畏れなさい」と言い、栄光を与えなさい。」アポック。 14:6,7。

1) アブラハムはどのようにして神に栄光を帰しましたか？

A.: 「彼に言われたとおりに、自分が多くの国々の父となることを希望に反して信じた者は、『あなたの子孫はこうなるだろう。そして信仰が弱まることなく、彼は自分の体はすでに死んでおり（彼はほぼ100歳だったので）、サラの子宮が死んでいると考えました。しかし、神の約束を見て、彼は不信仰によって動揺することなく、信仰が強められ、神に栄光を帰しました。」（ローマ4:18-20）

アブラハムは神の約束を信じましたが、約束の成就にすべて反する外見には目を向けませんでした。妻はすでに排卵を止めており、体は麻痺していた。人間のあらゆる観点から見て、彼らに子供が生まれることは不可能でした。しかし、アブラハムは神ができることを信じており、神にとって不可能なことは何もありませんでした。人間の不可能性は、神にとって無限の力を発揮する機会となっただけです。そしてそれが神がなされたことなのです。イサクは、肉の意志ではなく、神の約束の子として生まれました。同様に、イエスも「彼を受け入れたすべての人、彼の名を信じる人々に、神の子となる力を与えました。彼らは血によってではなく、肉の意志や人の意志によってではなく、神によって生まれたのです。」（ヨハネ 1:12,13）。イエスを信じる人は、自分の力や従おうとする努力によってではなく、イエスの力によって、イエスと調和するよう変えられます。人間に律法への完全な服従を要求することによって、人間には本来不可能なことを要求するのです。「法律は霊的なものです。しかし、私は肉体的な者であり、罪の下に売られています」（ロマ 7:14）。しかし、アブラハムと同様に、ここでも人間の不可能性が、神がご自身の力を明らかにし、栄光を現す機会を生み出します。イエスを信じることによって、人はイエスが自分の心を変え、律法に従わせることを受け入れます。アブラハムは信仰によって神に栄光を与えました。イエスとその回復の力を信じる者は誰でも神に栄光をもたらします。そうすることによって、人は戒めを守る者とされ、裁きに備えられるのです。

土曜日

「そして私は別の天使が天の真ん中を飛んでいるのを見た、彼に … 大きな声で「神を畏れなさい」と言い、栄光を与えなさい。」アポック。 14:6,7。

1) 私たちの人生の目標は何でしょうか？

A.: 「ですから、食べるか飲むか、その他何をするかにかかわらず、すべてを神の栄光のために行いなさい。」（1コリント10:31）。

私たちは自分の行いによって神に栄光を帰せるか否かが決まります。主は私たちに、食べるものを通して主の栄光を現す方法を知るよう招いておられます。この点に関してみことばには、「肉を食べたり、ぶどう酒を飲んだりしないのは良いことです」（ロマ 14:21）というアドバイスがあります。菜食主義の食事は神に敬意を表します。ここで私たちは、牛、羊、子羊、鶏、魚、魚介類など、あらゆる種類の動物の死骸の肉を可能な限り避けるべきであることを学びます。「それとも、あなたの体はあなたの内におられる聖霊の神殿であり、あなたが神からいただいたものであり、あなたは自分のものではないことを知らないのですか？あなたは代償を払って買われたのですから。したがって、あなたの体で神の栄光を讃えなさい。」（1コリント6:19,20）。

冒頭の詩はこれまでで最も包括的なものです。それ以外のことをするなら、すべて神の栄光のために行いなさい。これは、人生の中で神を喜ばせ、神の御名を讃えるという人生の最高の目標を持つことを意味します。それは私たち自身のためではなく、神のために生きることです。この経験をどのように生きればよいのでしょうか？パウロは次のように説明しています。

キリストが私たちに束縛するのは、私たちが次のように判断するからです。一人が全員のために死んだなら、全員が死んだこととなります。そして、イエスがすべての人のために死なれたのは、生きている者たちが、もはや自分のためにではなく、自分たちのために死んでよみがえられた方のために生きるためである」（IIコリント 5:14,15）。私たちが生きるために命を捧げるほどのキリストの私たちへの愛は、主のために自分自身を捧げる絶え間ない動機となっています。「主に栄光を帰せよ」という福音の言葉は、常にこの動機を持って生きるよう私たちに呼びかけています。ですから私たちの行いは神の栄光を讃えるのです。裁きにおいて、人は「自分の行いに応じて裁かれる」（Apoc. 20:12）。神に栄光を与える言葉を信じて従う者は、裁きを恐れることはありません。裁きは、彼らの行いが神の意志と調和していることを証明するからです。

今週私たちは、「神を畏れ、神に栄光を帰しなさい」という福音の言葉を信じて従うことが、人々が裁きを受ける備えとなることを見ました。私たち自身の一時的かつ永遠の利益のために、この素晴らしい福音を信じて従うこともできますように。アーメン！

レッスン 3 – 神の裁きの時が来た…

黄金の詩: 「そして私は、別の天使が天の真ん中を飛んで大声でこう言うのを見た。『神を畏れ、神に栄光を帰せよ、神の裁きの時が来たからだ。』そして天と地と海と水の泉を造られた方を崇拜しなさい。」アポック。 14:6,7。

日曜日

裁きを示す預言

1) 最初の天使のメッセージで告げられる素晴らしい出来事は何ですか？

A.: 「そして私は、別の天使が天の真ん中を飛んで彼に栄光を … 大声で言う :神を恐れよ光を与えるのを見た。彼の裁きの時が来たからである。」 (黙示録 14:6,7)。

最初の天使のメッセージは、天で始まる裁きの世界を告げます。そして、そのような出来事に関して神の僕たちに確信を与えるのは預言の言葉です。ペテロは、「わたしたちは預言の言葉をさらにしっかりと持っています」 (IIペテロ1:19)と言いました。ダニエル書には裁きの幻についての記述が記されています。彼のドレスは純毛のように白かった。そして彼の玉座は火の炎であり、彼の車輪は燃え盛っていた。

川が彼の前から流れ出ました。何千人もの人々が主に仕え、無数の人々が主の前に立った。判決が下され、帳簿が開かれた。」 (ダン。

7:8-10) 。これが開始される時刻はここでは指定されていません。第 8 章では、幻についての追加の説明が与えられ、そこで裁きの開始の時間が報告されています。そして別の聖人が話しかけた彼にこう言いました。「幻はいつまで続くのでしょうか…?」彼は私に答えました、「夕方と朝は最大2,300回です。」そうすれば聖所は清められるでしょう。」 (ダニエル 8:1,13,14) 。 7 章と 8 章の幻を簡単に見てみると、どちらも同じテーマ、つまり聖徒たちを迫害し、彼らが墮落した後は天の法廷で裁かれる権力を扱っていることがわかります。第 7 章で天使は次のように述べています。彼は時代と法律を変えることに尽力するだろう。聖徒たちは、一度、何度も、そして半分の間、彼の手に渡されるでしょう。しかし法廷は判決を下し、彼の支配権を剥奪するだろう」 (ダニエル7:25,26) 。そして8章では、「……継続的で悲惨な罪、そして踏みこまれる聖域と軍隊の引き渡しに関する幻はどれくらい続くのだろうか？」 (ダニエル 8:13)。

ダニエル 7:25:聖徒たちは彼の手で渡される

ダニエル 8:13:聖所の引渡し

どちらの表現も聖徒の迫害を指します。歴史は、この迫害が中世の教皇庁によって行われたことを明らかにしています。西暦 538 年以来、その優位性を保っていました。西暦 1798 年まで、教皇は投獄され、この世の権力を失いました。預言によれば、この後、裁きが下されるでしょう。

そして裁きを受けてその支配権を剥奪されるであろう」（ダニエル書 7:26）。したがって、天国での裁きは 1798 年以降のある時点で始まることになります。追加情報は第 8 章にあり、裁きの時期がより正確に示されています。「聖域と軍隊の引き渡しに関する幻はいつまで続くのか」彼は私にこう答えた、「夕と朝は二千三百まで。そうすれば聖所は清められるであろう」（ダニエル書 8:14）。他の翻訳では次のように示されています。そうすれば聖所は正当化されるだろう。」ここでは、聖域で行われている活動との関連性は明らかです。そして第 7 章では、示されている働きが判決であることがわかります。「法廷が開かれ、帳簿が開かれた」（ダニエル 7:10）。したがって、ダニエル 8 章の預言は天での裁きを指しています。「彼の裁きの時が来た」という最初の天使の発表は、この預言の成就を示しています。

月曜日

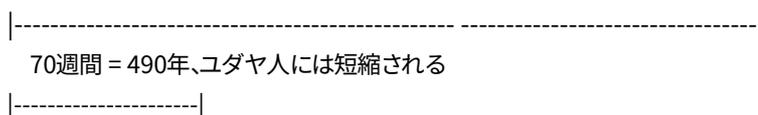
裁きを示す預言 - 続き

裁きを示唆する預言は、ダニエルと彼の同時代人には理解されませんでした。天使は彼にこう言いました。「告げられた夕方と朝の幻は真実です。しかし、あなたはそのビジョンを閉じてください。それは非常に遠い日のことを指しているからです...そして私はそのビジョンに驚きました、なぜならそれを理解する人が誰もいなかったからです。」（ダニエル 8:26,27）。時が経ち、「メディア人の血統であるアハシュエロスの子ダリウスの最初の年に」...ダニエルは神に叫び始め、次のように報告しています。最初視界の中でそれは素早く飛んで来て、午後の献上品の時間に私に触れました。彼は私に指示し、こう言いました...言葉をよく考えてビジョンを理解してください。あなたの民とあなたの聖なる都に、罪を終わらせ、罪を終わらせ、不法を和解させ、永遠の義をもたらし、幻を封印するための70週間が命じられる。そして預言、そして至聖所の聖所に油を注ぐことです。」（ダニエル書 9:21-24）。天使は、午後と朝、つまり 2300 日の期間の一部を説明することから始めます。ダニエルが属していたイスラエルは「あなたの民には七十週間が命じられている」。この用語は「法令」と訳され、元の「チャタク」は文字通り「切る」を意味します。70 週間は、合計 2300 日から区切られた期間です。それらが 2300 日のどの部分に属するかは示されていないため、時間の始まり、つまり 2300 日から数えて最初の 70 週間であると考えられます。

70 週 x 7 日 = 490 日

聖書の預言では、1 日が 1 年に相当することが分かりました。したがって、イスラエルの民のために取られた時間は合計490年となりました。以下は、わかりやすくするために図で示したものです。

2300 午後と午前 = 2300 年



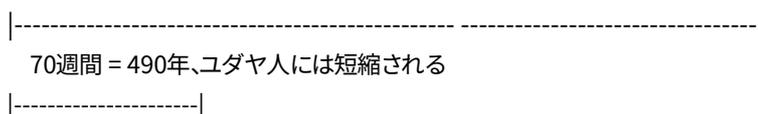
70 週間が合計期間の最初の部分であると考え、カウントの開始点も 2300 日になります。

1) 2300 の午後と午前はいつ開始する必要がありますか？

A.: 「エルサレムを修復し建設せよという命令以来、知っていますし、理解しています」 (ダニエル書 9:25)。

これがカウントの開始点です。エルサレムを回復し建設するという命令が出発点となります。歴史によれば、エルサレム建設にはキュロスの布告とダリウスの布告という二つの布告があったことが分かります。しかし預言は、独立した政府の回復とエルサレムの都市の建設という二重の目的を持つ命令を指摘していました。これは、エズラが第 7 章で報告しているように、アルタクセルクセスによって与えられたものです。それは私によって命じられています...あなたの神の家に必要なもの、そしてあなたが与えるのに便利な他のすべてのものは、王の宝物庫から与えるでしょう...そしてあなた、エズラ、知恵に従ってあなたが所有するあなたの神の神が、川の向こうの州にいるすべての人々を裁くために治安判事と裁判官を任命しなさい...そしてあなたの神の法律と王の法律を守らない者は誰でも、その者のために正義が執行されるでしょう。熱心に」 (エズラ 7:12,20,25,26)。この命令は紀元前 457 年に発令されました。70週と2300日の数えが始まったのはその時でした。

2300 午後と午前 = 2300 年



紀元前457年

火曜日

先週

「知って、理解してください。油そそがれた者、君主にエルサレムを修復し建設せよという命令が出されてから、七週間と六十二週間あります。」 (ダニエル書9:25)。
天使はダニエルに、出発日から 7 + 62 週間を数えるように指示しました。合計69週間。70人、あと1人です。なぜ彼は最後のものを分離したのですか？これは予言の保証印のようなものだからです。「エルサレムは油そそがれた君が来るまで、七週間と六十二週間あるだろう」と彼は言いました。天の君であるイエスは、7 + 62 週間の預言の終わりに「油そそがれる」こととなります。これがどのように完璧な精度で達成されたかは歴史が示しています。69週とは次のとおりです。

69 週 x 7 日 = 483 年

予言のカウントは紀元前 457 年に始まり、483 年を加えると次のようになります。

483年
|-----|
紀元前457年西暦27年

計算するときは、 $457 + 27 = 484$ 年なので、計算を間違えたと思うかもしれません。日付を数えて紀元前から紀元後へと移るとき、ゼロ (0) という年は存在しないことを覚えておく必要があることがわかりました。次のように数えます: 紀元前 2 年、紀元前 1 年、西暦 1 年、西暦 2 年。(ゼロなし)。457 年から開始して 483 年の時間を追加すると、次のようになります。

$483 - 457 = 26$

ただし、ゼロがないため、カウントは 1 年進みます ($26 + 1 = 27$ BC)。さて、数学についてあまり心配することなく、ただ神の言葉を信じれば、預言がどのように文字どおり成就したかも分かるでしょう。紀元前 27 年、天使によれば、王子には油が注がれるはずですが、油注ぎはオリーブオイルで行われ、聖霊の注ぎの象徴でした。そして歴史は、イエスが紀元前 27 年に油そそがれたことを示しています。これは、70 週間の預言で油そそがれた者の到着が示されている時期と正確に一致します。約500年前に神が予言したことはすべて、厳密に成就しました。私たちの神は素晴らしいです！

水曜日

先週 - 続き

天使は先週についてこう言いました。そして週の半ばには、神は犠牲と奉納をやめさせます。」

9:27) 。イエスはその契約を結ぶ人でした。パウロはイエスを「より良い契約の仲介者」と指摘しています (ヘブライ人への手紙 8:6) 。預言によれば、主はその週の半ばに犠牲をやめるでしょう。ダニエルの時代に行われた犠牲は、聖域内の動物、主に子羊の犠牲でした。イエスが宣教を始めようとしたとき、バプテスマのヨハネはイエスを指さして、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊です」 (ヨハネ1:29)と言いました。彼は真の犠牲者でした。動物のそれらは、子羊として子を与えるという神の約束を人々の心の中に生き続けるためだけに制定されました。

彼らの罪のために死ぬことです。御子が十字架の祭壇で殺されたとき、動物の犠牲はもはや継続する理由がなくなりました。犠牲への信仰を維持する目的で儀式を行う必要はもはやありませんでした。本物はすでに行われており、歴史を振り返るには十分でした。天使はダニエルに次のような言葉でこのことを予告しました。「そして週の半ばには犠牲をやめるでしょう」。70 週のうちの最後の週は西暦 27 年に始まり、したがって、最後の週の半ば、3 年半後、西暦 31 年になります。歴史はイエスが死んだことを確認しています。

まさに今年、カルバリの十字架の上で。天使の預言は定めの際に成就し、十字架はその正確さを裏付けています。

オブレションも廃止されましたが、パンとワインの捧げ物に与えられた名前であり、これもキリストを表していました。最後の晩餐を食べようとしたとき、イエスはパンを象徴として言及し、パンについて「彼はそれを裂いて、『これはわたしの体だ』と言った」（1コリント11:24）と言いました。そしてワインのことは、
「彼は杯を取り、『この杯はわたしの血による新しい契約である』と言った」（1コリント11:25）。パンとぶどう酒は両方とも神の犠牲を表していました。十字架上で、キリストにあってまことのパンとまことのぶどう酒がささげられました。これらは奉納物として聖域の祭壇に捧げられました。したがって、あたかも救い主がまだ来ていないかのように、聖所の祭壇にそのような供物を捧げることに固執することは、完全に意味を失ったのです。それ以来、犠牲の記憶は、イエスが死の前に制定した聖晩餐の儀式を通して行われるようになりました。それはもはやヘブライの聖域の犠牲によるものではありません。イエスが十字架で死なれたとき、「聖所の幕が上から下まで真っ二つに裂かれた」のはこのためです（マタイ 27:51）。

パウロは、イエスが御父にこう言われたと述べています。今彼は言いました「私はあなたのご意志を行うためにここにいます。神は最初のものを取り去って、二番目のものを立てられるのです」（ヘブル10:8,9）。ヘブライ人の聖所とその奉仕は取り去られ、天国の聖所の奉仕が確立されました。そこでは、キリストが動物の犠牲ではなく、罪人のために流された血の功績を神に捧げるようになりました。

イエス死去 483 年

油そそがれた十字架

|-----|-----|
紀元前457年西暦27年西暦31年

木曜日

70週間の終わり

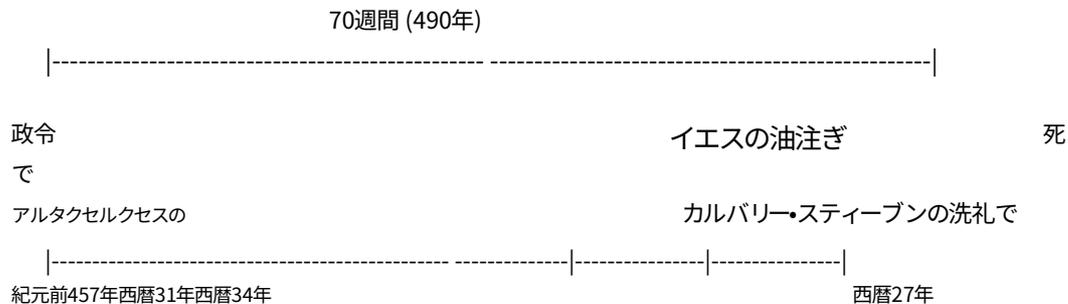
1) ユダヤ人のために何週間の時間が確保されましたか？

A.: 「あなたの民とあなたの聖なる都市に70週間の猶予が命じられています。」
ダニエル 9:24。

70 週間が 490 年に相当することが分かりました。本文には、彼らがあなたの都市に対して布告されたと書かれていることに注意してください。ダニエルはユダヤ人で、彼の都市はエルサレムでした。定められた時の終わりに、福音の音信はエルサレムから追放されることになります。

70年代の最後の週はイエスのバプテスマで始まります。彼は 3 年半説教を続け、西暦 31 年の週の半ばに亡くなりました。

彼の宣教は、福音を宣べ伝えるように弟子たちに命じ、「むしろイスラエルの家の失われた羊のところに行きなさい」(マタイ10:6)と述べました。この命令は預言の言葉と一致していました。彼らは先週、ユダヤ人のために特別に定められた預言で指摘された過去7年間にありました。まだ彼らに特別な方法で福音が伝えられる時期でした。彼らは地上で神に選ばれた人々でした。しかし、復活後、イエスは弟子たちに、間もなくメッセージの宣教が選ばれた人々だけに限定されることはなくなると告げました。エルサレムだけでなく、ユダヤとサマリア全土、そして地の果てまで。」(使徒1:8)。重要なのは、その後、ユダヤ人が特別に優遇された人々でなくなり、説教が世界中に広く広まった瞬間がステファノの死でした。「そこで彼らはステパノを石で打ちました。ステファノは祈ってこう言いました。『主イエスよ、私の霊を受けてください。』そしてひざまずいて、大声で叫びました、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください。」と言って彼は眠りに落ちました... その日、エルサレムにあった教会に対して大きな迫害が起こりました。そして使徒を除く全員がユダヤとサマリアの地方に散り散りになった……散り散りになった者たちはどこへでも行って御言葉を宣べ伝えた。」(使徒 7:59-8:1; 4)。彼は西暦 34 年に亡くなり、ちょうどダニエル 9 章で預言されている 490 年、つまり 70 週間が完了したとき、福音の説教者たちはユダヤ人自身によってエルサレムから追放されました。こうして、彼らが特別な民族として分け隔てられた時代は終わった。予言は成就した。彼ら自身の選択によって、彼らに届き拒否された招待状は、今や地球のあらゆる場所に広がっています。数年後、パウロは福音が「天の下のあらゆる生き物に宣べ伝えられた」(コロサイ1:23)と述べました。



これまでのところ、預言は文字通り成就しています。これにより、時間に関する解釈が正しいという確信が得られます。したがって、2300 の午後と午前の終わりがいつになるかを安全に指摘できます。

金曜日

2300の午後と午前の終わり

1) 2300 回の午後と午前の終わりには何が起こるでしょうか?

A.: 「二千三百の夕と朝が来るまで、そして聖所は清められるでしょう」 (ダニエル書 8:14)。

私たちはすでにこの期間の最初の部分を学びました。あなた方の民であるユダヤ人には70週間の猶予が命じられています。彼らは西暦 34 年に終わりました。 2300 日を終えるには、1810 日が残ります。

$2300 - 490 = 1810$ 日 / 年

70 週間は西暦 34 年に終了したため、2,300 回の午後と午前は次のように終了します。

西暦34年+ 1810 = 西暦 1844 年。

このとき、預言にあるように、「聖所は清められる」 (ダニエル書 8:14)。

聖域の法令

アルタクセルクセスは23:00夕方と朝まで…浄化されます

|-----|

紀元前457年西暦 1844 年

今週の日曜日のレッスンをもう一度読むことをお勧めします。そこでダニエル 7 章と 8 章を比較すると、2,300 日が法廷で判決が始まるまでの時間を示していることがわかります。「法廷が開かれ、帳簿が開かれた」のです。2300回の夕と朝が1844年に成就した。したがって、天で書物が開かれ、裁きが始まったのはこの時だった。だからこそ、神は黙示録の最初の天使に、「神を恐れ、神に栄光を帰せ。神の裁きの時が来たからである」というメッセージを与えたのだ。（黙示録 14:7）。今度は1844年にやって来ました。

それ以来、最初の天使のメッセージは世界中に力強く響き渡り、多くの人々が神の裁きの座の前に出る備えをする必要性を目覚めさせました。彼はあなたをこの天使の働きに参加し、人々に裁きの到来を宣言するよう勧めています。私たち全員がこの天使の働きと一つになることが天の願いです。

土曜日

「そして聖所は清められるであろう」（ダニエル書 8:14）。

聖所という言葉は主にイエスが働く天の建物を指します。彼は「聖所の奉仕者であり、人間ではなく主が設立された真の幕屋の奉仕者」です。「キリストは手で造られた聖所には入れられません…ではなく、天そのものに入り、今、私たちのために神の御前に現われました。」（ヘブライ人への手紙 8:2; 9:24）天国の聖所の浄化が始まると、その汚れを取り除く作業が始まります。そしてそれを汚染するものは何でしょうか？人間の罪は、その本に記録されています。法廷が開かれ、帳簿が開かれるとき、神とキリストは信者の罪の記録を消去できるようにすることを目指しています。罪の消去というこの働きは今日まで行われています。しかし、イエスは私たちの許可なしに私たちの罪を消すことはできません。悔い改めと信仰を通して、地上での罪から背を向け、天国で罪を正しく消し去ることができるようにする必要があります。

今日罪を消して、明日またそれを記録することに意味があるでしょうか？ 1844年以来、イエスは御霊を送り、ご自分の民があらゆる罪から完全に離れるように導かれるよう尽力してきました。二度とコメントしないのが残念です。神はご自分の民と契約を結び、その中で彼らの罪を消し去ると約束されました。わたしはわたしの法律を彼らの理解の中に入れ、彼らの心の中に書き記すであろう。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そして彼は、すべての人に自分の同胞や自分の兄弟に、「主を知れ」と教えてはならない。なぜなら、最も小さい者から最も偉大な者に至るまで、誰もがわたしを知るようになるからである。わたしは彼らの咎を憐れみ、彼らの罪をもう思い出すことはないからです。」（ヘブ。

8:10-12）。このコンサートはここ数日中に開催されます。契約の約束を受け入れる人は皆、罪を消し去られます。神は今日私たちに、神を受け入れてこの祝福された業に参加するよう招いておられます。どうやってするの？イエスを私たちの救い主として受け入れることは、次のように書かれているからです。しかし、彼の内には「はい」がありました... したがって、神の約束がたくさんあるのと同じように、彼の内には「はい」があります。それは彼を通して、アーメン、神の栄光となるからである」（1コリント 1:19,20）。アーメンは「そのとおりです」という意味です。新しい契約の約束は、イエスにおいて「そのとおりです」と定められています。心から神を信じ、粘り強く信じ続ける人は誰でも、人生の中で神のアーメンを見るでしょう。彼は自分のうちに約束を持ち、罪は消されるでしょう。アーメン 私たちはイエスを受け入れます！主よ、私たちのためにこれをしてください！

レッスン 4 – 捜査判決

創造主を崇拝する

黄金の聖句: 「わたしたちは皆、キリストの裁きの座の前に出るからです」 (ローマ 14:10)。

日曜日

聖域の浄化

1) 2,300 回の午後と午前の終わりには何が起こるでしょうか?ダニエル

8時14分。

A.: 「二千三百の夕と朝が来るまで、そうすれば聖所は清められるでしょう。」

先週私たちは、「二千三百の夕と朝が来て聖所が清められるまで」 (ダニエル書 8:14)という言葉が示すその時を知りました。ここでは、「聖所は清められる」という預言された出来事の研究に焦点を当てます。聖所という言葉は、最初はモーセによって建てられた幕屋として理解されました。

神はこう言われました、「そして彼らはわたしを聖所とし、わたしは彼らの間に住むだろう」 (出エジプト記25:8)。聖書は、彼が天にある真の聖所の忠実なコピーであると述べています。モーセは「見よ、山で示された模範に従ってすべてを行いなさい」 (ヘブライ人への手紙 8:5)と命じられました。ピュリフィケーションとは浄化という意味です。聖域の浄化したがって、その浄化が発表されました。

二千三百の夕と朝が1844年に終わったことはすでに見ました。この時点では、ヘブライ人の聖域は長い間存在していませんでした。これは西暦 70 年にローマ軍によって破壊され、石一つ残らず、イエスの言葉が成就されました。したがって、建物を浄化することはできません。定められた時に存在し、完全に機能する聖所は、天の聖所となるでしょう。

キリストは復活後天に昇り、神によって祭司および「人間ではなく主が設立された聖所と真の幕屋の奉仕者」とされました (ヘブライ人への手紙 5:10; 8:2)。彼は「万物の回復」の時までそこに留まり、その時彼は地球に戻り、彼の忠実な人々を永遠に贖います (使徒行伝3 :21)。ヨハネは、黙示録の幻の中で、イエスが天国の聖所、金の燭台の隣で行動しているのを見ました。そして振り返ると、7つの金の燭台が見えました。そして七つの燭台の真ん中には、人の子のようなものがあった (黙示録 1:12,13)。したがって、預言の中で浄化が指摘されている聖所は、天上の聖所だけである可能性があります。天国の聖所を汚染して浄化の働きを必要とするものは何でしょうか?空にデゲタ、汚染、ウイルスなどの物理的な不純物が存在するなどという考えは人には考えられません。しかし、私たちはイエスの名において神に罪の許しを求めると教えられています。そして、神はこの場所で奉仕し、赦しを得て、私たちの罪に対する正義を与えてくださいます。それらの

したがって、それらは何らかの形で天国の聖域を汚すものに違いありません。このことから、彼は浄化される必要があります。

2) イエスが奉仕する聖所はどれですか?ヘブ。 9:24;
8:2。

A.: 「キリストは手で造られた聖所、真の御姿には入られませんでした、同じ天国に入られました。」
彼は「人ではなく主が建てられた聖所と真の幕屋の奉仕者」です。

月曜日

捜査裁判はいつ始まりましたか?

1) 神は罪を悔い改めて改心した人々に対して、何をしてくれると約束されましたか?使徒 3:19。

A.: 「だから、罪を消し去るために、悔い改めて改心しなさい。」

3) ダビデが自分の罪を神に告白したとき、彼は何を求めましたか。詩篇 51:1。

A.: 「神よ、あなたの慈しみに従って私を憐れんでください。あなたの多くの慈悲に従って、私の罪を消し去ってください。」

罪を消す必要があるとすれば、それはどこかに書かれているからです。聖書には、私たちの行いはすべて天にある書物に記録されていると書かれています。「あなたは私の放浪について話しました。私の涙をあなたの瓶に入れてください。あなたの本には載っていないのですか?」(詩 56:8)。「主を畏れる者と主の御名を覚えている者のために、御前に記念碑が書かれている」(マタイ3:16)。したがって、罪を消し去るという神の約束には、これらの本から罪の記録を消去することが含まれます。そして、それらは今日空を汚しているものであるため、それらが消去されると聖域は浄化されます。聖域の浄化には、本から罪を消し去ることが含まれます。

ダニエルは幻視で天国に連れて行かれ、「審判が下され、本が開かれた」と報告しました。この一節の文脈は、この場面が、永遠なる神、したがって日の古人として描写される場所で起こったことを示しています。彼の衣服は雪のように白く、彼の頭の髪はきれいな羊毛のようでした。彼の玉座、炎の炎…

何千人もの人々が主に仕え、何百万人もの人々が主の前に立った。判決が下され、帳簿が開かれた」(ダニエル 7:9,10)。ダニエルは、天で裁きが始まり、神の前で人間の罪の記録が記された書が開かれるのを見た。書物を調査し、心から悔い改めて改心した人々の罪を消し去る働きが始まることになる。裁きは聖所を清める働きとともに始まります。どちらも一緒に行きます。私たちは、

2300の午後と午前は、浄化の作業が始まった1844年に終了しました。

したがって、同日、捜査公判が開始されたものと結論いたします。父は「すべての裁きを子に与えました」（ヨハネ5:22）。「罪を消して永遠の命を与える」か「永遠の死を宣告する」か、各人に宣告を下すかどうかは神次第です。「わたしたちは皆、キリストの裁きの座の前に出ます」（ローマ14:10）。神は自分の事件を評価するとき何と云うのでしょうか？

火曜日

捜査法廷で評価されるのはどの事件ですか？

1) イエスを信じない人々はどのような状況にありますか？

答え：「神を信じる者は罪に定められていませんが、信じない者はすでに罪に定められています。神の独り子の名を信じていないからです。」（ヨハネ3:18）

「罪の報酬は死である」。「死はすべての人に広がったので、…すべての人が罪を犯したので」（ローマ 6:23; 5:12）。したがって、彼らがイエスを信じることを拒否しない限り、彼らは運命づけられています。したがって、彼らは1844年に始まった捜査裁判で自分たちの事件を評価してもらう必要はない。そこでは、イエスを信じた人々の事件だけが考慮されることになる。聖書は、悪人の事件は別の機会に扱われることを明らかにしています。千年の黙示録の終わりに、イエスは彼らを復活させ、彼らに対する最後の判決の宣言を聞き、罰を受けることができるように、彼らを大きな白い玉座の周りに集めます。「そして私は玉座を見た。そして裁く権限を与えられた者たちがその上に座った。そして私は、イエスの証しと神の言葉のために首を切られ、獣やその像を崇拜せず、顔にも手にも獣の刻印を受けなかった人々の魂を見た。そして彼らは千年間キリストとともに生き、統治した。しかし、残りの[邪悪な]死者たちは、千年が終わるまで再び生き返ることはなかった...そして千年が終わると、サタンは牢獄から解放され、国々を欺くために出て行くだらう。彼らは彼に騙されています、それは彼らが復活したからです]...そして私は大きな白い玉座とその上に座っている彼を見た、その存在から地と天は逃げ去り、彼らのための場所は見つかりませんでした。そして、私は死人が大なり小なり玉座の前に立っているのを見た、そして本が開かれた。そしてもう一つの本が開かれました、それは人生の本です。そして死者たちは、その書物に書かれていること、その行いに応じて裁かれた。そして海はその中にいた死者を放棄した。そして死と地獄はその中にいた死者を放棄した。そして、すべての人はその行いに応じて裁かれ、命の書に記されていない者は火の湖に投げ込まれた。」（黙示録 20:5、7）これが最終的な判断です。したがって、悪人の裁きは調査とは別個の仕事です。

何：	1844年以後の捜査判	最終的な判断
いつ：	決	千年の邪悪な年を
誰が裁かれるのか：	信者	経て

イエスを信じた人々の事件は、1844年に始まった調査裁判で評価されています。邪悪な者のことについては後で検討します。黙示録にあるように、彼らは千年後に白い玉座の前に直接現れるでしょう。

今日の私たちの選択が、私たちがどの判決に参加するかを決定します。どこにいますか？

今日、私たちに与えられているように、イエスとその恵みを選択して、義人との運命を結びましょう！

水曜日

判断のルール

1) 私たちは何によって判断されるのでしょうか？

A.: 「自由の律法によって裁かれるように、このように話し、そうしなさい。」（ヤコブ 2:12）。

どの法廷でも、被告は法律に従って裁判を受けます。それは彼らが有罪か無罪かを決定する道具です。違反者は非難されます。天の裁きも同様です。地上の裁判所と同様に、神の裁きの規則は神の律法、つまり十戒です。神は常に人間が神の律法に忠実であることを期待してきました。イスラエルの人々の不従順についてモーセに話し、モーセはこう言いました。「あなたはいつまでわたしの戒めと律法を守ることを拒むのか」。（元。

16:28）。イエスは私たちに彼に対する従順の模範を示しました。彼は、「わたしは父の戒めを守りました」（ヨハネ15:10）と言いました。そして彼は、それが永久に有効であり続けることを確認しました。わたしは廃止するために来たのではなく、成就するために来たのです。本当にあなたがたに言いますが、天地が滅びるまで、すべてが成就するまでは、一銭も一銭も律法から外れることはありません」（マタイ 5:17,18）。

主はすべての人がご自身の律法によって裁かれると宣言されています。そして、律法の下で罪を犯した者は皆、律法によって裁かれることとなります。律法を聞く者は神の前に義ではありませんが、律法を行う者は義とされるのです」（ローマ2:12,13）。そして神の言葉は、私たちの外面的な行動を評価するのに適しているだけではありません。「神の言葉は生きており、力があり、どんな両刃の槍よりも鋭く、魂、霊、関節、骨髄の分裂にさえ刺し通し、人の考えや意図を識別します。心」（ヘブライ人への手紙 4:12）。したがって、心が清められた人だけが裁きにおいて永遠の命に値するとみなされるのです。キリストの御言葉の目的はまさにこれです。私たちが裁きに備えさせるためです。これはすべての人の義務だからです。神は、それが善であろうと悪であろうと、あらゆる業とあらゆる秘密を裁かれるからである」（伝道 12:13,14）。備えるために神の言葉に従うことを望みます。

木曜日

どうすれば法廷で認められるのか

私たちは昨日、天の裁きにおいて永遠の命にふさわしいとみなされるためには純粋な心が必要であることを学びました。しかし実際には、今日ではすべての人が汚れた心を持っています。そして、悪が人々の間に蔓延しているのを見て、多くの人はヨブのようにこう言います。誰でもない！"（ヨブ記 14:4）。しかし、人間には不可能なことも、神には可能です。「神にとって不可能なことは何もありません」（ルカ

1:37）。マグダラのマリアの物語は、イエスがどのようにして罪人を変え、裁きにおいて彼らを義とすることができるかについての客観的な教訓です。彼は姦淫の現場で捕らえられ、再び主イエスに反抗しようとして激怒したラビたちによって暴力的に連れ去られたのです。「そして、彼らは彼を真ん中に置き、彼に言った、『先生、このは姦淫の現場で捕まりました、そしてモーセは律法でそのようなは石打ちにすべきと私たちに命じました。それで、あなたは何と言いますか？（ヨハネ 8:4,5）。彼は刑の執行だけを望むことができた。法律は明確でした。彼の罪の目撃者はたくさんいた。彼に有利な点は何もありませんでした。言い訳しない。

かわいそうな性は口を開かない。悔い改めた心よ、あなたの唯一の希望は救い主の憐れみと愛です。がっかりしませんでした。彼は告発者たちを解散させるために行動した。「あなたたちの中で罪を犯していない者が最初に彼に石を投げなさい。そして、再び腰をかがめて、地面に文字を書きました。これを聞いた人々は、長男から末っ子まで、一人ずつ立ち去りました。残ったのは、イエスと真ん中の性だけでした。するとイエスは背筋を伸ばして、その以外に誰もいないのを見て彼に言われた、「よ、あなたを告発する者はどこにいるのですか」。誰もあなたを非難しませんでしたか？そして彼は言いました：主よ、誰もいません。するとイエスは言われた、「わたしもあなたを罪に定めません。行って、もう罪を犯さないようにしなさい。」（ヨハネ 8:7-11）。イエスはその憐れみから、賢明な弁護士として行動されました。悔い改めた性を弁護し、罪を晴らした。彼の愛は彼に伝わり、彼を最も忠実な追随者の一人にしました。「かつてあったものは、今あるものである」。「イエスは昨日も今日も同じです。たとえ今日私たちが非常に罪深いとしても、神は依然として私たちの擁護者であり弁護士です。そして私たちだけではなく、主を信じるすべての人たちも同様です。

1) イエスは私たちに有利な天の裁きについてどのような立場を取られますか？

A: 「私たちには義なる御父イエス・キリストの弁護士がいます。そして彼は私たちの罪、そして私たちの罪だけでなく全世界に対するなだめの品でもあります。」（ヨハネ第一 2:1,2）。

2) どうすればイエスを私たちの弁護士にできるでしょうか？

A: 「誰でも彼を信じる者は罪に定められません」（ヨハネ 3:18）。

永遠の命の唯一の希望としてイエスを心から信じる人は皆、恥をかかされることはありません。救い主は彼らの大義を訴え、彼らを克服し、救ってくださいます。アーメン！

金曜日

イエスを告白する

確かに、私たちはイエスを信じるだけで、イエスが私たちの弁護者として働いてくださるのです。しかし、私たちは真の信仰の成果が何であるかを理解する必要があります。こうすることで、誤った希望を抱かせることを避けられます。子どもを心から愛する父親や母親は、社会の中で子どもを自分の子として受け入れます。子供が親に対してするのと同じことです。彼は彼らの息子であることを告白し、彼らを恥じていません。たとえ彼らが貧しかったとしても、彼は裕福な友人の前では恥ずかしくて彼らを否定しません。

イエスは私たちを息子として受け入れてくださいました。そのようなものとして、神は私たちがご自分を私たちの永遠の父であり、私たちの信仰の創始者であり、私たちの希望の根拠であると告白することを期待されています。私たちが神を愛し、神を信じるなら、私たちが関わるすべての人よりも先に、私たちとキリストとのつながりを確実に認識するでしょう。そしてイエスは、「人々の前でわたしを告白する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で告白します」（マタイ10:32）と言われました。私たちの言葉と行動によって、私たちは神を告白することも、否定することもできます。

もし私たちが今日なお神を恥じ、友人からの嘲笑や親族からの迫害や差別を恐れて信仰を隠しているとしたら、神が天国で私たちを告白してくださることを期待することはできません。もし私たちがこの地上で主とともに歩みたいと思わないのであれば、どうやって天で主との交わりを楽しむことができるでしょうか。イエスは私たちの願いを理解して尊重しており、この理由から、地上でイエスを告白することを拒否する人々の名前を天の裁きで告白しません。あなたがこの世のものを好むなら、神はあなたの選択する権利を尊重してくださいます。愛に動機づけられた自発的な奉仕のみを受け入れてください。地上でこれを告白する者は天で神によって擁護されるでしょう。

土曜日

勝った人たちへ

聖書には、勝利した者に対する報酬の約束がたくさんあります。私たちにはそれを受ける資格はありませんが、神は地上で忠実なすべての人に報いを用意してくださいました。

救われた人全員が天国で同じ立場に就いて働くわけではありません。イエスは、「わたしの報いは、各人にその働きに応じて報いるというものである」と言われました。（黙示録 22:12）。

未来に連れて行かれたヨハネは、悪人さえも「人はみなその行いに応じて裁かれた」（黙示録20:13）と報告しました。

人間の業は書物に記録され、裁きの際に評価されるようになっています。「主を畏れる者たちと、主の御名を覚えた者たちのために、記念碑が御前に書かれた」（マラヤ 3:16）。

イエスを信じるすべての人の名前が命の書に記されています。判決の際に、私たちの名前が残るか削除されるかが決まります。「勝利する者は白いローブを着ることになる、そして私は彼の名前を聖書から決して消し去らない」

人生;そしてわたしは父と御使いたちの前で御名を告白します」 (黙示録 3:5)。

私たちは行いによって救われるのではなく、行いによって裁かれるのです。なぜなら、行いは信仰の結果、つまり成果だからです。かつて神はモーセに、イスラエルの民を解放するための道具として使うからエジプトに行くようにと言われました。彼が御言葉を信じたという証拠は、彼がそこへ旅行したときに与えられました。本当に信じる人はイエスに従います。したがって、もし誰かが神に従わないなら、それは彼らが信じていないことのしるしです。使徒ヤコブは次のように書いています。「愚かな人よ、行いのない信仰は無益だということを知りたいですか。……しかし、誰かが言うでしょう。『あなたには信仰がある、私には行いがある。あなたには信仰がある。私には行いがある。行いをせずにあなたの信仰を示しなさい。そうすれば、わたしも行いによってあなたの信仰を示しましょう。』」 (ヤコブ 2:20,18)。信仰とは単なる職業や「私は信じます」という言葉ではなく、心に根ざした信仰であり、イエスを唯一の希望とし、イエスの命令すべてに従うよう人を動かすのです。このような信仰によって、シロアムの池で目を洗うようにイエスの命令を受けた盲人は癒されました。彼はその言葉を信じ、従ったので、神は彼を回復させました。

神の裁きは福音を取り消すものではありません。私たちは信仰によって救われるという教えは変わりません。それは、誰が救いのための真の信仰を持っていたかを決定するだけです。

1) 天国に入るのはどの階級の人々ですか？

A.: 「私に『主よ、主よ』と言う人は皆そうではありません。しかし、天におられるわたしの父の御心を行う者は、天の御国に入るであろう」 (マタイ7:21)。

御言葉を実践する者は救われます。そして、私たちがそれに従うことができるのは、イエスを信じ、私たちの人生でそれを実現するためにイエスが私たちに与えてくださった力を信じる場合だけです。私たちが御言葉を信じ、私たちの行いがそれを証明しますように！私たちが神への信仰を通して勝利者となれますように！

レッスン 5 – 最初の天使のメッセージ – 創造主を崇拝する

黄金聖句：「天と地と海と水の泉を造られた方を崇拝せよ」（黙示録14:7）。

日曜日

創造主とは誰ですか？

最初の天使のメッセージは、私たちに創造主を崇拝するように命じています。聖書によれば、存在は唯一のものとして万物を創造しました。「あなたの救い主であり、あなたを胎内から形作られた主はこう言われます。わたしは万物を造り、ただ一人で天を伸ばし、地を広げた主です」〔誰が私と一緒にいたのですか？〕（イザヤ書 44:24）「神…彼は…ただ一人で天を広げて…あぐま座、オリオン座、プレアデス星団、そして南の部屋を造られた方です。偉大で探り知れないこと、数え切れない不思議なことをなさる方です」（ヨブ9 :2,5,8,9）。「初めに神は天と地を創造されました」（創世記 1:1）。

神は万物を一人で創造されましたが、神にはキリストという伴侶がいました。「彼は初めに神とともにおられました…神なしには造られたものは何もありませんでした。」（ヨハネ1:2,3）。「水がその命令を破らないように、神が海にその境界を与えたとき、主が地の基を据えられたとき、私は主とともにいて、主の弟子でした。」（箴言 8:29,30）神の子は父とともに創造の過程に参加しました。「世界は彼を通して造られました」（ヨハネ1:10）が、彼は創造者ではなく、神が万物を「造った」道具でした。「すべてのものは彼を通して造られた」（ヨハネ1:3）神は言葉、あるいは言葉です（ヨハネ 1:14）父の創造的な言葉が彼の口にあり、創造的な力が自由に使えました。聖書が、「キリストのうちに」、「すべてのものは創造された」（コロサイ1:16）と言っているのはこのためです。しかし、すべての根源は神でした。彼は創造主であり、キリストを通してすべてのものを単独で造られた方です。天国の住人たちは次のように断言します。あなたは万物を創造され、あなたのご意志によってそれらは存在し、創造されたからです」（黙示録 4:11）。万物の創造者である永遠の存在エホバは、わたしたちが最高の崇拝と崇拜に値する方です。「ああ、さあ、礼拝してひれ伏しましょう。私たちが創造された主の前にひざまずきましょう」（詩95:6）。

1) 創造主とは誰ですか？

答え：「初めに、神は天と地を創造されました」（創世記 1:1）

月曜日

1) 神様は何人いますか？

A: 「神は唯一であると信じますか？あなたはよくやっています」（ヤコブ 2:19）。

創世記から黙示録に至るまで、聖書の中で神への言及は常に単数形、つまり一人の人物に対して行われています。聖書の最初の節には、「初めに神が創造された」（創世記 1:1）と書かれています。「彼らが神を創造した」（複数形）とは書かれていませんが、単数形の神を創造したのです。これは聖書全体で繰り返されています。

「そして神は言われた、『私たちの姿に似せて人を造ろう』（創世記1:26）。聖書には「彼らは神と言った」ではなく、「そして神は言った」と書かれていることに注意してください。この聖句は、ある人、神が別の人を「私たちの姿に似せて人を造ろう」と勧める様子を示しています。昨日、私たちはキリストが神とともに創造に参加された方であることを学びました。そうすれば、この聖句は神という人が御子キリストに向かって「私たちの姿に似せて人を造ろう」と言っていることが分かります。

神はご自身の律法を民に伝えたとき、ご自身を一人の人間として示されました。「あなたがたはわたしの前に他の神を持ってはならない」（出エジプト記20:3）。私は「私たちの前に」と言ったのではなく、「私の前に」と言った。たとえば、誰かがグラスを見て「これは私用です」と言ったとしても、そのグラスが3人のグループのためのものであるとは誰も思いません。それはただ一人のためです。神は二人や三人ではなく一人であるというこの概念は使徒たちにとって非常に明白だったので、彼らは著書の中でそれを何度も繰り返しました。

「神は一人であり、神と人との間の仲介者も一人、それは人であるキリスト・イエスです」（1テモテ 2 :5）。

「すべてを支配する唯一の神でありすべての父である」（エペソ4:6）。

「しかし、私たちには唯一の神、父がおられるのです」（1コリント8:6）。あなたへ？

火曜日

1) 唯一の神は誰ですか？

A.: 「父よ、その時が来ました。「あなたの御子を讃えなさい…そしてこれが永遠の命です。彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたがお遣わしになったイエス・キリストを知るためです。」（ヨハネ17:3）

イエスは、ご自分の父が唯一の神であると積極的に述べられました。「ユニーク」という言葉を聞くと、他にはないことが分かります。父のほかに神は存在しません。イエスはパリサイ人たちに向かって、「わたしは言いました、わたしは神の子です」（ヨハネ10:36）と述べました。彼が誰であるかを定義するには、彼以上に優れた人はいません。したがって、彼自身の言葉から、私たちは次のことを理解します。

「神はただ一人、父である」

「神の御子、主イエス・キリストがおられます。」これが使徒たちの信仰でした。

「しかし、私たちには唯一の神、父がおられるのです」（1コリント8:6）。

「恵み、憐れみ、平安は、父なる神と父の御子イエス・キリストからのものです」（Ⅱヨハネ1:3）。

イエスご自身の啓示に矛盾するために、神の言葉の他の聖句を使用することはできません。私たちがここで言及しているのは、「神」という言葉がイエスに関連して登場する聖書の一節です。不注意な読者は、聖書がイエスが神であることを明らかにしているとして理解するかもしれません。しかし、靈感を受けた聖書はそれ自体に矛盾はありません。聖書のさまざまな翻訳を作成する際、著者たちは自分たちの信念と調和していると考え、最も適合すると思われる言葉を選んだことが判明しました。

したがって、彼らはオリジナルで明らかだったものを歪曲することになりました。翻訳にはオリジナルの聖書と若干の違いがあり、読者を誤解させる結果となりました。しかし、この問題に関するイエスの言葉に固執する人には、間違える理由はありません。イエスは、「わたしは……真理である」（ヨハネ14:6）と言われました。彼はすべての真実の解説者です。そして、イエスが次のように言われたことを思い出してください。

父について:

「父よ、その時が来ました。「あなたの御子を讃えなさい…そしてこれが永遠の命です。彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたがお遣わしになったイエス・キリストを知るためです。」（ヨハネ17:3）

彼自身について:

「わたしは言いました、『わたしは神の子です』（ヨハネ10:36）。

多くの人はイエスが父と同じように神であると考えています。しかし、イエスご自身は、父はご自分よりも偉大であると言われました。ヨハネ 14:28 の本文を読んでみましょう。

「イエスは答えました…父は私よりも偉大です。」ヨハネ 14:23,28

水曜日

現代語訳と現代語訳

昨日の学びで、私たちは御父が唯一の神であり御子であるというイエスの啓示を見ました。私たちは、聖書の一部の翻訳に見られるように、誤りを引き起こすテキストの存在についてコメントしました。それらは次のとおりです: ヨハネの第一の手紙 5:7; ローマ人への手紙 9:5。テトス 2:13。ユダヤ人への手紙 4; ヨハネ 1:1。ヨハネ 1:18。ヘブライ人への手紙 1:8。それらのいくつかについてコメントし、原文に最も忠実な翻訳を提示します。そしてそれはこの主題に関するキリストの教えと調和しています。

ヨハネ第一 5:7:

この節に登場する「地上で証しするのは父、御言葉、聖霊の三人であり、その三人は一つである」というフレーズは、聖書の原文には存在しません。

おそらく、このテキストは、あなたの手にある聖書の中で角括弧内に表示されます (この記号: [_ _ _])。そして、エルサレム聖書の注釈は、その本文がオリジナルに属していないことを非常に明確にしています。以下を参照してください。

「vv.のテキスト。 7-8は、Vulg.deに、古代ギリシャ語の文書、古代バージョン、およびVulg.の最良の文書にはなかった切り込み (以下の括弧内)が追加されており、本文の後半で紹介される余白の光沢であるように見えます。「というのは、証しする者が三人いるからです (天には父、御言葉、聖霊、そしてこの三人は一つです。そして地上には証しする者が三人います) :御霊、水、血、そしてこれらの者です。三つは一つだ。」エルサレム聖書、第3刷り、2004年、16頁。 2132、2133 (ヨハネ第一 5:7 の脚注コメント - 強調追加)

上記の文を追加せずに、最も忠実なオリジナルのバージョンに従ってテキストを以下に示します。

「それを証するものは三つある、すなわち御霊、水、血であり、その三つは一つの目的で団結しているからである。」ヨハネ第一 5:7

ヨハネ第一 5章7節の原文にはない人間が加えた部分を加えた本文は、三位一体の教義が聖書的事実であることの証拠として多くの人に提示されています。

しかし、テキストを追加せずに聖句を読むと、それが三位一体の存在を証明していないことが非常に明らかになります。それは神の霊、水と血についてのみ語られています。

参考までに、他の物議を醸したテキストの原文の最も忠実な翻訳を紹介します。このテーマについてさらに深く研究し、原文に照らして以下のすべての聖句についての解説を得るには、Editora 4 Anjos から出版された『しかし、私たちにあって神はただ 1 人、父である』という本を読むことをお勧めします。

「彼らは族長であり、キリストも彼らの子孫です。万物の上におられる神に永遠の賛美あれ！」ローマ人への手紙 9:5。

「祝福された希望と、私たちの偉大な神と私たちの救い主イエス・キリストの栄光の出現を求めています」テトス 2:13。

「誰も神を見たことがありません。父の懐にいる独り子こそが、御子を啓示した方なのです」ヨハネ 1:18。

「というのは、ある特定の人々が、この有罪宣告をずっと前から宣告されていた、不敬虔な人々であり、唯一の主権者である私たちの神と私たちの救い主イエス・キリストの恵みを放縱に変える不敬虔な人々であり、同化せずに忍び込んでいるからです。」ユダ4。

「初めにことばがあった、ことばは神の中にあった、そして神はことばであった。神は初めに神の中にあった。」ヨハネ 1:1。

「あなたの王座は永遠に神のものです」（ヘブライ人への手紙 1:8 – 詩篇 45:6 の転写）。

木曜日

聖霊

キリスト教の一般的な信念は、聖霊は三位一体の第三位格である神であるということです。しかし、多くの人知らないのは、「三位一体」という言葉は聖書の中にさえ出てこないということです。その起源は異教です。それはエジプト人、バビロニア人、アッシリア人、ペルシア人、ローマ人のカルトに由来し、コンスタンティヌス帝がキリスト教を帝国の国教とした後、ローマ人によって使徒キリスト教会に導入されました。キリスト教会がカトリック（普遍を意味する）となり、「使徒」とローマ人の宗教であるため「ローマ」という名前を維持したのはその時でした。したがって、ローマカトリック使徒教会という名前は今日まで残っています。それは、途方もない残虐行為（神への子供たちの犠牲さえも）を命じた異教の宗教と、太陽崇拝と、純粋なキリスト教の宗教とが混合された結果です。その基本的な教義は次のとおりです。

「三位一体の神秘はカトリック信仰の中心的な教義です。教会の他のすべての教えはこれに基づいています。」（今日のカトリック教徒のためのマニュアル、11ページ）。

「私たちの敵対者（プロテスタント）は、聖書に明示されていない信仰は教義化されるべきではないと時々主張します...しかし、プロテスタント教会自体は、福音書に正確な権威がない三位一体などの教義を受け入れています。」。（Revista Vida – カトリック、10/30/50）。

また、聖書は聖霊を神として信じることを認めていません。それはその存在を肯定的に肯定します。しかし、どこにも彼が人として、あるいは神として描かれていません。イエスはそれを息に例えてこう言いました。

「そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて、『聖霊を受けなさい』と言われた」（ヨハネ20:22）。

イエスは自分が聖霊であることを明らかにしました。

「見よ、私はドアに立ってノックしている。誰かがわたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは彼のところに入って一緒に食事をし、彼もわたしと一緒に……耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。」（黙示録3:20,22）。

パウロは、救い主を受け入れなかったユダヤ人の状況についてコメントし、イエスは御霊であると言いました。

「しかし、彼らの理解は固まりました。なぜなら、今日に至るまで、古い契約が朗読される時、同じベールが残っており、それがキリストにあって廃止されたことが彼に明らかにされていないからである。そうです、今日に至るまで、モーセの手紙が読まれるときはいつでも、彼らの心にベールが掛けられています。しかし、もし彼らのうちの一人が主に立ち返れば、そのベールは取り去られます。」ここまでどころ、ユダヤ人が主イエスに改宗すると、彼の理解を覆い隠していたベールが取り除かれると述べています。そして彼はこう説明します。「今、主は御霊です」（IIコリント 3:14-17）。

主イエスは御霊です。

金曜日

掛け布団

「そして私は父に祈ります。そして父はあなたに別の助け手を与えてくださいます。彼が永遠にあなたと一緒にいるように、真理の御霊です。世界は彼を受け入れることができません。なぜなら、彼を見たり、知ったりしないからです。」あなたは彼を知っています、なぜなら彼はあなたとともに住み、あなたの中にいるからです。」

ヨハネ 14:16,17

イエスは弟子たちに、彼らはすでに慰め主である真理の御霊を知っていると語り、その理由を次のように語られました。

「あなたは彼を知っています。なぜなら彼はあなたとともに住み、あなたの中にいるからです。」ヨハネ 14:17

イエスは彼らと一緒に生きた人でした。イエスは弟子たちに、慰め主について話すとき、それはご自身のことを話しているということを理解させました。次の言葉はこの考えを強化します。

「私はあなたたちを孤児にはしません、私はあなたのところに行きます。」ヨハネ 14:18

ここでイエスは弟子たちに、自分が慰め主として戻って来られる方であることを明らかにされました。しかし、それでもイエスが再臨のことを言っていると考える人もいられるかもしれません。弟子たちがそのような結論に達するのを防ぐために、イエスは次のように明確にされました。

「しかし、しばらくの間、世界はもう私を見なくなるでしょう。しかし、あなたはわたしを見るでしょう。私が生きているから、あなたも生きるのです。」ヨハネ 14:19

聖書は、イエスが二度目に地上に来られるとき、「すべての目はイエスを見るだろう」（黙示録1:7）と宣言しています。これには世界中のすべての人が含まれます。しかし、イエスは慰め主の到来について語ったとき、次のように言われました。しかし、あなたはわたしを見るでしょう。」イエスが地上への再臨について言及しているのではなく、慰め主としての来臨について言及していることは明らかです。そのときは、信者だけが彼を受け入れるときでしょう。スピリットという言葉は、各聖句の文脈に応じてさまざまな意味で使用されます。

しかし、それが約束の慰め主に当てはまる場合、それは「聖霊」という名の神のことでなく、キリストご自身のことを指します。聖霊は「第三の神」でも「三位一体の三人称」でもありません。「神は一人であり、一人の人間、すなわち「父がおられます（Iコリント 8:6）。2つでもなく、3つでもなく。

土曜日

真の洗礼と唯一の神

多くの人は、マタイ 28 章 19 節に基づいて三位一体の考えを主張しています。

「父と子と聖霊の名において彼らに洗礼を授ける」。このテキストはオリジナルと一致しないことが判明しました。オリジナルの最も正確な研究によると、正しいテキストは、3 世紀の作家、カイサリアのエウセビオスの言及に見られるものです。彼はマタイ 28:19 を次のように述べています。

「それゆえ、行って弟子を作り、わたしの名において彼らにバプテスマを授けなさい。」マタイ 28:19、原文によると。

謙虚に証拠を比較する聖書研究者なら誰でも、使徒行伝に引用されているバプテスマの記述と一致する唯一のバージョンであるため、上記のバージョンが正しいバージョンであることを確認できます。それらはすべてイエスの名による洗礼を指しています。例として使徒 2 章 37 節と 38 節を引用します。

1) 使徒たちはイエスの命令に従い、何という名前でバプテスマを受けましたか。

A.: 「そこでペテロは彼らに言った、『悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう。』 ...そこで、彼の言葉を喜んで受け入れた人々はバプテスマを受けました。そしてその日、ほぼ3000人の魂が追加されました。 ... すべての魂の中に恐れがあり、使徒たちは多くの不思議としるしを行いました。使徒 2:38,41,43。

2) バプテスマは何回ありますか？

A.: 「主は一人、信仰は一つ、バプテスマは一つ」エペソ 4:5。

神はイエスの名によるバプテスマの説教を祝福し、3,000人の魂がバプテスマを受けました。神が説教に承認の印を押したことは明らかです。これは主が承認したバプテスマであり、使徒言行録にある他のすべてのバプテスマもこの名、つまりイエスの名で行われました。したがって、霊的な人なら誰でも、これがマタイ 28:19 で発表されたバプテスマであると安全に結論付けることができます。イエスは「私の名において」洗礼を命じました。使徒たちは従い、「イエスの名において」バプテスマを宣伝しました。そして神はこのバプテスマの説教を祝福し、最初に発表されたときに3,000人の魂を加えました。したがって、現代の聖書に出てくる「父と子と聖霊の名によって彼らに洗礼を授けている」という文章は、それを裏付けるものが何もないため、さらにグロテスクな改ざんであることがわかります。 . 御言葉の別の部分。それは音楽における調から外れた音のようなもので、聖書の中でこの主題を扱っているすべての聖句と衝突します。

聖書の研究からわかるように、マタイ 28 章 19 節に基づく三位一体の主張は地に落ち、キリストによって明らかにされ、使徒によって宣べ伝えられた真理だけが輝きます。彼らはこう言いました。「たとえ、天であろうと地であろうと、[多くの神や多くの主がいるように]神と呼ばれる人々もいますが、それでも私たちにとっては唯一の神、父がおられるからです。」(1コリント8: 5,6)。そして、最初の天使のメッセージの呼びかけの中に、「天と地と海と水の泉を造られた方を拝みなさい」(黙示録 14:7)というメッセージの中に、唯一の創造主である神を崇拝するようという招きが見られます。父よ、私たちはイエスを救い主として崇拝します。多くの人が罪を犯さずに神を崇拝しました。そして私たちもそうすることができます。しかし、私たちは創造主としての父だけを崇拝します。

3) 真の崇拝者は誰を崇拝しますか？

A.: 「しかし、真の崇拝者たちが御父を礼拝する時が来ています、そして今です。

精神的にも真実においても、父はご自分を礼拝する者を求めておられるからです」(ヨハネ20:23)。あなたもその中に入るでしょうか？

レッスン 6 – 第二の天使のメッセージ

黄金聖句: 「第二の天使が彼を追ってこう言いました。『大いなるバビロンは倒れた、倒れた。そのせいですべての国々が彼の淫行の怒りのぶどう酒を飲まされた。』」黙示録 14:8。

日曜日

1) 最初の天使がメッセージを発表した後はどうなりますか？

A.: 「第二の天使が彼を追って言った、『大いなるバビロンは倒れた、倒れた』」 (黙示録14:8)。

地球のすべての住民にメッセージを送った最初の天使に続き、第二の天使が現れます。これが最初のメッセージの後に来るという事実は、そのメッセージが最初のメッセージに追加されたものであることを示しています。言い換えれば、以前に第二の天使のメッセージを受け入れた人は、それを真に理解するでしょう。踏み台と比較してみましょう。最初のステップを歩かなければ、2 番目のステップに到達することはできません。先週、私たちは最初のステップを知ろうとしていました。このメッセージは、次のようないくつかの重要な点を教えてくれました。

- 天での裁きが進行中であり、私たちはそれに備える必要があります。
私たちも裁かれるでしょう。
- 神は私たちが神を唯一の真の神として認識することを期待している、
他の。

これら 2 つの真実はキリスト教の世界を証明します。それは、彼らが現代キリスト教に深く根付いている信仰を攻撃しているからです。最も観察しやすい事例は、最初の天使のメッセージの後半部分に関するものです。「天と地と海と水の泉を造られた方を崇拜しなさい」(黙示録14:7)。先週の学習で、創造主は唯一の神である父であることを見ました。しかし、キリスト教世界はほぼ全体的に三位一体を信じています。本当の洗礼はイエスの名において行われますが、キリスト教世界では「父と子と聖霊の名において」洗礼を授けます。これらの一般的な信念を聖書と比較する誠実な信者は、自然に教会に関して「彼は墮落した」と言うようになります。言い換えれば、霊的な墮落があったのです。聖書の真理は放棄され、人間の戒めと置き換えられました。しかし、最初の天使のメッセージを理解した人だけがこれを見ることができ、唯一の神、父の存在 (コリント 8:6) とイエスの名による一つの洗礼を明らかにします。それが間違いであると考えただけが、自分たちの教会が崩壊したと言えるのです。残りの人々はそのようなメッセージに光を見出すことはなく、彼らが見ているものを分離主義者、分裂的であると呼ぶでしょう。すると衝撃が起きる。ここから、黙示録 14 章の天使のメッセージの光は進歩的であり、それが私たちに明らかにするにつれて、私たちが進歩する必要があることがわかります。

月曜日

「大いなるバビロンは倒れた、倒れた」（黙示録14:8）。

バビロンの起源

バビロンは「混乱」を意味するバベルという言葉に由来しています。聖書の中でこの用語に初めて出会うのは創世記です。この物語は、ニムロドという名前が「反逆者」または「反逆した」を意味し、神に真っ向から反対する行動をするように人々を導こうとしたと伝えています。彼は洪水の直後に生きていました。彼は、人々が都市に集まるのではなく、地球全体に分散して生きることを望んでいることを知っていました。「神はノアとその息子たちを祝福し、彼らに言われた、『産めよ、増えよ、地に満ちよ』（創世記 9: 1)。ニムロドは神の意志に反して、人々が散らばらないようにいくつかの都市を建設しました。聖書には、「彼の王国の始まりはシナルの地のバベル、エルク、アッカド、ケーンであった」と記されています。彼はこの同じ地からアッシリアに行き、ニネベ、レホボティル、カラ、そしてニネベとカラの間にレセムを建設した（これが大都市である）」（創世記 10-12）。

1) ニムロドによって最初に建設された都市は何ですか？

A.: 「彼の王国の始まりはバベルでした」（創世記 10:10）。

ニムロドは最初に建設した都市に、天の神の命令に対する最大の反抗の例となる記念碑を建設しようとしていました。神が言ったことの逆を行うために、地球上に広がるために、神は都市の名前を冠した塔の建設を提案しました。さあ、レンガを作り、よく燃やしましょう。レンガは石として、アスファルトはモルタルとして機能しました。

そして彼らは言った、「さあ、自分たちで都市と塔を建て、その頂上が天に届くような塔を建てて、地上に散らばらないように名を上げようではないか」。それから主は下って来て、人の子らが建てている都市と塔を見ました。「見よ、人々は一つであり、彼らは皆一つの言語を持っている。そしてこれが彼らがやり始めることです。これからは、彼らがやろうとしていることすべてに制限はなくなります。

さあ、下に行って、そこで彼らの言語を混乱させて、お互いの言語が理解できないようにしましょう。そこで主は彼らをそこから全地に散らされました。そして彼らは都市建設をやめた。したがって、その名前はバベルと呼ばれました。なぜなら、主はそこで全地球の言語を混乱させ、そこから主は彼らを全地球の表面に散らしたからです。」（創世記 11:3-9）。

神に反抗して建てられた塔と都市の名前であるバベルは、混乱だけでなく、神の命令に対する公然とした反逆の象徴ともなりました。

瞑想するには: 「ニムロドの都市建設は今日に至るまで社会にどのような影響を与えたでしょうか? 都市における人間の生活の質とは何でしょうか?

神が人間に地球上に広がるように言ったとき、それは正しかったのでしょうか? これは不適切な命令だったのか、それとも愛情表現だったのか?

火曜日

古代バビロン

古代の邪悪な人々は神から遠く離れたので、ニムロデを神として崇拜し始めました。それだけでなく、彼らは彼の妻セミラミスと、この結合の息子タンムズも神格化しました。こうして父、母、息子の三人は慕われ始めた。この三人の三位一体の崇拜者たちは、バベルに似た名前の都市、バビロンを設立しました。これは、天の神とその政府に対する抑圧、専制、反抗の象徴となっています。預言者は、その後のこの都市の崩壊について次のように述べました。彼を撃ちなさい、矢を惜しまないでください、彼は主に対して罪を犯したからです...種を蒔く者と収穫の時に鎌を振るう者をバビロンから断ち切りなさい。圧制者の剣のせいで...なんとハンマーが全地から切り落とされたことだろう！...バビロンに対して弓を曲げる射手たちを集めよ。周囲に陣を張り、誰もそこから逃げさせないでください。彼の仕事に応じて彼に支払います。彼がしたことすべてに従って、彼にもそうしなさい。彼はイスラエルの聖者に対して傲慢に行動したからである」（エレミヤ 50:14,16,23,29）。

バビロンでは、ニムロドとその家族は、バビロニアの神々であるベル、イシュタル、マルドゥクの名で崇拜されました。礼拝は彫刻された像を通して行われました。バビロンの首長、王は、地上における神の代表者とみなされるようになりました。天の神に対抗して統治することに満足せず、バビロンは地上のすべての国々にバビロンの宗教形態を採用するよう誘導し、強制しようとしていました。この行為は、エレミヤの言葉の中で象徴的な言葉で説明されています。「バビロンは全地を酔わせた金の杯でした。国々は彼のワインを飲みました。それゆえ、諸国民は我を忘れていたのです」（エレミヤ 51:7）。

1) 神はバビロンに何をどのように約束されましたか？

A.: 「私はバビロンとカルデアのすべての住民に、彼らがシオンで行った悪事のすべてをあなたの目の前で報います、と主は言われます。」（エレミヤ 51:24）

バビロンには神の裁きが訪れることになる。それは、人間を神から遠ざけ、専制で諸国民を統治してきた悪事への報復として、完全に滅ぼされることになる。その都市に起こるであろう滅びについて預言者はこう述べました。「神がソドムとゴモラとその近隣の都市を滅ぼしたときと同じように、そこには人は住めず、人の子もそこに滞在することはできない、と主は言われる」。（エレ 50:40）。実際、バビロンは破壊され、今日まで再建されていません。最近、独裁者サダム・フセインが市内の再建工事に着手したが、米軍によって王位から追放され、その取り組みは中断された。神の言葉は失敗しません。バビロンは二度と建てられることはありません。

瞑想してみてください。神のものに反抗し、永遠に繁栄した政府がかつて存在したのでしょうか？もしあの時バビロンが滅ぼされていなかったら、今の世界はどうなっていたのでしょうか？バビロンの破壊は神の気まぐれな行為だったのでしょくか、それとも人類に対する愛の行為でしょうか？

水曜日

「大いなるバビロンは倒れた、倒れた」（黙示録14:8）。

現代のバビロン

黙示録の中で神は、バビロン都市は決して再び建設されるべきではないが、古代都市をモデルとした偽りの宗教制度が出現し、現代でも同様の役割を果たすであろうことを明らかにしています。誰も彼に騙されたり、彼を待っている破滅に導かれたりしないように、彼はシンボルを通して私たちが彼を識別できるようにする特徴を明らかにしました。

1) 黙示録の「大いなるバビロン」とは誰ですか？

A.: 「そして、彼は私を霊に導かれて荒野に行きました。そして、私は、冒涇の名前でいっぱい、7つの頭と10本の角を持った緋色の獣の上に座っている性を見ました。そして、そのは紫と緋色の服を着て、金、宝石、真珠で飾られ、手には自分の淫行の忌まわしいものと不潔さで満たされた金の杯を持っていました。そして彼の額には名前が書かれていました : 神秘、大いなるバビロン、売春婦と地の忌まわしいものの母。そして私は、その性が聖徒たちの血とイエスの証人の血に酔っているのを見ました。そしてそれを見たとき、私は大きな感嘆の念を抱きました。」黙示録 17:3-6

バビロンは性として描かれています。聖書の象徴において、性は教会を意味します。パウロはコリント人にこう言いました。

「私は神のねたみと同じように、あなたに対してねたみを抱いているからです。なぜなら、私はあなたを純粋な処として一人の夫、さらにはキリストに差し出す準備をしたからです。」コリント第二 11:2。
処の性はキリストに忠実な教会を表します。売春婦はその反対、キリストとその真実を裏切る教会を代表しなければなりません。として？御言葉の教えに反する教義を教えること。大いなるバビロンはそのような教会であり、その額には「淫行の母」と記されている。彼は自分のことを「お母さん」と呼んでいます。彼にとって、他の教会は姉妹ではなく、娘です。「聖なる母教会」の称号を持つ教会はどれですか？このシンボルが偉大なバビロンを完全に特定できるほど明確ではなかった人もいますが、彼については「その性は聖徒たちの血とイエスの証人の血に酔っていた」とも言われました。このシンボルには疑いの余地はありません。単一の教会は、神の言葉に反する教義を教えることに加えて、その歴史の中に殺人記録の汚点も抱えています。

聖書を信じる1億人以上の人々が所属するローマ・カトリック使徒教会。記号に示された特性をすべて満たす唯一のもので。

彼は「大いなるバビロン」です。

木曜日

「大いなるバビロンは倒れた、倒れた」（黙示録14:8）。

バビロン - 母と娘たち

旧約聖書では、他の民族、特にバビロンとその統治体制を支持した人々をバビロンの「娘」と呼んでいます。詩編には次のような例があります。「主よ、エドム人に対して、エルサレムの目を覚ましてください。彼らはこう言いました。「滅ぼせ、その基礎まで滅ぼせ。」おお！バビロンの娘、破壊的。あなたが私たちにしてくださったように、あなたに報いてくださる方は幸いです」（詩137:7,8）。

エドム人はヤコブの兄弟エサウの子孫で、ヤコブはキリストによって名前をイスラエルに変えられ、この名前を持つ民族が生まれました。したがって、エドム人とイスラエル人は二人の兄弟の子孫であり、兄弟のような民族でした。しかし聖書はここでエドム人をバビロンの娘と呼んでいます。彼らは肉体的にはバベルの創始者の子孫であるため、神は彼らを「娘」とは呼びません。彼らはイスラエル人と同じように、アブラハムとイサクの子孫でした。しかし、神の民に対するバビロンの圧政と同様の行為を彼らが支持しているため、ここでは彼らは霊的な意味でバビロンの子供たちと呼ばれています。このように、古代には、他の人々に偽りの宗教を押し付ける邪悪な都市である母であるバビロンと、その霊的な娘であり彼の行為に従う娘たちがいました。

1) 第二の天使のメッセージの中に「落ちた」という言葉が何回出てきますか？

A.: 「大いなるバビロンは倒れた、倒れた」（黙示録14:8）。

バビロンは二度倒れませんでした。歴史は、一度の決定的な崩壊を示しています。「これまでにあったことは、これからも起こることです…太陽の下に新しいものは何ともありません。」（伝道者 1:9）。

バビロンが「二度倒れる」ことはありません。では、第二の天使のメッセージの中で繰り返される「墮落」という言葉をどのように理解すればよいのでしょうか。神は偶然に何かを書くことはありません。聖書の原文では、「落ちた、落ちた」という言葉が二度出てきます。それが二度の墮落を意味しないのであれば、この表現はバビロンだけでなく、同じ名前と呼ばれる者の墮落を意味することになる。私たちは昨日のレッスンで大いなるバビロンとは誰なのかを学びました。しかし今日では、母なるバビロンと同じ教義を教え、同じ原則に従う他の宗教団体があることは容易にわかります。エドム人と同様に、日曜、三位一体、魂の不滅、母なるバビロニア教会が説教するその他の教義を説教する彼らは皆、彼の娘です。そして彼の墮落も同様に第二の天使のメッセージで告げられます。

2) 第二天使のメッセージを学んだ後、私が所属している宗教団体がバビロンの原則に従っていることを発見した場合、私は何をすべきですか？

A.: 「大いなるバビロンは倒れた、倒れた…わが民よ、彼から出て行け。そうすれば、あなたが彼の罪にあずかることのないように、また彼の災いを被ることのないように」 （黙示録18:2,4）。

金曜日

罪人の魂は不滅ですか、それとも死みますか?死後に意識はあるのでしょうか?

昨日私たちは、現代のバビロニア教会が説いている誤りの一つが魂の不滅であるとコメントしました。今日は聖書に照らしてこの重要なテーマを扱います。神は人間を不滅に創造されました。彼がこの状態を失うのは、主の戒めに従わなかった場合だけです。ただし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない、それを食べる日には必ず死ぬからである。」

2:16,17) 。私たちは、アダムとイブの不従順、園からの追放、そして次の言葉の成就の物語を知っています。そして彼は死んだ」 （創世記5:5）。

1) アダムの墮落の後、不滅の人間は存在しましたか、それとも死はすべての人間に広がりましたか?

A.: 「ですから、一人の人を通して罪が世界に入り、罪を通して死が入ったのと同じように、死はすべての人に広がりました。なぜなら、彼らは皆、罪を犯したからです。」 （ローマ 5:12）

したがって、不滅の罪人は存在しません。神はこう言われました、「罪を犯した魂は死ぬ」 （エゼキエル書 4:3）

18:20) 。罪人の魂は不滅ではありません。罪人が失った不死を回復するために、神は罪深い人間のために死ぬために御子イエスを遣わさなければなりませんでした。

「私たちの救い主キリスト・イエスは、福音によって死を滅ぼし、命と不死を明らかにされました」 （IIテモテ 1:10) 。救い主の死によって、私たちは生きることができるのです。これが不死を取り戻す唯一の方法です。しかし、今日の一般的な教会は、人間の魂は死後も天国、地獄、辺獄などの場所で意識のある状態にあると教えています。そのような教えには聖書の裏付けがありません。死について主はこう言われます。その日のうちに彼らの思いは消えるのです」 （詩 146:4) 。したがって、死んだら意識はなくなります。イエスはそれを眠りにたとえて、ラザロの死に触れてこう言われました。しかしイエスは自分の死について語られました。しかし彼らは、彼が残りの睡眠について話していることを理解しました。そこでイエスは彼らに、「ラザロは死んだ」とはっきりと言われました（ヨハネ11:11-13）。

土曜日

まとめ

今週、私たちは、最初の天使のメッセージに続いて、2番目の天使のメッセージが追加されているのを見ました。神は私たちがご自身の進歩的な光の中を歩むことを期待されていることがわかります。私たちが第二の天使のメッセージを正しく理解するためには、第一の天使のメッセージに対する信仰による従順の経験が必要です。

私たちは、現代のバビロンが古代バビロンの継続であり、像の崇拝、三位一体の崇拝、地上の神の代理としての王の配慮を押し付ける偽りの宗教制度であることを理解しています。これは現在、ローマカトリック使徒教会で擬人化されています。しかし、彼には一人ではありません。彼には娘たちがいます。教会も彼と同じように神の目に触れ、誤った教義を教え、人々を聖書から遠ざけています。彼らは皆バビロンの娘と呼ばれており、彼らの墮落は第二天使のメッセージでも告げられています。

また、聖書によれば死者の状態とはどのようなものなのか、そしてこの真実が、死者には死後に過ちを償う二度目のチャンスがあるというスピリチュアリズムや一般的な教会の教えとどのように対照的であるのかについても学びました。神の言葉は明確です。彼の記憶は忘れ去られていたからだ。あなたの愛も憎しみも羨望もすでに消え去った。また、彼らは今後、太陽の下で行われるあらゆることに永遠に参加することはありません」（伝道 9:5、6）。「人間には、一度死ぬことと、その後裁きを受けることが定まっている」（ヘブライ人への手紙9:27）。私たちが永遠の運命を決めるのはこの人生です。人間には死後に二度目のチャンスがあるという教えは、人間がこの試練の時期に永遠の命への備えをせず、魂を永久に失うことになるため、最も危険である。これは私たちの魂の敵の願望です。しかし、私たちが騙されずに救われるように、御言葉を通して警告を与えてくださった神に感謝します。そして、私たちがこのことや他の間違いを教えている組織と何らかの形でつながっていることを認識しながら、神と天のアドバイスに従うことができますように。そして、あなたが彼らの災いに遭わないようにするためです。」（黙示録 18:2,4）。神のお恵みがありますように。

レッスン 7 – 第二の天使のメッセージ – 続き

黄金聖句: 「第二の天使が彼を追ってこう言いました。『大いなるバビロンは倒れた、倒れた。そのせいですべての国々が彼の淫行の怒りのぶどう酒を飲まされた。』」黙示録 14:8。

日曜日

「すべての国々にその淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたバビロン。」
黙示録 14:8。

この聖句は、バビロンがすべての国々を怒りのぶどう酒で酔わせる時を示しています。時間を理解するには、ワインが何であるかを知る必要があります。

1) イエスはご自分の教義を何に例えましたか?

A: 「私が与える水を飲む人は決して喉が渇きません。それどころか、わたしが彼に与える水は、彼の内で永遠の命に至る水が湧き出る泉となるであろう」 (ヨハネ4:14)。

疲れた人を元気づける水のように、罪を負い永遠の命に飢えている魂のためのキリストの教義です。希望と許しの良い知らせをもたらす彼の純粋な言葉は、同じく純粋で体に良いだけである水に例えられます。ワインは水とは異なり、それを使用する人々を酔わせ、判断をゆがめます。聖書には、ノアは「ぶどう酒を飲んで酔った。そして彼は天幕の中で裸であった」 (創世記9:21)。「ワインはあざけり、強い飲み物は煽りです。そしてそれを誤る者は賢明ではない」 (箴言 20:1)。そして神はアロンにこう命じました。「あなたも、一緒にいるあなたの息子たちも、会見の天幕に入るときは、死ぬことのないように、ぶどう酒や強い酒を飲んではいけません」 (レビ記10:9)。

水はキリストの純粋な教義を表すため、ワインは霊的理解を歪め、人を永遠の命の道から逸らす誤った教義を表すに違いありません。黙示録はこの比較を利用しています。バビロンがぶどう酒を「飲ませた」と書かれているのはそのためです。

先週のレッスンで、バビロンはキリストの純粋な言葉の代わりに教義、つまり人間の教義を教える教会であることを見ました。彼は他の人に間違いを教えることで、彼らにワインを飲ませているのです。これが「ワインを飲ませた」という言葉の意味です。

月曜日

「すべての国々にその淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたバビロン。」
黙示録 14:8。

酔った後に非常に暴力的になった人々の話を聞くのはよくあることです。神は私たちの日常生活の事実を用いて、私たちに霊的な真理を教えられます。物質的な生活で起こることと同じことが、霊的な意味でも起こります。神の言葉に反する教えは、私たちに永遠の破滅をもたらしたいと考えているサタン自身によって展開されています。それらを受け取る人々は最終的に彼の霊に触発され、彼と彼の天使たちが真理の与え主であるキリストに対して憤慨したように、彼らも神の聖徒に対して憤慨することになるでしょう。彼らは彼らを迫害し、殺そうとします。

黙示録には、バビロンが人々に怒りのぶどう酒を飲ませると書かれています。これを理解するのは難しくありません。カトリック教会の指導者たちはかつて、神の言葉に反する教義を受け入れない人々に対して激怒していました。だからこそ彼らは聖徒たちを迫害し、殺害したのです。そしてバビロンは同じ怒りのぶどう酒を「諸国民に飲ませる」でしょう。これは、各国の指導者が同じ宗教的不寛容の精神に染まる時代が来ることを意味する。彼らは怒り、真実を信じて説く人々を殺そうとします。キリストに従う人々の迫害と死を命じる立法裁判所からの判決が出されるだろう。聖書はこう述べています。この恐ろしい時代において、神の僕たちはどのような態度を取るべきでしょうか。「群衆に従って悪を行ってはならない。また、正義を曲げるために多数派に従って訴訟の証言をしてはならない」（出エジプト記 23:2）。

火曜日

「すべての国々にその淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたバビロン。」
黙示録 14:8。

聖書は、キリストの純粋な教会を、純粋で夫に忠実な処女の性にたとえています。神はご自分の民についてこう言われます。「イスラエルの処女よ、わたしはあなたを再び建てます、そしてあなたも建てられます！」（エレミヤ 31:4）。一方、売春婦、すなわち不貞な性は、キリストに仕えると公言しながらも、キリストとキリストの言葉に忠実ではなく、むしろ誤った教義を教えている教会に違いありません。「売春」という言葉は、結婚生活における裏切りや不貞行為そのものを表しています。スピリチュアルの分野でも同じ意味です。それは教会が偽りの教義を定式化する行為を表しています。バビロニア教会によって作成され、キリスト教に導入された教義がいくつかあります。それらはすべて神の観点から見ると売春行為です。休日としての日曜日と魂の不滅性は、この良い例です。

黙示録は、すべての国が売春のワインを飲む時を示しています。これは、世界がバビロンによってもたらされただけでなく、バビロンによって策定された偽の教義を受け入れることを意味します。彼は売春という行為を犯した人物であり、その後、世界がそれを受け入れるために彼が発明した男性の教義である彼の売春のワインを提示しました。

1) 売春教会はどのような非難を受けるのでしょうか？

A.: 「第7の天使は杯を空中に注ぎました。そして大きな声が聖所から、玉座から出てこう言った、「終わった…そして神は大いなるバビロンを思い出し、彼に彼の怒りの激しさを表すワインの杯を与えた…そして大雹」天から人々の上に、ほとんど一タラントほどの重さの石が落ちた。そして人々は雹の災いのために神を冒瀆した。彼の疫病は非常にひどかったからである」（黙示録 16:17,19,21）。

旧約聖書で売春の罪に対する刑罰は石打ちと定められていました。黙示録は、バビロンを非難する際に、人々は1タラントの重さの石で石打ちにされることを示しています。1タラントは約34kgに相当します。神は誰も滅びることを望んでおらず、むしろすべての人が救われることを望んでいます。したがって、バビロンに従って、彼の売春のワインを飲むという間違いを誰も犯さないように、今日第二の天使のメッセージを送ってください。私たちがその誤った教義を受け入れたり、それに従って真の安息日である安息日を守る者たちを迫害したり殺害したりすることがなくなりますように。彼のアドバイスに従えばよいのではないのでしょうか！

水曜日

「すべての国々にその淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたバビロン。」
黙示録 14:8。

宗教界の統一

この預言は、世界的な背教が起こる時期を示しています。今日、私たちは地球の住民や支配者の大部分が宗教問題に関心がないと思われる現実に住んでいます。したがって、上記の言葉が成就することは、非常に遠い話のように聞こえるかもしれませんが、しかし、それは真実ではありません。近年、異教の国でも宗教への関心が驚くほど高まっています。私たちは、エキュメニズムと呼ばれる、さまざまな宗派や宗教間の統一運動を見てきました。そして、私たちの最も注目を集めるのは、まさにこの運動の最前線にいるのは、黙示録のバビロンとして非難されている人物であり、すべての国々に彼の売春の怒りのワインを飲ませようとする人物であるということです。宗教界は、教皇という一人の羊飼いの群れとなるために、一つの頭の下に集まりつつあります。これは、第二の天使の言葉の正確な成就を示す出来事の展開です - バビロンはすべての国々に彼のワインを飲ませます - 彼の教義。

教皇は、他のすべての教会の会員を別々の兄弟とみなし、彼らは自分たちの教会、つまりカトリックに団結し、一つの体、世界教会となると考えています。

「お互いに完璧な交わりを持っていない兄弟たちが集まって祈るとき、彼らのこの祈りは、第二バチカン公会議によってエキュメニカル運動全体の魂であると定義されています。この共通の祈りは、『「団結」、「カトリック教徒が別れた兄弟たちと今でも団結している絆の真の現れ」。43 たとえ正式にキリスト教徒の団結を祈っていないときでも、例えば平和などの他の理由で、祈りはそれ自体が一致の表現であり、確認であるならば...クリスチャンと一緒に祈るとき、一致の目標はより近づきます。』回勅 UT UNUM SINT
- ページ 28

ちなみに「カトリック」とは「普遍的な」という意味です。したがって、エキュメニカル運動は、すべての教会が一つのカトリック教会に統合されることを示唆しています。今日、エキュメニカル運動は世界教会協議会によって推進されており、インターネット上で情報や最新情報を提供しています。あなたの目標が達成されると、地球上には2つの階級の人々だけが存在することになります。一つはその土地の公式宗教と共存することになる。もう一つは天から来た天使によって指摘されています。

「ここに聖徒たちの忍耐があり、ここに神の戒めとイエスの信仰を守る者たちがいる」（黙示録14:12）。

あなたはどちらに入りますか？

木曜日

「すべての国々にその淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたバビロン。」
黙示録 14:8。

民間政府の連合

そしてこの預言は、「すべての国民」がそのワインを飲むと述べているように、宗教界だけでなく民間政府も団結することを裏付けています。黙示録 17 章でも、この真実が明確に示されています。

「あなたが見た十本の角は十人の王であり、まだ王国を受けていないが、彼らは獣とともに一時間だけ王としての権威を受けましょう。これらは一つの意図を持っており、自分たちの力と権威を獣に引き渡すのです」（黙示録 17:12,13）。

イエスはたとえ話で、キリスト教会全体を10人の処に相当するものとして表現しました。その番号は偶然与えられたものではありません。したがって、「10」は次のものを指すことがわかります。

人間の全体、全体。十人の処 = 教会全体。学校で得られる最高成績は10です。10は人類全体を表します。黙示録が十人の王が自分たちの権力を獣に引き渡すと非難しているという事実は、人類と地球のすべての王が自分たちの権力を、聖人たちを迫害し殺す力である獣に引き渡すことを意味する。。

多くの国では、政府は宗教的信念を支持する公式の立場をとっておらず、それらは世俗国家とみなされています。しかし、この現実急速に変わりつつあります。すでに100カ国以上がバチカンとの協力協定を締結しており、まもなく全世界がバチカンの権威に服従することになる。世界政治の動きは預言の成就に向けて進んでいます。今日、バビロンはまだすべての国々に水を与えていません。すべての人がカトリック教会の影響を受けるわけではありません。しかし、この現実はすぐ変わります。それはすぐに分かります。生きている人は見るでしょう。そして、この世の道具たちが、キリストとその真理に対する最後の戦いのために、私たちの魂の敵の旗の下に団結している間、私たちは何をすべきでしょうか？私たちは神に自分を奉献し、イエスのために働くために起きているのでしょうか、それとも十人の処のように眠っているのでしょうか？

金曜日

「すべての国々にその淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたバビロン。」

黙示録 14:8。

すべての国々はバビロンのワインを飲むでしょう。これは、聖徒たちが地球上のどこにいても迫害から逃れられないことを意味します。地球上に他に存在しないかのように、それぞれがテストされます。今このことを知ることは、私たちが神の御言葉をよく学び、神がこの恐ろしい時に私たちを備えられるように、熱心で絶え間ない祈りに専念する動機となるはずで、ペテロは、自分の信仰のために法廷に出廷する可能性に初めて直面したとき、キリストを否定しました。私にはそのような状況に直面する準備ができていませんでした。キリストとともに3年半を過ごしたにもかかわらず、彼の信仰は育まれなかった。ペテロの経験は、単にキリスト教を信仰しているだけでは、試練の時に勝利する保証はないことを示しています。聖なる奉献の生活とキリストとともに努力することを通して、私たちは神の前で恐れおののきながら信仰を培わなければなりません。そうすれば、私たちは最高の試練の時に欠乏していることが判明することはありません。緊急事態に対処する神の力に対する信頼は、一夜にして培われるものではありません。それは何年にもわたって救い主とともに歩んだ結果です。

1) 信仰のために死の危険に直面する人々にイエスはどのようなアドバイスと約束を残されましたか。

A: 「見よ、悪魔はあなた方の何人かを刑務所に投げ込んで、あなた方を試みようとしている。そして、あなたは患難に見舞われるでしょう…死ぬまで忠実でありなさい、そうすれば私はあなたに命の冠を与えます…勝利する者は決して第二の死の害を受けることはありません」 (黙示録 2:10,11)。

「肉体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい」（マタイ10:28）。

アーメン！

土曜日

キリストを指す天使

今日、地球上で最も裕福で最も影響力のある人々が世界権力を支配し、貧困層に対してあらゆる種類の悪を実行する計画を暴露するビデオや記事が人気です。クリスチャンの間でさえ、多くの人がこの情報を餌にし、これらのメッセージによって自分たちが目覚めていると信じています。確かに、そのような情報により、敵が何をしているのかが見えてきます。しかし、それらは私たちにこれから起こることへの備えを与えてくれません。もし黙示録の第二天使がサタンの働きを示すだけだったとしたら、彼は私たちにほとんど励ましを与えなかっただろう。しかし、聖書から、第二の天使はそれ以上のことをすることがわかります。しかし、この箇所を指摘する前に、聖書は表面的に見出される真理に加えて、より深い宝をもたらしていることを明確にしておきます。最初に読んだだけで夢中になれるメッセージをもたらしてくれますが、理解するにはさらなる調査が必要なメッセージも提示されています。これは創世記の場合です。「アブラハムが目を上げて見ると、見よ、三人の人が彼の前に立っているのが見えた」（創世記18:2）。物語によると、そのうちの2人は天使で、3人目はエホバの天使としても知られるキリストでした。三人の使者はアブラハムに息子の誕生とソドムの破壊を告げる。黙示録では、歴史は繰り返されます。三人の天使が約束の御子イエスの再臨とバビロンの滅びを告げます。創世記の3つは黙示録の3つを指します。3人目は誰でしたか？キリスト。二人の天使はキリストとともにアブラハムのところにやってきましたが、最終的にはキリストを一人残してしまいました。しかしアブラハムは依然として主の前に立った」（創世記18:22）。このように、二人の天使はアブラハムをキリストに導く道具でした。そして、黙示録でも同じことが起こっていることが理解できます。第二の天使は、バビロンの崩壊を告げることに加えて、アブラハムがインタビューで述べたように、神の僕たちをキリストに導き、神との個人的で親密な経験をするように導くという使命もあります。

イエスの復活を弟子たちに告げた天使たちの場合も同様です。二人の天使が僕達を救い主に直接会うように導きます。「週の最初の日に…彼らは墓に行きました…そして石が墓から転がり落ちているのを見つけました。しかし、彼らが中に入ると、主イエスの遺体は見つかりませんでした。そして、彼らがこれについて当惑していると、見よ、光り輝く衣服を着た二人の男が彼らに現れました…そして彼らは言いました：なぜ死者の中に生きている人を捜すのですか？彼はここにはいませんが、復活しました」（ルカ24 :1-6）。そして天使の一人は、イエスがどこで見つかるかを彼らにはっきりと告げました。あなたが十字架につけられたイエスを求めていることを私は知っているからです。彼が言ったように、それは再び上昇したので、それはここにはありません。さあ、彼が横たわっている場所を見に来てください。そして急いで行って、人に伝えてください。

死からよみがえった彼の弟子たち。そして見よ、彼はあなたより先にガリラヤへ行く。そこにあなたは彼を見るでしょう。見よ、わたしはあなたに言いました」（マタイ 28:5-7）。そして今日、黙示録の第二天使も、私たちが今どこでイエスに出会うのかを示しています。彼はバビロンの崩壊を指摘し、エキュメニカル運動に関連する正式に設立された教会には主が現れることはないだろう、と示しています。なぜなら、これらの教会はみな売春をし、主イエスを裏切ったからです。私たちはそれらすべての外で彼に会うでしょう。私たちが心から神に仕えるだけでなく、神の言葉に書かれている真理に従順に従うことを望む場合にのみ、神を見ることができます。そこにあなたは彼を見るでしょう。したがって、第二の天使の言葉はイエスの預言を反映しています。

「主よ、あなたが預言者であることが分かりました。私たちの先祖たちはこの山で礼拝を行っていましたが（伝統の教会）、あなたはエルサレムが礼拝すべき場所であると言いました（正式に設立された安息日を守る教会、アドベンチスト）。イエスは彼に言われた。「性よ、私を信じてください。あなたがこの山でもエルサレムでも父を礼拝しない時が来ています。しかし、その時は来ています、そして今がその時です。真の崇拝者たちが霊において父を礼拝する時です」そして実のところ、父はご自分を礼拝する者を求めておられるからです」（ヨハネ4:19-23）。

神のお恵みがありますように。

レッスン 8 – 第三の天使のメッセージ

黄金の詩: 「そして、第三の天使が彼らを追って、大声で言いました。「もし誰かがその獣とその像を崇拜し、額や手にその刻印を受けるなら、その人は神の怒りのワインも飲むでしょう。」混合物なしで、神の怒りの杯の中で準備されます。そして彼は聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で苦しめられるだろう。あなたの苦しみは永遠に立ち上ります。そして、獣とその像を崇拜する者には昼も夜も休むことがなく、またその名のしるしを受け取る者も同様である。ここに聖徒たちの忍耐、神の戒めとイエスの信仰を守る者の忍耐がある」黙示録 14:9-12。

日曜日

「そして、第三の天使が彼らを追ってこう言いました…」黙示録14:9

「彼らに続いた」という用語によって、第3の天使のメッセージが最初の2つの天使のメッセージに続いていることがわかり、したがって、それがそれらを補完するものであることがわかります。

第一、第二、第三の天使のメッセージが全体を形成します。最初の天使について言及し、ヨハネはこう言います。「私は別の天使を見た…そして彼は永遠に告げ知らせる福音を持っていた」(黙示録14:6)。第三の天使のメッセージは第一の天使のメッセージを補完するものであるため、それは永遠の福音の一部でもあります。三人の天使のメッセージは世界に送られる福音です。したがって、天からの福音を受け入れることは、三人の天使のメッセージを受け入れることを意味します。一方を受け入れて他方を拒否する方法はありません。

2人目の天使が1人目の天使に続き、3人目の天使が2人目の天使に続くのを見ると、メッセージが受け入れた人々を進歩的な経験に導くものであることがわかります。「神の裁きの時が来た」という最初のメッセージを受け入れる人は誰でも、神を恐れること、つまり神の戒めを守ることを求めます(伝道12:13)。そうするうちに、彼は墮落した宗教法人が間違いを教えており、自分が受け取った福音に従うためには、彼らとのつながりを断ち切る必要があることに気づきました。彼は必然的に、「バビロンは倒れた、倒れた！」という第二の天使のメッセージを理解しています。「私の教会は崩壊しました」と彼は言います。この小さな例から、2番目の天使のメッセージが、最初の天使のメッセージに耳を傾けることによって始まる霊的経験の進歩につながるということがわかります。最初の天使のメッセージを信じない人は神を畏れようとせず、その結果、間違いを教える宗教法人が墮落したことに気づかないでしょう。したがって、彼らは、教会の霊的墮落を示す第二の天使のメッセージに光を見出すことはないでしょう。

3人の天使のメッセージは、3段のはしごに適切に喩えられます。一つずつ登っていく必要があります。

1) 預言によって与えられた三人の天使のメッセージはどのようなものですか？

黙示録？

A.: 「そして、私たちには、夜が明けて明けの明星があなたの心の中に現れるまで、暗い場所で輝くランプのように、あなたが注意を払うのが良い預言の言葉があります。」（IIペトロ）.1:19）。

私たちはメッセージに耳を傾けますか？私たちは彼の進歩的な光の中を歩むのでしょうか？天は私たちの返答を心待ちにしています。

月曜日

「第三の天使が彼らを追ってこう言いました…」アポック。 14:9

良いニュースですか？

私たちは昨日、第三の天使のメッセージが世界に送られた福音の最後の部分であることを見ました。ゴスペルという言葉は良い知らせを意味します。3人目は、天から世界に送られる良い知らせの最後の部分を伝える役割を担っています。この本の最終章のようなものです。すべての結末とドラマの解決策を提示します。

それは福音の良いたよりを拒否した人々にどのような結末が訪れるかを告げており、福音を受け入れる人々が終わりの時に持つ特徴を示しています。「ここに神の戒めとイエスの信仰を守る人々がいます」（黙示録 14:12）（改訂修正版）と彼は言います。

多くの人は疑問に思うかもしれませんが、神の怒りのほとぼり、火の湖、そして邪悪な者の滅びを告げるメッセージがどうして良い知らせとなり得るのでしょうか。答えは簡単です。視点によります。世界の目から見れば、それは処罰の脅威です。しかし、神の観点からすれば、それは適材適所のサインです。送電網の変圧器を保護するフェンスに「進入禁止、死の危険」と書かれた標識が貼られているのによく見かけます。そのような標識を見ると、私たちはそれを設置した技術者を呪うでしょうか？いいえ！私たちが彼に会えて感謝しないまでも、喜ぶ前に、あなたのメッセージが私たちの命を救います！それは私たちが手を触れたり、高電圧による感電死を防ぐことができます。従わない者には死を告げるものの、そのメッセージに耳を傾ける者にとっては、このしるしは命を救います。したがって、良いニュースが、適切なタイミングで適切なメッセージとして届けられます。

さて、第三の天使のメッセージは、獣の崇拝者たちに、もし彼らが「電気の柵に触れた」場合、彼らは命を失うだろうと告げています。

「もしだれかが獣とその像を崇拝し、額や手にその刻印を受けるなら、その人はまた、神の怒りの杯で混合物なしで準備された神の怒りのワインを飲むことになるでしょう。そして彼は聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で苦しめられるだろう。あなたの苦しみの煙は永遠に立ち上ります。そして獣とその像を崇拝する者たちには昼も夜も休むことがなく、またその名のしるしを受ける者たちにも休息はない。」黙示録 14:9-11。

1) このメッセージをどのように考えますか?これは私たちに間に合うようにしてくれる良い知らせでしょうか?それともそうではありませんか?

獣とその像を崇拝することは、永遠の死に至る道を進むことを意味します。このメッセージはすべての人の目をこのことに開かせます。しかし、私たちがこの道から外れていることを確信するには、自分がその道を進んでいるかどうかを知るために目を開いておく必要があります。私たちが獣とその像を崇拝し、その印を受けるなら、私たちはその中にいます。私たちがその獣を崇拝する道を進んでいるかどうかをどうやって知ることができるのでしょうか?私たちはこれを明日のレッスンで勉強します。

火曜日

「もしだれかが獣を崇拝するなら」黙示録 14:9。

黙示録に出てくる獣は誰ですか?「獣」という用語は、7つの頭と10本の角を持つ神秘的な動物を指します。

「そのとき、わたしは海から上がってくる獣を見た。その獣は十本の角と七つの頭を持ち、その角には十個の冠があり、頭には冒流の名があった」(黙示録13:1)。

国立公園や動物園でそのような生き物に会えるとは誰も期待していません。このような動物はかつて存在しませんでした。用語は記号です。「獣」は誰かを表します。しかし、この章の後半で、神は、それが誰なのかを識別できるように、その獣に特有のいくつかの特徴を与えています。「そして彼らはその獣を崇拝した」(黙示録13:3)。彼が崇拝されている場合、それは宗教的な力です。「彼は聖徒たちと戦い、彼らに勝つことを許された」(黙示録13:5)。したがって、それが神の聖徒たちを迫害する力であることがわかります。「そして、あらゆる部族、民族、言語、国家を支配する権威が彼に与えられた」(黙示録13:7)。

彼は王に対して権威を持っていました。たった1つの力だけがすべての特性を満たします。中世の教皇制。それは聖人たちを「異端者」として迫害し殺害し、王に対する権威を持った宗教権力であった。教皇のティアラには、「VICARIVS FILII DEI」という碑文が刻まれており、これは「代理人」、「神の子の代理」を意味します。彼は、地上における神の代理人であり、キリストご自身の代理であると主張しています。しかし、彼は自分の教義を受け入れない者を殺害するよう命じた。キリストはそうしませんでした。それどころか、イエスを拒絶した者たちのために死んでくださいました。

第三の天使のメッセージは、その獣を崇拝したり、獣と交わったりする人々は神の怒りを受けて火の湖で滅ぼされることを示しています。額や手の上で、彼は神の怒りの杯の中で混合物なしで準備された神の怒りのワインを飲むことになるでしょう。そして彼は聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で苦しめられるであろう。」(黙示録 14:9-11)。「獣は……滅びる」(黙示録17:8)。第三の天使のメッセージは、すべての誠実な人々に、それに従わないように、そしてその運命を共有しないように警告しています。時間通りに届いてくれて神に感謝します

コースを変更しましょう！そうすれば、私たちは彼とのあらゆるつながりを断ち切り、私たちの魂を救うことができます。

1) この野獣とは何者なのか、彼に従う者たちをどこへ導くのかを考えたとき、私たちは彼に対して同情できるでしょうか？彼に加わってもいいですか？

水曜日

「もしだれかが獣とその像を崇拝するなら」黙示録 14:9。

私たちが鏡の前に立つと、鏡には私たちの姿が映し出されます。画像は人物ではなく、その人物を忠実にコピーしたものです。霊的な意味では、神は獣には像があると言われます。「獣」と呼ばれる力を忠実にコピーした力だが、それは獣そのものではない。私たちは昨日の聖書の学習で、獣が教皇であることを確認しました。また、このシンボル（獣）が宗教権力と政府権力の結合を表していることもわかりました。この結合の結果、国家権力が聖徒たちを殺害するために利用された。インターネットから取得したメモには、これが正確に描写されています。

IX は1233年4月20日に、異端審問の再開を示す2つの雄牛を発行しました。その後何世紀にもわたって、彼は異端を広めた数人の敵を裁判にかけ、無罪または有罪となり、国家（当時は一般的であった「死刑」が適用された）に引き渡された。」出典: <http://>

pt.wikipedia.org/wiki/Inquisi%C3%A7%C3%A3o - 2007年9月27日にアクセス（強調）。

したがって、獣は「宗教」権力と「民間」権力の結合の結果であることがわかります。獣の像はそれ自体ではなく、そのコピーです。したがって、聖人を迫害し殺害するという行為は、宗教権力と市民権力との結合を表わさなければなりません。獣の像が誰を表しているのかを知るのには難しくありません。利益を得るために各国政府と提携協定を結んだバビロニア教会の尻馬に乗って、プロテスタント教会や福音主義教会がやって来ます。バビロニアの教会は、市民権力や政治との団結を目指しています。プロテスタントも同じ道をたどっています。エキュメニカル運動を通じて、カトリックとプロテスタントは一つの体に団結し、同じ目標を達成しようとしています。

たとえば、米国のプロテスタント教会の会員の組合であるキリスト教連合は、自分たちの教会に有利な法律を可決するために資金を提供するというロビー活動の慣行をすでに採用している。獣の像は過去の教皇制を特徴づけた教会と国家の結合のコピーであるため、現在では国家のプロテスタント教会の結合となっている。

獣 = 教皇教会と地球の政府との結合

獣のイメージ = プロテスタント教会と地球の政府の結合。

1) 獣の像を崇拜する人たちはどうなりますか？

「もし獣とその像を崇拜し、その額や手にその刻印を受ける者がいるなら、その人もまた神の怒りのぶどう酒を飲み、聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で責め苦を受けることになる。黙示録 14:9,10。

神は今日私たちに、腐敗した堕落した教会の道をたどらないよう警告しています。メッセージには、獣とその像を「崇拜」しないようにと書かれています。そして、私たちがそれをしていないとどうやって確信できるのでしょうか？明日のレッスンで見ましょう。

木曜日

「もしだれかが獣とその像を崇拜するなら」黙示録 14:9。

「崇拜」という言葉は、聖書では「カルト」と関連付けられています。出エジプト記 32 章で、主は民が偶像を崇拜し、その偶像に犠牲を捧げていることをモーセに警告されました。彼らは自分たちを溶けた子牛にして崇拜し、それに犠牲をささげて言いました。これだよ、ああ

イスラエルよ、あなたをエジプトから導き出したあなたの神よ」（出エジプト記32:8）。パウロは、古代のいけにえに相当するのは「礼拝」だと言います。「自分の体を、神に喜ばれる、聖なる生きたいけにえとしてささげなさい。それが、あなたがたの理にかなった礼拝です」（ローマ12:1）。したがって、礼拝は礼拝に関連しています。獣とその像を崇拜することは、彼らが推進するカルトを受け入れることに関連しています。イエスは土曜日に神の礼拝の家に出席しました。彼は習慣に従って安息日に会堂に入り、立ち上がって本を読みました」（ルカ4:16）。それどころか、教皇庁は日曜日の礼拝を奨励しています。今日のプロテスタント教会も同様です。したがって、獣とその像を崇拜することは日曜日の崇拜に関連しています。

私たちはすでに、獣のシンボルが聖人を迫害し殺害する教会と政府の結合を意味していることを学びました。教皇庁は過去にこれを行ったことがあります。それは「バカ」だった。しかし、現在ではそれを公然と行うことはなくなりました。彼は愚かでしたが、今日はそうではありません。黙示録 17 章には次のように書かれています。しかし、それは上昇しようとしています。」この預言は、聖人たちが迫害し殺害する教皇の権力が復活することを予言しています。これは、教会が再び各国政府に影響を与え、神の民を迫害し殺害する法律を制定させることができるようになったときに起こるでしょう。そのような法律が制定されると、私たちは「獣が復活した」、あるいは再び復活したことが分かります。現時点では、彼が推進する崇拜の形式を採用する人々は獣を崇拜することになります。すでに今日、獣とその像、教皇庁とプロテスタントの教会は日曜日の礼拝を推進しています。

したがって、日曜日に神を礼拝することを受け入れる人は誰でも、同時に獣とその像を礼拝することになります。

1) 神の言葉によれば、礼拝を行う日は何ですか？

A.: 「ある安息日から次の安息日まで、すべての肉なる者はわたしの前に礼拝に来る、と主は言われる。」
(イザヤ 66:23)。

金曜日

「誰かがその獣とその像を崇拝し、その額や手にその刻印を受けた場合。」
黙示録 14:9。

獣の刻印

私たちはすでに、その野獣、つまり教皇庁が誰であるかを学びました。あなたの權威のしるし、またはしるしは何ですか？

「日曜日は私たちの權威の証です。教会は聖書よりも上位にあり、安息日遵守の移管はその証拠である」 出典：
The Catholic Record、オンタリオ州ロンドン、1923年9月1日（強調と強調を追加）。

「しかし、プロテスタントは、日曜日を守ることによって、教会の代弁者である教皇の權威を受け入れていることに気づいていないようです。」

出典: Our Sunday Visitor, Catholic Weekly, 1950年2月5日号(強調追加)。

第三の天使のメッセージは、獣の刻印を受けなかった者はすべて、人類に対してこれまで脅かされた最悪の裁きを受けるとい罰を受けることになることと明確に警告しています。

日曜日が休みの日であることが特徴です。これは手または額に受け取ることができます。ここで使用されている言語は象徴的です。ユダヤ人は旧約聖書からそれをすでに知っていました。従順を示すために使用されました。神の法令の言葉に従う必要性について、聖書は次のように指摘しています。「あなたはまた、それをしるしとして手に結び、目の間に前飾りのようにしなければなりません。」（申命記 6:8）。「律法を「しるしとして手と額と目の間に」置いた人は、それに従ったのです。額は心、意識を示します。手は仕事を示します。したがって、手にそのマークがあるということは、教会の戒めに従って日曜日に仕事をやめることを意味します。それを額に付けるということは、今日が第四戒の七日目の安息日ではなく、主の日であると心から信じることを意味します。

今日では、安息日を支持するこれほど明確な聖書の証拠を前にして、人々がどのようにして日曜日を主の日として実際に信じるようになるのかを想像するのは難しいように思えるかもしれませんが。しかし、聖書は、間違いの働き、つまり私たちの魂の敵による大きな力の現れを伴う巨大な欺瞞の体系が間もなく現れるだろうと明確に警告しています。「この邪悪な者の到来は、サタンの働きによるものであり、あらゆる力としるしと偽りの不思議を用いて、そしてあらゆる不正の欺瞞をもって滅びる者たちに与えられます。なぜなら、彼らは救われるための真理の愛を受けられなかったからです。」（IIテサロニケ2:9、10）。

1) 誰が間違いの操作に導かれ、嘘を信じるでしょうか？

A.: 「だから、神は彼らに誤謬の作戦を送り、彼らが嘘を信じるようにするのです。それは、真理を信じず、不義を楽しんでいたすべての人が裁かれるためである」 (IIテサロニケ2:11,12)。

2) 神は私たちが嘘と真実を信じるように選びましたか？

A.: 「しかし、兄弟たち、主に愛されているあなたたちのために、私たちは常に神に感謝しなければなりません。なぜなら、神は最初から霊の聖化と真理への信仰のためにあなたたちを選び、そのために私たちの福音を通してあなたたちを召されたからです。」 (IIテサロニケ2:13,14)。

私たちに對する神の選択を受け入れましょう。御言葉の真実を信じ、不正を捨てましょう。アーメン！

土曜日

神の印章または獣の印を受ける準備をする。

獣の刻印を受ける人々とは対照的に、生ける神の印章を受ける人々です。「そして私は、別の天使が生ける神の印章を持って、日の出の側から昇っていくのを見た。そして彼は、大地と海に害を与えるために与えられた四人の天使たちに大声で叫び、こう言った、「私たちが神の僕たちに印を付けるまでは、地も海も木も傷つけないください。顔。」 (黙示録 7:2,3) 神の封印は安息日です。「そして、わたしの安息日を神聖なものとしてください。そうすれば、それはわたしとあなたとの間のしるしとなり、わたしがあなたの神、主であることをあなたが知ることができるでしょう。」 (エゼキエル 20:20)。したがって、最終的に生ける神の印章を受け取った人は、安息日を聖く守ることになります。したがって、彼らは第三の天使のメッセージに従い、獣の刻印である日曜日を拒否しました。ここから、第三の天使には、そのメッセージを通じて、人々が生ける神の印章を受けられるように備えるという目的があることがわかります。神の印章を受け取る特権者になりたい人は皆、天使の言葉を信じ、それを自分の生活に実践しなければなりません。

時は迫っています。間もなく、私たちは、神の民と獣とその像との間の争いの最後の場面を経験することになるでしょう。彼は聖徒たちに対して迫害を加えます。サタンは偽りの奇跡を働きます。私たちはこの時代に信仰を持って立つ用意ができていますでしょうか？十人の処のたとえ話の中で、イエスは教会が最後の試練の直前に眠っていることを表現しました。彼らは皆眠っていた。しかし、ある人たちは、熱心な祈りと神の言葉の勤勉な研究への答えとして受けた油、つまり聖霊を蓄えていました。今日の生活はどうか？石油を備蓄していませんか？それとも準備を怠っていませんか？あなたも、試練の時に「見よ、花婿！」というメッセージを聞く愚かなおとめたちの一人になるだろうか。

彼に会いに出かけましょう！」 (マタ 25:6)十分な量の油を蓄えていなかったことに気づいていますか。

今日の私たちの選択によって、私たちがどのグループに属するかが決まります。祈りと御言葉の研究を、私たちの人生における真の特権であり優先事項と考えましょう。

この世の事柄が私たちにとって完全に興味を失い、私たちの唯一の関心は、イエスの御霊が私たちの中に宿ることによって地上にイエスのご性質を反映し、福音を全世界に伝えることだけのように。忠実で従順な民を捜しに天の雲に乗って来られる私たちの愛する救い主を受け入れる準備ができた、目覚めた生き生きとした活動的な教会になろうではありませんか！そして、第三の天使のメッセージを単なる理論ではなく、最後の紛争において私たちがキリストの側にしっかりと立つことができるように、私たちの心の中で認識され、大切にされ、生きた警告となるようにしましょう。アーメン！

レッスン 9 – 第三の天使のメッセージ – 続き

黄金聖句：「彼はまた、神の怒りの杯で混合物なしで準備された神の怒りのワインを飲むでしょう。そして彼は聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で苦しめられるだろう。彼の苦しみの煙は永遠に立ち上る」アポック。 14:10,11

日曜日

怒りの完成

神の怒り。「私は天にまた一つ、偉大で素晴らしいしるしを見た。それは、最後の七つの災いを持った七人の天使だった。彼らの中で神の怒りが成し遂げられるからである。」アポック。 15:1。

この証言は、第三の天使によって脅かされた神の怒りが最後の七つの災いであることの十分な証拠です。もちろん、これらの疫病はエジプトの疫病に代表されますが、それらと同じくらい現実的で文字通りのものです。エクソダスと比較してください。

第7章から第12章と Rev. 16.

エジプトの疫病はイスラエル解放の直前に発生しました。最後の七つの災いは、聖徒たちが最終的に解放される直前に発生します。サタンの欺瞞的な力は、エジプトの疫病の直前、そしてそれに関連してモーセに抵抗した魔術師によって明らかにされました。そして、最後の疫病の直前に、そしてそれに関連して、獣とその像の崇拜者は、二角の獣が行う「驚異」と「奇跡」に騙されることになります。

最後の7つの災いにおける神の怒りは、ミカエルが立ち上がるとすぐに「かつてないほどの困難の時」を構成するでしょう。ダニエル 12:1。天の聖所におけるイエスの仲介は、罪ある世界に神の怒りが降りかかるのを防ぎます。四人の天使 {Apoc. 7:1-3} 神の僕たちが最後の警告メッセージによって封印されるまで、4つの風を維持します。この働きが完了すると、キリストは祭司の衣を脱ぎ捨て、ご自分に「復讐の衣」を着ます [イザ 2:13]。59:17]そして「白い雲」の上に彼の位置を取るでしょう [黙示録 59:17]。14:14]、「地の収穫を刈り取るための鋭い鎌」を持っていた。そうすれば、4人の天使は4つの風を抑えることをやめるでしょう。

[アポック。 7:1-3]そして神の怒りは最後の七つの災いとして注がれるでしょう。

神の怒りの小瓶が注ぎ出された時期は、明らかに証明されています。9:18]は第7の天使の音の下にあります。

出典: (James White、黙示録 XIV の天使の簡単な説明)。

月曜日

慈悲の混合はありません

「私は、地上で仕事をしなければならない4人の天使が、その仕事をするために歩いているのを見ました。イエスは祭司服を着ていました。彼は残された人々を同情の目で見つめ、手を上げて深い同情の声で叫びました。「私の血、父よ、私の血、私の血、私の血！」そのとき私は、大きく白い玉座に座っておられる神から、非常に明るい光が出てきて、その光をイエスの周りに当てているのが見えました。そのとき私は、イエスから、地上で達成すべきある仕事を持っている四人の天使のところへ急いで行くように命じられた天使が、手に持っていたものを上から下に振りながら、大声で叫んだのを見ました。 !持続する !持続する !

持続する !神の僕たちが額に封印されるまでは。」

「保護観察期間が終了する前に男性に下されたすべての判決は慈悲によって軽減されました。キリストの贖いの血は、罪人が罪の完全な罰を受けるのを防ぎました。しかし、最後の審判では、神の怒りは慈悲を加えることなく注がれるでしょう。」

「天の聖所におけるキリストのとりなしが終わったときに地上に住む者は、仲介者なしで聖なる神の御前に立たなければなりません。あなたの服装は汚れがなくなければなりません。彼らの性格は、振りかけられた血によってすべての罪から清められました。彼らの勤勉な努力が実を結んだ神の恵みによって、彼らは悪との戦いに勝利するはずですが。天では捜査の判決が続いており、悔い改めた信者の罪が聖所から取り除かれている間、地上の神の民の間で特別な清めの働き、罪からの解放が行われなければなりません。この作品は、黙示録 14 章のメッセージの中でより明確に表現されています。」

「イエスが至聖所を去られたとき、私はイエスの衣についた鐘の音が聞こえました。イエスが去られると、暗い雲がその地の住民を包み込みました。もはや、罪を犯した人間と憤慨した神との間に仲介者は存在しませんでした。イエスが神と罪人の間に立っていた間、人々にはブレーキがかかっていた。しかし、人間と父との間に介入するのをやめたとき、その抑制は消え、最終的に悔い改めなくなった人々に対してサタンは完全な支配権を行使した。イエスが聖所で奉仕をしている間、疫病が降り注ぐことは不可能でした。しかし、神がそこで働きを終え、とりなしが止むと、神の怒りはとどまることはありませんでした。神の怒りは、救いを無視し、戒めを憎む無力な罪を犯した罪人の頭に猛烈に降りかかりました。その恐ろしい瞬間、イエスのとりなしが終わった後、聖徒たちは聖なる神の御前でとりなしなしで生きなければなりませんでした。それぞれのケースはすでに決定されており、各宝石には番号が付けられています。イエスは天の聖所の外でしばらく立っておられ、最も聖なる場所で告白された罪は、罪の根源であるサタンの上に置かれ、サタンはその罰を受けなければなりません。」 「キリストの死は、慈悲を拒む者たちに、慈悲の混じりのない神の裁きの怒りをもたらします。それは

それは小羊の怒りです。しかし、キリストを受け入れ、信じる者すべてにとって、キリストの死は希望であり、永遠の命です。」

1) 父が罪に対して怒りを注ぐことを妨げるものは何ですか?神の怒りが溢れ出ようとしていたのはいつでしょうか?

2) キリストがとりなしの働きを終えると何が起こるのでしょうか?今この瞬間を生きている私たちはどうなるのでしょうか?小羊の怒りとは何ですか?なぜ人々はそれを受けるのでしょうか?

出典: PE 38; CS687; CS114; H.R. 423; TM 136 (スペイン語書籍のページネーション)

火曜日

怒りの杯

もう少し進んで、彼は顔にひれ伏して祈ってこう言いました。「父よ、できることなら、この杯を私から去らせてください。」ただし、私が望むようにではなく、あなたとして

あなたが欲しいのです。

「それは彼らから少し離れたところにありましたが、彼らがイエスを見たり聞いたりできないほどの距離ではありませんでした。そして彼は地面にひれ伏しました。彼は、罪が自分を父から引き離していると感じ、深淵はあまりにも広く、黒く、深かったので、彼の霊はその前で震えました。この苦しみから逃れるために神聖な力を行使してはなりません。人間として、人間の罪の結果を苦しまなければなりません。人間として、違反に対して神の怒りを負わなければなりません。キリストは今や、これまでとは異なる態度をとられました。彼の苦しみは次の預言者の言葉に最もよく表れています。「剣よ、立ち上がれ。羊飼いと男の上にわたしの同伴者の上に、と万軍のエホバは言われた」。罪深い人間の身代わりであり保証人であるキリストは、神の正義の下で苦しみを受けられました。正義の意味が分かりました。それまで彼は他人の仲介者として活動していました。今、彼は自分自身のために仲介者がいることを切望していました。」

「神の子は再び超人的な苦しみの餌食となり、よろめきながら疲れ果てて最初の戦いの場所に戻った。彼の苦しみは以前よりもさらに大きかった。彼の魂の苦しみが主を捉えたとき、それは「地面に落ちた大粒の血のしずくのように酸っぱかった」。糸杉とヤシの木は主の苦悩の静かな証人でした。その葉からは重い露が彼のひれ伏した体に落ち、あたかも自然が闇の力と孤独に戦った作者を悼んで泣いているかのようだった。」

キリストの犠牲を受け入れない人は、この負債を返済してもらえず、自分でそれを飲み干さなければなりません。「キリストは、罪人たちが神の怒りの小瓶を注がれたときに感じることの多くを経験されました。黒い絶望が彼らの罪深い魂を覆いのように包み込み、彼らは罪の罪深さをそのすべての意味で理解するでしょう。彼らにとって救いは神の御子の苦しみと死によって獲得されました。あなたがそれを喜んで喜んで受け入れれば、それはあなたのものになるかもしれません。」

しかし誰も神の律法に従う義務はありません。もし彼らが天の恩恵を否定し、罪の快樂と欺瞞を好むなら、彼らは自らの選択を完遂することになるが、最終的には神の怒りと永遠の死という給料を受け取ることになる。彼らはイエスの犠牲を軽蔑し、イエスの御前から永遠に引き離されることになる。彼らは幸福な人生を失い、罪の一時的な快樂のために永遠の命を犠牲にすることになるでしょう。」

- 1) 怒りの杯は何を象徴していますか？
- 2) なぜ救われた人はこの杯を飲まないのでしょうか？
- 3) キリストが神の最後の怒りの杯を飲んだということは何を意味しますか？

出典: マタイ 26:39; DTG 637; DTG 640; 1JT 227 (スペイン語の書籍のページネーション)。

水曜日

火と硫黄で苦しめられる

見た。第三の天使のメッセージの中で言及されている聖天使と子羊の前での苦しみは、アポックの1000年の終わりにある第二の死を指していると私たちは考えています。20. メッセージに記載されているように、邪悪な人々が今の状態でそれを課されることは不可能です。なぜなら、彼らは天使と小羊の前に一瞬たりとも立つことができないからです。アポック。14:10,11。

キリストの復活の際に天使が現れたので、ローマの衛兵は「震え」、「死人のよう」になった。そして、人の子が父の栄光のうちに来られ、すべての天使たちが彼とともに来られ、すべての天が彼の栄光で輝き、地が主の御前で震えるとき、そのとき、神の前に断ち切られなかった人々は、最後の七つの災いは、その場面の燃えるような栄光の前に一瞬も立っていることはできないでしょう。パウロは「罪の人」について、「主はその口の霊によってその者を殺し、来臨の輝きによって滅ぼされるであろう」(II テサロニケ2:8)と述べました。したがって、第三の天使のメッセージには、最後の七つの災いによる獣とその像の崇拜者たちの最初の死に対する恐怖の警告だけでなく、邪悪な死者が現れる第二の復活の苦しみの場面も含まれていると我々は結論付ける。死体とともによみがえられ、小羊と聖なる天使たちの前に立つことができます。そして「ゴグとマゴグ」の軍勢が聖都の周りに集まるとき、裁きの執行が行われます。「火が天から神から降りてきて、彼らを焼き尽くしました。」

出典: {ND James White, 黙示録 XIV の天使の簡単な解説。
ベアフ23}

- 1) 第三の天使が言及した苦しみとは何を指しますか？

2) なぜ今日、男性にそれを課すことができないのですか？

3) この苦しみはどのようなものになるでしょうか？

4) 「ゴグとマゴグ」という用語は誰を指しますか？

木曜日

火の湖

「戦う者のあらゆる戦いには騒音があり、服が血でめくれ上がるからだ。しかし、これは燃やすためであり、火災の原因となるでしょう。」 「エホバの怒りはすべての国々の上であり、神の怒りはその軍勢すべての上にあるからである。彼は彼らの破壊を決定し、彼らを虐殺に引き渡した。」 「彼は悪人たちに火の石炭と硫黄の雨を降らせるでしょう。灼熱の風があなたのカップの一部となるでしょう。」 (イザヤ書 9:5; 34:2; 詩篇 11:6)。神は天から火を降らせます。地球は壊れています。その奥に隠されていた武器が輝き出す。恐ろしい隙間のあらゆる部分から、貪り食う炎が漏れ出ます。岩も燃えています。オープンのように燃え上がる日が来ました。灼熱で元素は溶け、大地も溶け、その中の作品も焦げてしまう。(マラキ 4:2; ペテロ第二 3:10)。地球の表面は溶けた塊、燃える火の巨大な湖のように見えます。それは悪人に対する裁きと滅びの時であり、「それはエホバの復讐の日であり、シオンの大義に対する報復の年である」(イザヤ 34:8)。

悪者は地上で報いを受けます(箴言11:31)。「彼らは牽引されるでしょう。そして来るその日は彼らに火をつけるであろう、と万軍のエホバは言われた。」 (マラキ書 4:1)。一瞬にして破壊されるものもあれば、何日も苦しみ続けるものもあります。誰もが「自分の行いに応じて」罰せられます。義人の罪はサタンに負わされ、サタンは自分の反逆だけでなく、神の民に犯させたすべての罪も苦しまなければなりません。彼の罰は、彼が騙した人々の罰よりもはるかに重いに違いありません。悪魔の誘惑に落ちた人々がすべて滅んだ後も、悪魔は生き続け、苦しみ続けなければなりません。浄化の炎の中で、邪悪な者の根と枝は最終的に破壊されます。サタンが根であり、その追随者が枝です。

法律の完全な罰則が適用されました。正義の要求は満たされました。天と地を熟考すると、エホバの正義を宣言することになります。

1) 火の湖は何で構成されていますか？

2) この火の湖はいつ、どのくらいの期間存在しますか？

3) 悪人が永遠に燃えることが不可能なのはなぜですか？

出典: CS 730 (スペイン語の本のページ)。

金曜日

二度目の死

「罪の報酬は死だからです。しかし、神の無償の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにおける永遠の命です。」（ローマ人への手紙 6:23）。命は義人の相続分ですが、死は悪人の相続分です。モーセはイスラエルにこう宣言しました。「見よ、わたしは今日、あなたの前に命と善と死と悪を置いた。」（申命記 30:15）。この聖句で語られている死は、全人類がアダムの罪の罰を受けるため、アダムが宣告された死ではありません。それは永遠の命と対比される「第二の死」です。

アダムの罪により、死は人類全体に広がりました。誰もが平等に墓に降ります。そして、救いの計画の規定により、誰もが墓から出てきます。「正しい者も不正な者も、死者の復活がある。」（使徒 24:15）。「アダムにあつてはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあつてすべての人が生かされるからである。」（1コリント 15:22）。ただし、復活する 2 つのクラスには区別があります。「墓の中にいる者は皆、主[人の子]の声を聞くでしょう。そして善を行った人たちは命の復活に出てきます。しかし、悪を行って天罰を復活させた者たちである。」（ヨハネ 5:28,29）。命を復活させるのに「ふさわしいとみなされた」人たちは「幸福で聖なる人」と呼ばれます。「そのような第二の死に対しては何の力もありません」（黙示録 20:6）。しかし、悔い改めと信仰によって自分自身の赦しを確保していない人は、罪の結果、つまり「罪の代償」を受け取ることになります。彼らは「自分の行いに応じて」様々な期間と強度の懲罰を受けることになるが、最終的には二度目の死で終わることになる。神は、その正義と慈悲に従って、罪を犯した罪人を救うことができないので、罪によってすでに損なわれ、自分に価値がないと証明された存在そのものをその人から奪います。靈感を受けたある作家はこう言いました。そうすれば、彼はそこにはいないでしょう」（詩篇 37:10、オバデヤ書 16 章）。悪名にまみれた彼らは、切り離すことのできない永遠の忘却の中に陥るだろう。このようにして、罪と、それによってもたらされたすべての荒廃と破滅に終止符が打たれるでしょう。詩編作者はこう述べています。「あなたは諸国民を叱責し、邪悪な者たちを滅ぼされました。あなたは彼の名前を永遠に消し去りました。消費される敵は次のとおりです。廃墟は永遠に続く」（詩篇 9:5,6）。

聖ヨハネは永遠を見つめながら、いかなる不協和音にも遮られることのない普遍的な賛美の交声を聞いた。彼は天と地のすべての生き物が神に栄光を帰しているのを聞きました（黙示録 5:13）。そうすれば、終わりのない苦しみの中で身悶えして神を冒瀆する失われた魂も、選ばれた者の賛美歌に地獄から驚きの叫びを合わせる不幸な存在もなくなるでしょう。

1) 罪の代償となるのはどの死ですか？

2) なぜ私たちは最初の死を迎えるのでしょうか？なぜ義人も悪人もみな復活するのでしょうか？

出典: CS 599 (スペイン語の本のページネーション)。

土曜日

何世紀にもわたって煙が立ち上る

「主には、シオンの大義において復讐の日があり、報復の年があるからである。そしてエドムの川はピッチに変わり、その地面は硫黄に変わり、その土地はピッチに変わる。燃えるであろう。それは昼夜を問わず消えることはありません。永遠にその煙は立ち上る。世代から世代へと、それは荒廃するでしょう。永遠に、そこを通る人は誰もいないでしょう」イザヤ書 34:8-10。

3. しかし、この恐ろしい最終的な大火災の光景は、無制限に続くわけではありません。しかし、地球が燃えてそのすべての要素が溶けると、水によって破壊された地球の後に現在の地球が続いたように、新しい天と新しい地球が続きます。そして義人が報われるのは新しい地球です。「しかし、主の日は夜の泥棒のように来るでしょう。その中で天は大きな音を立てて過ぎ去り、燃える要素は破壊され、地とそこにある作品は焼き尽くされるであろう。」これらすべてのものは破壊されるのですから、どうしてあなたは神聖かつ敬虔な態度で歩まず、天が燃え上がり破壊され、諸要素が焼き尽くされる神の日の到来を待ち望み、それを早めるべきではないでしょうか。アップ、合併します！しかし、わたしたちは神の約束に従って、義が宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。(2ペテロ3:10-13)。「私は新しい天と新しい地を見ました。最初の天と最初の地は過ぎ去り、海はもはや存在しないからである」(黙示録 21:1)。

4. したがって、悪人に対する恐ろしい長期にわたる懲罰は、(各自がその行いに従って罰せられるからである)、その罰は最終的にすべての違反者を完全に滅ぼす結果となるであろう。すべての悪者は神によって滅ぼされます(詩篇 145:20)。彼らは二度目の死を迎えることになる。(黙示録 21:8; ロマ書 6:23; エゼキエル書 6:23)

18:4,20)。彼らは滅び、煙となって消えます(詩篇 37:10,20,38)。彼らは永遠の滅びの罰を受け、消えることのない火で焼かれるでしょう。(テサロニケ第2章 1:9; マタ 3:12)。そして、根も枝も焼き尽くされると、まるで存在しなかったかようになります(マタイ4:1; オバデア16)。

出典: {1855 JNA, TAR 130}(黙示録の三人の天使 14:6-12; JN による)

アンドリュース。1855年)。

1) 煙と火はその持続期間において永遠ですか？

2) 一人当たりの刑罰はどれくらい続きますか？

3) 彼らがまるでかつてなかったかのような存在になるという事実は何を意味しますか？

レッスン 10 – 第三の天使のメッセージ – 続き

黄金の詩: 「そして、獣とその像を崇拜する者たちには、昼も夜も休むことがなく、その名のしるしを受け取る者も同様である。」黙示録 14:11。

日曜日

「そして、獣とその像を崇拜する者たち、またその名のしるしを受け取る者たちには、昼も夜も休むことがありません。」黙示録 14:11。

神の休息

礼拝者には昼も夜も「休息」がありません。この言葉から、多くの人は、悪人は永遠の苦しみの状態にあることを理解しています。先週、私たちはこれが事実ではないことを学びました。火の湖は、根も枝も、サタンとその追従者も含め、すべての罪人に終止符を打ちます。では、私たちは天使の言葉をどのように理解すればよいのでしょうか？悪者には決して与えられない安息とは何でしょうか？悪者とは神を拒絶する者たちなので、彼らにない安息は神が提供するものでなければなりません。パウロはヘブライ人への手紙で、「神の民には安息日はまだ残っている」と書きました。「というのは、ある場所で神は七日目についてこう言ったからである。そして神は七日目にそのすべての業を休んだのである。」 「神の安息に入った者は、神も自分の業から休んだのと同じように、自分の業から休んだのである」 (ヘブライ 4:3)。

4:9,4,10) 。神の安息に入ることは、神が休まれたのと同じように、安息日にあなたの仕事を休むことです。

1) 神はいつ 7 日目の休みを定めましたか？

A.: 「さて、七日目に彼が行った仕事を終え、彼はその日、自分が行ったすべての仕事を休んだ。 …これらが、天地が創造されたときの起源である。」 (創世記 2:2,4) 。

神は天と地を創造したとき、安息日を設けました。人間は6日目に創造され、神は7日目に休んだ。神は休む必要があったからではなく、人間の利益のためにこの日休んだのです。「安息日は人間のために設けられた」 (マルコ2:27) 。彼は神の休息です。

月曜日

恵まれた休息

1) 神はなぜ 7 日目を祝福したのですか？

A.: 「神は 7 日目を祝福し、神聖なものとされました。なぜなら、神は自分が創造し造ったすべての業を離れて、彼の内に休んでいたからである」 (創世記 2 :3) 。

2) 7日目とは何ですか？

A.: 「七日目はあなたの神、主の安息日です」 (出エジプト記 20:10)。

神は安息日に休まれたので、安息日を祝福されました。神の安息に入る者は皆、この日の祝福も受けません。私たちが神から祝福を受けていると確信できるのは素晴らしいことではないでしょうか。7日目に休めば食べられます。

3) 安息日を守る人はどのような祝福を受けますか。

A.: 「私と彼らの間のしるしとして、私は彼らに私の土曜日を与えました。それは、わたしが彼らを聖化する主であることを彼らが知るためである」 (エゼキエル20:12) 。

神の目的は、安息日に休むとき、神の子供たちが神を自分たちを聖化してくださる主として知ることです。安息日を守る者には、御自身のより深い啓示が約束されています。この日は、人が神の性質を示す作品を熟考することによって、神の性質をもっと学ばなければならない日です。この啓示は自然の中に見られ、主にイエスの人格の中に見られます。イエスが「わたしを見た者は父を見たのです」 (ヨハネ14:9)と言われたとおりです。そして、私たちが熟考するとき、神は私たちを聖化してくださる方としてご自身を明らかにしてください。したがって、安息日に休息するすべての人に与えられる祝福は聖化の祝福であることがわかります。神はご自身の神聖さ、ご性質を私たちに伝えてください。私たちはその方法を知らないかもしれないし、知る必要もない。本当に重要なことは、神が約束したので、神がそれを実行すると私たちが信じることです。聖化、これは安息日の祝福です。そしてこの祝福によって、私たちは永遠の祝福に入ることができます。「すべての者との平和と聖さを追い求めなさい。それなしでは誰も主を見ることができません」 (ヘブライ人への手紙12:14)と書かれているからです。

火曜日

神聖な休息

1) 安息日を祝福することに加えて、神は何をされましたか？

A.: 「神は七日目を祝福し、それを聖別されました」 (創世記 2:2) 。

「聖別する」とは、神聖な目的のために区別することを意味します。これが神が七日目になされたことです。イエスは私たちが非常に重要であると考えて、私たちの聖化を促進する働きに特別に取り組むためにこの日を取っておきました。土曜日、私たちは神とイエスの特別な注目の対象となります。預言者は聖域で何が起るかについて次のようにコメントしています。しかし安息日にはそれが開かれます...そして王子は戸口から入ります...そして門柱のそばに立っています...そして

その地の民は、安息日に、同じ門の入り口で主の前で礼拝しなければならない。」（エゼキエル書 46:1-3）

地上の聖所は、天の聖所の模範であり、姿であり、影でした（ヘブライ人への手紙 8:5）。
預言者は土曜日に天の聖所の扉が開くと報告しています。したがって、これはイエスが私たちに代わって奉仕する天国で起こっていることです。それで王子は
に行く。天国の王子は誰ですか？イエス：「神は、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるために、その右手で彼を王子、救い主に高められたのです。」（使徒言行録5:31）
すると、同じ戸口に、その土地の人々がやって来て礼拝します。その後、王子と土地の人々の間で会議が開催されます。そして土曜日はキリストと神が定めた日であり、この日にキリストを崇拝するために集まる人々と出会うことができるのです。毎週土曜日、イエスは私たちと個人的な約束を持っています。そして神とキリストは私たちに何を期待されているのでしょうか？約束の日に行きましょう。

「安息日を聖く保つために、その日を忘れないでください。」（出20:8）。神は、私たちも神と同じように、イスラエルの聖者との出会いのために、神聖な目的のために安息日を脇に置くことを期待しています。ああ、今日はなんと大きな栄誉が私たちに与えられたことでしょうか！最近、彼はほとんどの男性からどれほど軽蔑されているのでしょうか。土曜日は、他の日と同様に一般的な勤務日とみなされます。この日、私たちがキリストに会う準備ができていることに気づく喜びを神とイエスに与えることができれば幸いです。そして、どのように準備すればよいのでしょうか？私たちは明日これを勉強します。

水曜日

1) 土曜日に向けてどのように準備しますか？

A.: 「6日間働き、自分の仕事をすべてやり遂げます。しかし、七日目はあなたの神、主の安息日です。その日、あなたも、あなたの息子も、あなたの娘も、下男も、下も、あなたの家畜も、あなたの門の中にいる外国人も、いかなる仕事もしてはならない」（出エジプト記20:10）。

6日間の活動中、私たちは土曜日に何も残らないように活動を遂行しなければなりません。家の掃除、食事の準備、毎日の新聞の読書、試験勉強、土地の耕作、植え付け、収穫、その他のあらゆる活動は、私たちが仕事をしなければならない6日間に行われなければなりません。

しかし、七日目はあなたの神、主の安息日です。その日は何も仕事をしません。同時に他の活動で忙しい場合、イエスを家にゲストとして適切に迎えることはできません。訪問には細心の注意を払う必要があります。このためには、すべての準備を事前に行う必要があります。その前日の金曜日は特別な準備の日となるはずだ。神はマナの物語を通してこのことを教えました。この天からのパンは毎朝人々に与えられました。

あなたがしなければならなかったのは、テントを出て回収することだけでした。それはたった1日しか続きませんでした。2つ目では、カビが生えてバグが発生しました。しかし、金曜日にマスターは人々がそれを調理できるようにして、土曜日に作らなくても済むように2倍の量を与えました。「6日目に彼らは2倍のパンを集め、それぞれ2オメルでした…彼らはそれを翌日まで保管しました…しかし彼らは集めませんでした」

悪臭がしたし、虫も入っていなかった」 (出 16:22,24)。神は毎週奇跡を起こし、金曜日に集めたマナを2日間保管し、重要な霊的教訓を教えました。金曜日は食事の準備と調理をします。土曜日は休みます。土曜日の礼拝用の服装も金曜日には準備ができています。

厳密に必要でないことはすべて土曜日に行くべきではありません。そして、聖日に訪れるゲストの重要性を考えると、次の土曜日の準備は週の初日から始める必要があると言っても過言ではありません。金曜日の終わりに神の僕たちが疲れきって、イエスを迎え、賛美し、神を礼拝する意欲や熱意がなくなってしまうような、あまりにも多くの活動を計画すべきではありません。そして、このように安息日を聖く守るすべての人に約束が与えられます。

「もしあなたが安息日からそっぽを向いて、わたしの聖日に用事を怠ったなら、もしあなたが安息日を喜び、主の聖なる日、名誉に値する日と呼ぶなら、あなたが自分のやり方に従わず、自分の事業に忙しくせず、空虚な言葉を語らずに、神を敬うなら。そうすれば、あなたは主にあって喜び、私はあなたを地の高みに乗せ、あなたの父ヤコブの相続財産であなたを養わせます。主の口がそれを語られたからである」 (イザヤ58:13,14)。

木曜日

主である私は変わりません

今週私たちは、神がどのようにして安息日を祝福し、神聖なものとしたのかを学びました。聖化の祝福はこの日に見られます。他の日には彼に会うことはありません。

日曜日でもありません。祝福を与える人はそれを与える日を選びました、そしてそれを受け取りたいかどうかを決めるのは私たち次第です。人間は神がなされたことを変えることはできません。また、神が変わることを期待したり、神が誰かに自分のしたことを変える権限を与えたりすると想像することもできません。「主であるわたしは変わらない」 (マタイ3:6)と書かれています。主の日は創世記では安息日であり、黙示録の時代でもそうであり続けます。

安息日の休みは天地創造の時に定められ、神がシナイ山に戒めを与えたときに人間に思い出させました。4番目には、「安息日を聖く保つために、安息日を覚えなさい」 (出エジプト記20:8)とあります。詩編作者はすでに、すべての戒め、したがって安息日も永遠であると述べていました。神の戒めをすべて忠実に守りなさい。彼らは永遠にしっかりと立っています」 (詩 111:7,8 - 改訂アメリカ訳)。そしてイエスは地上に来たとき、彼らが変わらないことを確認しました。本当にあなたがたに言いますが、天地が滅びるまで、すべてが成就するまでは、一銭も一銭も律法から外れることはありません」 (マタイ 5:17,18)。

新約聖書は安息日の戒めを再び提示しません。なぜなら、新約聖書は旧約聖書ですでに確立されていたものの有効性を規定しているからです。それは神が変わらないという前提に基づいています。神は言うことを変えないので、二度言う必要はないでしょう？

イエスは、「わたしは父の戒めを守った」と言われましたが、それには安息日も含まれます(ヨハネ15:10)。そして、イエスは真の弟子たちに、すべての人々にイエスと同じことをするよう教えるように命じられます。「行って、弟子を作りなさい…わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい」(マタイ 28:19,20)。神は私たちが神の声に従い、土曜日を7日目、神の安息日、私たちの愛する救い主との出会いの日として宣言することを期待しておられます。やってみよう！

金曜日

こいつらには休みがない

第三の天使はこう言います。「獣とその像を崇拝する者たちには昼も夜も休みがありません。また、その名のしるしを受ける者も同様です。」黙示録 14:11。

獣の崇拝者は、神の安息日ではなく日曜日を休息日として選びます。この日、安息と聖化の祝福は約束されていませんでした。

したがって、彼らは約束された安息に入ることはありません。そして、獣を崇拝する者の決定は確固たる決定的なものであるため、彼らが決して神の安息に入らないことは確かです。それは彼らがそれを決して受け入れないと決めたからです。神は彼らに安息日を守るよう強制することはできません。それは彼の性質に反します。しかし天使は彼らに、彼らが神の安息に入らないと警告します。

昼も夜も休みはないと書いてあります。それは私たちに、彼らには絶えず休みがないことを理解させます。なぜなら、彼らは安息日を拒否することによって、安息日の作者を拒否することになるからです。彼らは、人生において神の御霊とキリストの慰めの臨在が無いままです。パウロは、獣の崇拝者がどのように感じるかを理解するのに役立つ、落ち着きのない状態について次のように説明しています。しかし、私たちはすべてのことに悩み、外の戦いと内なる恐怖に悩まされました。」(IIコリント 7:5)獣の崇拝者は、あらゆることに不安を感じるでしょう。聖書はイエスと真理を拒否する人々について次のように述べています。天の力が揺るがされるからです。「あなたの人生はあなたの前で停止されるでしょう。そうすればあなたは昼も夜も震え、自分の命に確信が持たなくなるであろう」(ルカ21:26、申命28:66)。

神の安息を受け入れることの利点は何でしょうか?について考えてみましょう。それを受け入れることで何が得られ、何を避けられるのでしょうか？

土曜日

休息状態

今週私たちは土曜日が神の休みであることを学びました。また、それが神の律法の第四戒に記録されていることも分かりました。しかし、完全に安息に入るということは、聖書を何気なく読んでいる人が想像する以上に意味があります。すべての戒めを守るまでは、人は完璧な安息日の守り人ではありません。使徒ヤコブは、「律法全体を守っていながら、一点でつまづく者は、すべての罪を犯したことになるからです」（ヤコブ 2:10）と述べています。十戒をすべて守る人だけが、安息日の完全な「休息」に入ります。では、どうすればそれに入ることができるのでしょうか？イエスはこう言われました。「わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすればあなた方は魂に安らぎを得るでしょう」（マタイ 11:29）。私たちが安息を得るために必要なのは、神の教えと模範から学ぶことです。イエスは戒めを完全に従われました。私たちがイエスにしっかり従うなら、私たちもイエスが歩まれたように歩むことになるでしょう。こうして私たちは休息を得るでしょう。この聖句では、イエスには「柔和」と「謙虚さ」という、私たちが注意を払わなければならない2つの特質があると述べられています。柔和な子羊は、怒れる群衆からのあらゆる軽蔑、侮辱、嘲笑、殴打、鞭打ち、突き押しに文句を言わずに耐えました。

静かに苦しみ、彼を傷つけたすべての人々の罪を自ら引き受けます。「彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開けなかったのです。それは屠殺場に導かれる小羊のように、また毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、主は口を開かれなかったのである。」（イザヤ書53:7）謙虚な救い主は、逮捕される夜、身をかがめて裏切り者の足を洗われました。イエスはこれらの特質を備えておられましたが、それは私たちに対する完全な愛の賜物です。この愛を熟考することで、私たちはそれを吸収し、その愛によって変化していきます。そうすれば、私たちは救い主と同じになるでしょう。

1) 十戒の律法の成就とは何でしょうか、とパウロは言いました。

A.: 「愛は他人を傷つけません。したがって、愛は律法を実現することなのです」（ロマ 13:10）。

イエスの愛を心に受け入れると、私たちがその愛で満たされます。したがって、愛は神の律法の実現であるため、私たちが律法を遵守することになります。そうすれば、私たちも安息日の戒めを履行し、神の安息に入るでしょう。

「ですから、神の民には安息日がまだ残っています。さて、このことを考慮して、誰も同じ不従順の例に陥らないように、その安息に入ることを熱心に努めましょう。なぜなら、神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂にさえ刺し通し、心の思いや意図を識別するものだからです。」（4:9、11、12）。

レッスン 11 – 第三の天使のメッセージ – 続き

黄金の詩: 「ここに聖徒たちの忍耐がある。ここに神の戒めとイエスの信仰を守る人々がいる」黙示録 14:12。

日曜日

自由を守るために

「ここに聖徒たちの忍耐がある。ここに神の戒めとイエスの信仰を守る人々がいる」黙示録 14:12。

第三の天使は、獣とその像がすべての人々に不従順の印を押しつけようとする恐ろしい時代を指しています。私たちはすでに、獣が聖人たちを迫害する宗教的権力と市民的権力の結合であることを学びました。私たちはまた、教皇庁が過去にこの役割を果たしていたのは獣であり、すぐに再びそうなるだろうということも見ました。「獣は……深淵から上がろうとしている」（黙示録 17:8）。彼の権威のしるしは日曜日が安息日であることです。したがって、世界に自らの痕跡を押しつけようとする野獣の試みは、国家にその教義を裏付ける法律を制定させるという教会の努力を通じて成就されることを私たちは理解しています。制限的な法律により、日曜日は休日として課されることとなります。そのとき、神に対する律法を守る人々は、その信仰を厳しく試されることになります。彼らは、「人間ではなく神に従わなければならない」（使徒 5:29）ことを知っています。したがって、彼らは、神の言葉に命じられたとおりに神を崇拜し続けることができるように、信教の自由を守り続ける必要性を理解するでしょう。

第三の天使は、自由を擁護する一群の人々を指摘し、「ここに聖徒たちの忍耐がある…彼らは神の戒めを守っている」（黙示録14:12）と述べています。他のバージョンでは、「忍耐」ではなく「忍耐」という用語が使用されていますが、これは忍耐する必要があるため、これが適切です。そして忍耐はあらゆる反対に直面して、第七戒の安息日を守る権利をしっかりと守ることになるでしょう。神の兵士は不従順の軍隊に比べれば少数であるため、この防衛は武力では行われません。政府は神の法に反対して民衆教会と団結するでしょう。彼らが使う武器は神の言葉と祈りだけです。

獣の刻印を課す時が刻々と近づいている。したがって、聖書で教えられている信教の自由の根底にある原則を私たちがすぐに守る必要があるため、それを知ることが神の望みです。

月曜日

信教の自由の原則

「それから、パリサイ人たちは立ち去り、どのようにしてイエスを言葉で捉えるべきかを仲間内で相談した。彼らの弟子たちはヘロデの人々とともにイエスのもとに遣わしてこう言った、「先生、私たちはあなたが真実であり、あなたが真理に従って神の道を教えておられ、人を恐れないことを知っています。あなたは外見を重視しないからです」男性の。

それで、あなたはどう思いますか？カエサルに敬意を払うことは合法ですか、それとも違法ですか？しかし、イエスは彼らの悪意を察知して、「偽善者たちよ、なぜ私を試すのですか」と答えられました。

貢物のコインを見せてください。そして彼らはイエスに1デナリオンを贈りました。彼は彼らに尋ねました：これは誰の像と碑文ですか？彼らは答えた、「カエサルからです。」それから彼は彼らに言った、「だから、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい。」（マタイ 22:15-21）。

パリサイ派は宗教権力を代表し、ヘロデ総督からのヘロデ派は民間権力を代表しました。彼らはイエスに、カエサルに貢物を与えるのは合法かどうか尋ねました。イエスは彼らに、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に与えられるべきであると明確に答えられました。カエサルに納めるべき税金を怠ってはいけないのと同じように、政府も神に捧げ物をするという口実で、神のものを捧げるべきではありません。そして、安息日を守ることは神に与えられなければなりません。戒めには、「七日目はあなたの神、主の安息日である」（出エジプト記20:10）とあります。それはカエサルのものではなく、カエサルによって設立されたものでも、カエサルの管轄権にも属しません。そして政府であるカエサルには、神が定めたものに干渉する権利はありません。安息日は人間とその創造主との間の義務です。父親、母親、親戚、職場の上司など、誰も神が要求するものを神に与えるという個人の権利を妨げる権利はありません。

したがって、カエサルには人間が神に何を譲らなければならないかについて立法する権利はない。したがって、安息日とは何かを言うために聖書を解釈する権利はありません。したがって、日曜日の遵守を強制する法律を制定する権利はありません。この意味でのあらゆる法律は聖書に反しており、神の子は神を敬うために聖書を無視し、神の言葉で命じられるように良心が示すとおり神に従います。

実のところ、シーザーには宗教法を制定する権利はありません。神に対する人間の義務は神によって決定されなければなりませんが、政府であるカエサルは民法と国民の市民的行動を担当しなければなりません。これはイエスの言葉で確立された原則です。明日のレッスンでもっと詳しく勉強します。

火曜日

神と人間に対する義務

1) パウロによれば、地上の権威に対して私たちはどのような立場をとるべきでしょうか。

A: 「すべての魂は上位の権威に服従しなければなりません。神から来ない権威はないからです。そして存在するものは神によって定められたものです。したがって、権威に抵抗する者は神の定めに抵抗することになります。そして抵抗する者は自らに非難をもたらすでしょう…この理由から、あなたも敬意を表します。彼らはまさにこのことに尽力する神の奉仕者だからである」 (ロマ13:1,2)。

2) どの時点で上級当局に提出する必要がありますか？

A: 「それぞれに、当然のものを与えなさい。誰に貢ぎなさい、誰に貢ぎなさい、誰に貢ぎなさい、誰に貢ぎなさい、誰に貢ぎなさい」 。誰に税金、税金。恐れる者は恐れる。彼は誰を敬います、敬います」 (ロマ13 :13 :7) 。

私たちはこの世の権威者に当然の義務を負わなければなりません。神の律法は2つの部分に分かれています。その本文は、最初の4つの戒めが神に対する人間の義務に関するものであり、最後の6つの戒めが隣人に対する人間の義務に関するものであることを示しています。

それらは神に対する義務に関するものです。

- 1 - あなたにはわたしの他に神はいないでしょう
- 2 - あなたは自分のために彫刻像を作ってはならない…あなたの神、主であるわたしは嫉妬深い神だからである
- 3 - あなたの神、主の御名をいたずらに唱えてはならない
- 4 - …七日目はあなたの神、主の安息日です

それらは他人に関係します:

- 5 - 父親と母親を敬う
- 6 - 汝殺してはならない
- 7 - 姦淫してはならない
- 8 - 盗んではなりません
- 9 - 偽りの証言をしてはならない
- 10 - あなたは隣人の家を欲しがってはならない、あるいは隣人のものを欲しがってはならない。

パウロはローマ人への手紙13章で権威への服従について語る時、他人に関係する戒めについてのみ言及しています。彼の教えはイエスの教えと一致していました。カエサルや政府は、人間と隣人との関係に関してそれを行うことができる。しかし、一線を越えて、神に対する人間の義務を規定する最初の4つの戒めを法制化することはできない。これらに関して、神は立法する権利をご自身のために留保されました。第三の天使のメッセージを受け取る者は、

彼らはこの原則を人々の前に明らかにし、それを自分たちの生活に適用し続けることに粘り強く取り組んでいます。したがって、日曜日の遵守を強制する民法に直面しても、彼らは第四戒の安息日を粘り強く守るでしょう。「ここに聖徒たちの忍耐（忍耐）があり、ここに神の戒めを守る者たちがいる」（黙示録 14:12）。天使が私たちについてこう言ってくださいますように！

水曜日

神がご自分の民に代わって行動するとき

ダニエル書の物語は、神が各個人の信教の自由の権利を守る責任をどのように引き受けているかを示しています。創造主は、カエサルが良心に従って人間に神への崇拝をやめるよう強制することを許しません。

明確な例は3章にあります。バビロンの王は偶像、つまり黄金の像を建て、誰もがそれを崇拝することを期待しました。「すると、叫び声は大声で叫びました。『民族、国々、そしてあらゆる言語の人々よ、あなたたちに命じられています。ラッパの音、フルートの音、ハーブの音、豎琴の音を聞くとすぐに、詩歌、バグパイプ、そしてあらゆる種類の音楽を聴きながら、あなたはひれ伏し、ネブカドネザル王が立てた黄金の像を崇拝するでしょう。そして、ひれ伏して彼を崇拝しない者は、すぐに火の炉に投げ込まれるでしょう。』（ダニエル 3:5,6）。

しかし、そのような命令は第二戒に反していました。これにより、像の崇拝が禁止されます。ダニエルの3人の友人は生ける神に仕え、神の戒めを守りました。彼らは像に頭を下げず、王の前に連れて行かれたとき、こう言いました。見よ、私たちが仕えている神は、私たちを燃える炉から救い出すことができになります。そうすれば、王よ、主は私たちをあなたの手から救い出してください。しかし、そうでない場合は、王よ、私たちはあなたの神々に仕えたり、あなたの立てられた黄金の像を崇拝したりしないことを知ってください。」（ダニエル3 :16,17）。彼の反応は権威への反抗ではありませんでした。彼らが「この件については答える必要はありません」と言ったとき、彼らは地球の政府には人間と神の間に入る権利はないという神の原則を宣言しただけでした。宗教に関する法令を発令する権利はない。宗教と国家は永遠に分離されなければなりません。

1) バビロンの王が宗教上の法令に従わなかったダニエルの友人たちを炉に投げ込んだとき、何が起こりましたか？

A: 「すると、ネブカドネザル王は驚いてすぐに立ち上がった。彼は相談者たちにこう言いました。「我々は縛られた三人を火の中に投げ込んだではありませんか？」

王に答えてください :それは本当です、王よ。彼は言った、「しかし、私は四人の男が火の中を放り出して歩き回っているのを見ました、そして彼らは何の害も受けていません。そして四番目の外見は神の子のようです」（ダニエル書 3:24,25）。

神はこの試練の時にご自分の僕たちに同行するためにイエスを天から遣わされました。彼は彼らの命を守り、この方法で異教の王の死刑判決を取り消しました。神は宗教に関する地球の法令を無効にします。そうする責任と権利を自分自身で引き受けてください。したがって、神の僕が不従順を恐れる理由はありません。

日曜日の布告など、間もなく発令される宗教上の布告。終末の時、世界が律法を守り安息日を守る神の僕たちに反抗するとき、神はやがて、地上の法令を無効にし、救いをもたらすだろう。

皆さん。したがって、カエサルが神のものに干渉できないことは永遠に確立されるでしょう。「カエサルのはカエサルに、神のものは神に返しなさい。」アーメン！

木曜日

「ここに聖徒たちの忍耐がある」黙示録 14:12

天使が聖徒たちは忍耐を持つだろうと言うなら、それはそれが試されるからです。神の僕と獣とその像との間の最後の争いは数日では続かないでしょう。黙示録 13 章では、獣がその優位性を持つ期間について言及されています。「彼には、四十二か月間存続する力が与えられた」（黙示録 13:5）。3 年半に相当します。この期間中、聖徒たちは忍耐と神への信頼を働かなければなりません。救出が約束されました。艱難の終わりに、獣は最終的に打ち負かされます。「彼らは自分たちの力と権威を獣に引き渡すでしょう。彼らは小羊と戦いますが、小羊は彼らに打ち勝ちます。なぜなら、彼は主の中の主であり、王の中の王だからです。彼とともにいる者、召された者、選ばれた者、忠実な者たちも勝利するであろう」（黙示録 17:13,14）。しかしそれまで、信仰を持って待つかどうかは聖徒たち次第です。したがって、今日神が地上の教会の会員が、解決に長い時間がかかる問題に直面することを許しておられるのも不思議ではありません。神は今日、神の民に忍耐力を与えて、信仰の最後の試みに備えさせています。

1) 艱難に直面したとき、私たちはどのような態度をとるべきでしょうか。

A.: 「艱難の中で栄光を誇ろうではありませんか。艱難は忍耐を生み、忍耐、経験、経験が希望を生むことを知っているのです」（ローマ 5:3,4）。

私たちは艱難の中で栄光を享受しなければなりません。それは、神が艱難を通して、最後の葛藤に直面するために必要な経験を私たちに与えてくださっているからです。それらを通過することは、神が終末に立ち、神の名を讃え、地上での神の統治を正当化するために私たちを選んだというしるしです。

ヨブは、地上での自分の従順が天でも議論されているとは知りませんでした。

地上で試練を受けながらも、彼は神を義と認めました。「主はサタンに言われた、『わたしの僕ヨブを考えたことがありますか。彼のような人は地上にはいない、とがめのない正しい人、神を恐れ悪を避ける人です。』あなたが私を彼に対して扇動して、理由もなく彼を焼き尽くしようとしたにもかかわらず、彼は依然として誠実を保っています。」（ヨブ記 2:3）。

第三の天使のメッセージに耳を傾ける人々も、ヨブのように神を義とする特権的な機会を得るでしょう。そして神の恵みによって、神が勝ったように、彼らも勝利するでしょう。

金曜日

完璧、この地球上で

「ここに聖徒たちの忍耐がある。ここに神の戒めとイエスの信仰を守る人々がいる」黙示録 14:12。

第三の天使は、この地球上に、神の律法の戒めを完全に守る民が現れるだろうと積極的に宣言します。そして、黙示録は終わりの日に何が起るかを啓示するものであるため、神の戒めをすべて守る人々が地上に現れるのはこの時であると私たちは知っています。サタンは常に人々が律法を守らないと非難してきました。彼は「私たちの兄弟たちを告発する者」です（黙示録 12:10）。その際、彼はまた、人間には果たせない律法を守るよう命令した神は不当であると非難した。

明らかに、彼が彼らに従わないように誘惑したことは省略されています。この告発は、神がすべての戒めを守る民を地上に持つ瞬間まで続く。

そうすると悪魔の主張は地に落ちます。彼は敗北し、神は義と認められる。パウロは今回のことを予測して、「自分の言葉で義とされ、裁かれるときには打ち勝ちなさい」（ローマ2:4）と言いました。

神は宇宙の前で神を義とするこの働きにおいて、人間に特別な役割を与えた。彼らは、「神が人間に神の律法への完全な服従を要求するのは不当なのか？」という質問に対する最終的な答えを宇宙に与えることしかできない。そして、それができるようになるためには、まず「できると信じる」必要があります。パウロは、私たちがこの地点に到達すると言います。「私たちが皆、神の御子についての信仰と知識との一致に至り、完全な人間の状態に達し、キリストの満ち足りた身長に達するまで」（エペソ 16:30）。4:13）。そして第三の天使は、私たちがこの地上に生きている間、完璧になれるという信仰を持つように私たちを導きます。それは、彼が地球を指さして「ここにいます」と確認するからです。そうです、この地上とこの時代に、神のすべての戒めを守る人々があります。私たちは天に向かって声を上げて、「主よ、私は天使の言葉が私の人生で成就することを望んでいます。それは成就することを知っているからです。」とすることができます。彼が「ここに神の戒めを守る者たちがいます」と言うときに私たちに指摘してくれることを願っています。

土曜日

基準を高める

今日のクリスチャンは一般に、道徳的行為の低い基準に満足しています。これまで世俗的な人々の間でのみ名づけられてきた罪が最も一般的です。教会は牧師や牧師を通じてサタンの言葉を反映し、私たちがこの地上に生きている限り罪人のままであると人々に告げています。これは事実上、敵の勝利を宣言したに等しい。しかし、神は御言葉の中で、さらに高い基準を定めておられます。「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われたのを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。それは、あなたがたが天におられるあなたの父の子供となるためです。神は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、義人にも雨を降らせてくださるからです。

不公平。というのは、もしあなたが自分を愛してくれる人たちを愛したら、どんな報いがあるでしょうか？徴税人も同じことをするではありませんか。兄弟たちだけに挨拶するなら、何をやりすぎているのでしょうか？異邦人も同じではないでしょうか。あなたがたの天の父が完全であるように、あなたも完全でありなさい」（マタイ 5:43-48）。神の性質に完全に似ること、これが私たちの目標です。これ以下では満足すべきではありません。

イエスは、「わたしを見た者は父を見たのです」（ヨハネ14:9）と言われました。私たちはキリストを熟考することによってのみ御父のご性質を正確に理解することができます。神の愛は「キリスト・イエスのうちにあります」（ローマ8:39）。それはイエスにおいて、カルバリの十字架の犠牲において完全に示されました。十字架は救われた者の科学であり歌です。私たちのためにすべてを与えてくださった神の御子と、御子としてすべてを与えてくださった父の恩寵について瞑想するとき、私たちの心は神聖な命の原則で満たされるでしょう。そのような愛は、それを熟考し、その影響に抵抗できないすべての人の心を興味をそそり、打ち砕き、和らげ、改心させます。この計り知れない愛の賜物には、私たちが神に赦され、受け入れられているという確信があります。この愛を吸収すると、私たちの心は広がります。使徒の言葉は、私たちの生活の中で成就するでしょう。神の満ち足りたところに満たされなさい」（エペソ 4:3）。

3:18,19) 。そうすれば私たちは死ぬまで神と兄弟を愛するでしょう。

1) モーセは反抗的なイスラエルのために執り成しをしたとき、神に何と言いましたか。

A: 「ああ！この人々は大罪を犯し、自らを黄金の神としました。

したがって、今は彼らの罪を赦してください。そうでないなら、あなたの書かれた本から私を消し去ってください」（出エジプト記32:31,32）。

モーセは、反逆者たちのために自分の名前がいのちの書から抹消され、二度目の死を経験することをいとわなかった。彼は神の愛を吸収していました。この愛は律法の成就です。そして、第三の天使は終わりの時には神の戒めをすべて守る民が現れると明確に述べているので、モーセによって示されたこの愛を人生において完全なものとする民が現れることは確実です。したがって、私たちが人生の中で第三の天使の福音を受け入れ、天の計画のように、彼が私たちを完璧に導いてくださいますように。したがって、私たちも、敵の救いのために、命の書から自分の名前が抹消されることをいとわないでしょう。私たちの天の父が完全であるように、私たちも完全になります。アーメン！

レッスン 12 – 第三の天使のメッセージ

聖所の清め黄金聖句：「キリストの血は…生ける神に仕えるために、死んだ行いからあなたの良心を清めるでしょう」（ヘブライ人への手紙 9:14）。

日曜日

聖域の浄化

「ここに神の戒めを守る者たちがいる」（黙示録14:12）。

第三の天使は、神の民は戒めを「守る」と述べています。この言葉は「受け取った預金を保存する」という意味と理解されています。私たちは受け取ったものだけを保管することができます。天使は私たちがその預金を買ったとは言っていません。「私たちはそれを保管します。」そしてそれをどうやって受け取るのでしょうか？何世紀も前に、主はすでにそれを与えると約束されました。「見よ、その日が来る、と主は言われる、わたしはイスラエルの家とユダの家と新しい契約を結ぶ……これがその日の後にわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は言われる」主「わたしは彼の内にわたしの律法を定め、それを彼の心に書き記す」（エレミヤ31:31-33）。神はご自分の民の思いと心の中に律法を置くでしょう。このようにして、彼はそれを彼らに保管するための保証金として渡しました。

パウロは、この約束はキリストの神権の働きによって実現されるだろうとコメントしています。イエスは地上で聖なる生活を送るでしょう。私たちは私たちの罪のために死ぬつもりです。そうすれば、彼は神によって「大祭司」に指名され、私たちのとりなし者になる権利を得るでしょう。そのようにして神は神権を行使することになるのです。そして祭司として、彼は「より良い契約の仲介者」となるでしょう（ヘブライ人への手紙 8:6）。

1) ヘブライ人への手紙でパウロが述べた新しい契約とは何ですか？

A.: 「さて、これが、その日の後にわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は言われる。わたしはわたしの律法を彼らの理解の中に入れ、彼らの心の中に書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる」（ヘブライ人への手紙 8:10）

この契約はエレミヤ書で発表されたものと同じであることに注意してください。ヘブライ人への手紙で発表されたキリストの神権を通して、契約は成就することになる。その「預金」は、天の聖所におけるキリストの奉仕によって人々の心に置かれることとなります。

ヘブライ語の聖所儀式体系では、大祭司の奉仕は2つの部分に分けられると教えられていました。一つ目は、すべての罪人のために行われる継続的な奉仕でした。最後の儀式は宗教年の最終日に行われ、「贖罪の日」の儀式と呼ばれました。聖書はこう述べています。「その日、あなたを清めるために、あなたのために償いが行われる。あなたはすべての罪から主の前で清められるであろう」（レビ記16:29）。「罪は律法を犯すことです」（ヨハネ第一 3:4）。したがって、罪から清められるということは、律法に違反する行為をやめるということになります。したがって、司祭の仕事は、

人間を清めることは、人間を律法に従わせる仕事である。言い換えれば、法律を頭と心書き記す作業です。浄化は宗教年の最後の仕事でした。

したがって、清めは、罪人に代わって行われる偉大な救いの計画におけるキリストの最後の働きです。イエスは、大祭司および調停者として行動し、悔い改めた人々に有利に神の契約の成就をもたらす。神の律法を信者の思いと心の中に書き記すであろう。神はキリストのとりなしを通して「預け金」を与えてくださいます。どうやってやるのですか？私たちは明日これを勉強します。

月曜日

「神の戒めを守りなさい」 (黙示録14:12)

イスラエルの聖域では、人々は振りかけられた血によって聖化される、つまり汚れから清められると教えられました。これは罪のために犠牲になった動物の血でした。罪人は司祭によって血をかけられるのを避けた。これは生きた教訓でした。犠牲にされた動物は神の子羊であるイエスを表していました。動物の血は、彼の贖いの死によって得られた神の功績を表していました。祭司が崇拝者を聖化するために動物の血を礼拝者に振りかける行為は、真の大祭司であるイエスが私たちに犠牲を捧げ、カルバリの十字架で血を流すという働きを表していました。

地上の聖所で礼拝者が司祭が自分に血を振りかけるのを見て、自分が聖別されたことを確信したのと同じように、今日私たちは、最も聖なるところで、大祭司であるキリストが信仰の視線をその血に向けているのを見ます。神が私たちに聖別してくださる保証として、カルバリの十字架で流されました。私たちのために命をささげてくださいましたイエスの功績を見て感謝するとき、私たちはイエスを私たちの魂の救い主また清め主として信頼します。その後、私たちは神の聖霊を受け、聖化され、罪から清められます。なぜなら、神の御霊が私たちに聖めてくださるからです。パウロはヘブライ人に宛てて書いた言葉の中でこの真理を要約しました。

「というのは、山羊や雄牛の血を振りかけることが…肉体の清めと同じように、汚れた人々を聖化するのであれば、ましてや、永遠の御霊によって傷のないご自身を神にささげたキリストの血は、どれほど清められることでしょうか。「死んだ行いによる罪ですか？良心、生ける神に仕えることです」(ヘブライ人への手紙9:13,14)。

キリストはご自身の聖所において、十字架上の犠牲を私たちに示してくださいます。そこで私たちは、自分が赦され、受け入れられたことがわかり、心の中で神の恵みを受けるなら、私たちは聖化され、罪から清められるのです。救いは完全であり、飲みたいものを何でも飲む純粋な水に匹敵しません。

「そして、御霊と花嫁は言います：「来なさい。」聞く者はだれでも言う、「来なさい。」喉が渴いている人は来てください。そして望む者は誰でも命の水を自由に受けることができます」(黙示録22:17)。

このような偉大な救いのためにイエスの御名が讃えられますように。

火曜日

信仰によって受け取る

私たちは神の戒めが「預け金」、つまり私たちが受け取る賜物であることを学びます。神は私たち全員と結んだ協定、契約の中で、この賜物を私たちに与えると約束されました。契約の仲介者であるイエスは私たちに贈り物を与えてくださいます。神は私たちに代わって十字架での犠牲を私たちに捧げることによってこれを行ってくださいます。私たちがそれを受け入れるなら、神は御霊によって贈り物を与え、私たちの思いと心に戒めを書き記してくださいます。さて、現在に対してどうやって「イエス」と言えるのでしょうか？どうやってそれを受け入れるのでしょうか？第三の天使は、末日聖徒には「信仰」があると述べています。「ここに信仰を守る者たちがいます」（黙示録 14:12）。

「信仰とは……目に見えないものの証拠である」（ヘブライ人への手紙11:1）。神の言葉は、キリストが私たちの罪を赦し、私たちの人生を清めてくださると教えています。私たちはこれを信じます、そしてそれは私たちの生活の中で現実になります。それはとても簡単です。私たちは神の犠牲を信じています。私たちは、神が十字架で得られた功績によって私たちに救う権利を信じています。そして、神が私たちのために命を捧げるほど私たちに愛してくださったことを考えると、神は私たちが永遠に神と一緒にいることを本当に望んでいるのだと私たちは信じます。主が私たちとともに住むこの都市には、「汚れたものが入ってはなりません…」（黙示録21:27）。したがって、神が私たちにあらゆる不純物から清めてくださるのは当然です。

1) イエスはパウロの言葉を通して私たちにどのような確信を与えていますか。

A.: 「あなたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日までそれを完成させてくださるという、まさにこのことを確信しなさい。」（フィリピ 1:6）

水曜日

「彼らは神の戒めとイエスの信仰を守っています」（黙示録14:12）

私たちは昨日、信仰を通して赦しと聖化を受けることができることを見ました。第三の天使は、聖徒たちは信仰を「守り続ける」と言っています。あなたの仕事はそれを買うのではなく、受け取った後にそれを世話することです。信仰は「神の賜物」です（エペソ2:8）。神はご自身の霊を全世界に送り、人々に罪を有罪とさせようとしています（ヨハネ16:8）。そしてこの精神は信仰の精神です。「今、私たちは同じ信仰の精神を持っています」（IIコリント 4:13）。神の御霊が良心にもたらす罪の認識に人が身を委ねるとすぐに、同じ御霊が心の中で働き始め、人を信仰へと導きます。聖書には、御霊が「言いようのないめきをもって私たちのために執り成してくださる」（ローマ8:26）と書かれています。神は神の愛と善の証拠を私たちの心に印象づけ、私たちが神の中で創造することを学べるようにしてくださる方です。

私たちは信仰を通して赦しと聖化を受けます。信仰がないから救われれないと言う人もいるかもしれませんが、しかし、信仰を与えてくださるのは神です。そして彼にさせないでください

店にいるので、そこまで車で迎えに行かなければなりません。神は御霊によって常にそれを私たちに提供してください。したがって、信仰を持たないためには、ただ信仰を探すのをやめるだけでは十分ではありません。私たちは、執拗に提供される無償の贈り物を積極的に拒否しなければなりません。私たちに對する神とキリストの愛と善意を理解することは不可能です。私たちのためにこれほど大きな代償を払ったにもかかわらず、私たちを救うことを主張し、常に私たちに忘恩と不信仰を捨てるよう説得しようとするこの愛を私たちは理解できません。この執拗な働きは黙示録に表されています。

1) イエスはいつも何をしていますか？

A: 「見よ、私はドアのところに立ってノックしています。誰かがわたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは彼のところに入って彼と一緒に食事をし、彼もわたしと一緒に食事をするだろう」 (黙示録3:20)。

今日私たちが神の声を聞き、神に心を開くなら、私たちは確かに神が私たちに与えてくださる赦しと聖化を信じる信仰を持つでしょう。したがって、私たちに残されているのは、受け取った信仰の賜物に感謝し、それを心の中に留めておくことです。それをこの世の何物とも交換しないでください。パウロはこうして歩きました。彼はこの世のすべてのものを糞便とみなし、それらをキリストから受けた信仰と交換しようとはしませんでした。彼は人生の終わりにこう言いました。「私はよく戦い、自分の歩みを終え、信仰を守り続けました。」 (IIテモテ4:7) 末日聖徒はそうするだろう。私たちもその一員になれるように！

木曜日

「彼らは神の戒めとイエスの信仰を守っています」 (黙示録14:12)

多くの人はイエスを信じていると主張します。彼らは神を信じていますが、彼らの実際の生活は、ある程度そうしていることを示しています。テストが来ると、彼らは失敗します。キリストの場合はそうではありませんでした。

サタンがしたことは、彼の信仰を少しも動かすほどではありませんでした。彼の信仰は非常に強かったため、彼にとって御父が傍らにいらっしゃる事が現実でした。「わたしを遣わした方はわたしとともにおられます。神はわたしを一人にしておかれませんでした」 (ヨハネ 8:29)。そして無限の神の臨在のもとでは、敗北などあり得ない。彼は信仰の擁護者でした。宣教の終わりに、イエスはこう言うことができました。「この世の君主が来ましたが、彼はわたしのうちに何も持っていません」 (ヨハネ14:30)。

イエスは御父の約束がご自分の生涯において成就されることを確信していたので、すでに成就したかのように語られました。逮捕されて殺される前、彼はあたかも自分がすでに勝ったので天国に行くべきであるかのように話した。「私はもうこの世にはいません。しかし、彼らはこの世にいますので、私はあなたのところに行きます。」 (ヨハネ 17:11)。もし彼が罪を犯したら、天国に行けないだけでなく、永遠に死ぬこととなります。しかし、サタンとの戦いの最悪の部分がまだゲッセマネで戦われているため、イエスは御父のもとに行くことと述べ、敗北の可能性など考えませんでした。「信仰は、望んでいる事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠である」 (ヘブライ人への手紙11:1)。イエスは信仰を生きました。

主を見つめることによって、主の信仰を見つめることによって、私たちはそれを得ることができます。私たちは今後、サタンに敗北する可能性を考慮せず、ただ見てみることもできます。

イエスのもとに行き、イエスが歩まれたように歩いてください。これはペテロが水の上を歩いたときにしたことです。彼はそのような状態でありながら、他の人がやったことのないことを行いました。しかし、彼が目を離したときに、彼は倒れてしまいました。第三の天使は、末日聖徒はイエスを「信じる」だけでなく、「イエスの信仰」を持つだろうと主張します。そして、これは私たちが絶えずキリストに目を向け続けることによってのみ可能となるので、聖徒たちは信仰のまなざしを絶えずキリストに向け続けるであろうことを私たちは理解しています。そして、第三の天使のメッセージは、まさにそれを行うよう私たちに勧めています。

金曜日

1) 私たちの信仰におけるイエスとは何ですか？

A.: 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留めています」 (ヘブライ 12:2)。

罪を克服するには、イエスと同じ信仰を持つ必要があります。上記の聖句は、神がそのような信仰を望むすべての人にそのような信仰を与えるという約束です。彼は信仰の創始者であり完成者です。自分に救いに対する十分な信仰があるかどうか疑問に思っていますか。

主を見て、それらを忘れてください。神にはあなたの心に信仰を置く責任があります。試練の時に主は私たちを見捨てないという心に根付いた確信は、私たちが従順の道を粘り強く歩む動機となります。「人は心から信じるのが義である」 (ロマ10:10)。

そして、私たちはキリストをどのように見ているのでしょうか？聖書を読むこと。はい、イエスは「わたしは…真理である」 (ヨハネ14:6)と言われました。そして他の場所では、「あなたの言葉は真実です」 (ヨハネ17:17)。

つまり、イエスは真理なのです。彼は神の言葉です。「彼が呼ばれる名前は神の言葉です」 (黙示録19:13)。私たちはキリストの言葉を学ぶことによってキリストについて思いを巡らせます。「わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である」 (ヨハネ6:63)と彼は言いました。したがって、できるだけ多くの時間を聖書の研究に費やすことが非常に重要です。あらゆる自由な時間に、私たちは神の御言葉から得られる追加の約束を宝物にすることができます。パウロは「キリストの言葉があなたの内に豊かに宿るようにしましょう」 (コロサイ3:16)と言っています。

イエスは聖書を記憶しており、そのおかげでイエスは砂漠で悪魔に打ち勝つことができました。

「書いてあるよ」というのが、敵のそれぞれの策略に対するイエスの答えだった。私たちにも同じことができます。そしてみことばを学ぶことによって、私たちの信仰は生かされ、増大するでしょう。「信仰は聞くことによるものであり、聞くことはキリストの言葉によるものです」 (ロマ10:17)。

土曜日

命令か約束か？

「そこには、38年間も病気を患っている男性がいました。イエスは、彼が横たわっているのを見て、長い間、そのように横たわっていたのを知って、「よくなりたいたいのですか」と尋ねられたが、病人は答えた、「主よ、私には、水がかき混ぜられるときに、こう言う人はいません。私をプールに入れてもいいです。それで、私が行くと、別の人が私の前に降りてきます。イエスは彼に言った、「起きて、床を担いで歩きなさい」。その男はすぐに元気になりました。そしてベッドを取り上げて歩き始めました。」（ヨハネ 5:5-9）。

以下は、履行不可能な注文の例です。イエスは、38年間病気を続けてきた中風の人に、立ち上がって歩くように命じました。さて、もし歩くことができなくなったら、どうやって従いますか？十戒に含まれる命令もこれに似ているようです。多くの人々が「彼らに従うことは不可能だ」という叫びに同調します。そして彼らは、イエスが彼らに代わってそれらを成就してくださったに違いない、したがって神は不可能なことを彼らに強制することはないので、もはや彼らに従う必要はない、という結論に達します。しかし、歴史はまったく異なることを私たちに示しています。中風の人はその言葉を命令としてではなく、約束として捉えました。そこで彼は、今は歩けるようになると信じ、努力し、歩きました。キリストは彼に信仰を与えました。それ以来、彼の命令は履行された約束となりました。中風の人を命令に従わせたのはキリストの力であったことは明らかであり、彼自身はそうすることができる状態ではなかった。私たちも同様です。私たちは自分の力で義を実践したり戒めを守ったりすることはできません。しかし、私たちはイエスを信じているので、イエスの戒めの命令は約束です。中風の人のように、私たちも、すでにキリストからそうする権限を与えられているという確信の中で、彼らに従うよう努力することができます。そして、「私たちは歩いていきます」。私たちが従わせる力はキリストから来るので、たとえ不可能に見えても、私たちは戒めに従うでしょう。キリストは神から「すべての力」を受け取り、それを私たちに伝えてくださいました（マタイ28:18）。そして神にとって不可能なことは何もありません。したがって、私たちが従うことは不可能ではありません。それは、元麻痺した麻痺者にとっても同じくらい簡単でした。イエスを信じる人にとって、御言葉のすべての戒めは実現を可能にする約束です。

レッスン 13 – 第三の天使のメッセージ – 続き

信仰による義認

黄金の詩: 「ここに聖徒たちの忍耐がある。ここに神の戒めとイエスの信仰を守る人々がいる」黙示録 14:12。

日曜日

信仰による義認

第三の天使のメッセージは、神の戒めとイエスの信仰を守る人々を指しています。それは神からのメッセージであると考え、それは信じる者の人生において成就される約束です。したがって、それは、それを受け取るすべての男性に与えられる経験を告げるメッセージです。この経験は聖書では「信仰による義」とも呼ばれています。詩篇作者は、「あなたの戒めはすべて義です」（詩篇 119:172）と言っています。したがって、「信仰による義」は「信仰による戒めの遵守」と同じです。しかし、生まれながらに従順な人はいません。

「すべての人は罪を犯しました」（ローマ 5:12）。したがって、神は地球を見て、「義人は一人もいない、一人もいない」（ローマ 3:10）と行うことができました。それでは、どうすれば信仰を通じて義を体験できるのでしょうか? 答えは、「信仰による義認」の働きによるものです。正当化と許しは全く同じものです。「すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられません。キリスト・イエスによる贖いを通して、神の恵みによって無償で義とされる（赦される)のです」（ローマ 3:23,24）。罪深い人間が戒めを守る者に数えられる唯一の方法は、「神が彼を許す」ということです。神は「信仰によって」人間に赦しを提案しています(ローマ3:25)。これは信仰による義認の働きです。信仰によって、人は罪人の状態から神の戒めを守る者へと変わります。したがって、第三の天使が戒めに従順な人々を指摘している、私たちは、彼のメッセージには信仰による義認が含まれていると結論付けます。したがって、主の僕が次のように宣言したのには理由がないわけではありません。

「信仰による義認のメッセージは第三の天使のメッセージなのかと尋ねる手紙が何人か来ましたが、私はこう答えました。『まさに、第三の天使のメッセージです』」（『最後の出来事』、p. 172 – EGW）。

今週はこのテーマを勉強します。

月曜日

罪に正義を与える – 神の提案

私たちは善行によって罪を償うことはできません。「罪の報いは死である」（ローマ 6:23）。「罪は律法を犯すことです」（ヨハネ第一 3:4）。律法には、今日の善行が昨日の罪を償うという規定はありません。そこには正当化するものは何ともありません。

罪人。しかし、神は人間にできないことを人間に代わってやってくれます。神はご自身のために負債を負い、御子を罪人の代わりに死なせました。「神は不滅である」(1テモテ1:17)ため、彼自身は死ぬことができません。しかし、御子にはそれが可能です。彼の提案により、また自らの意志で、彼は法律が要求する借金を支払うために死ぬことを受け入れます。

私たちは「神の恵みによって無償で義とされる」のです。「神はご自身の血への信仰を通して」私たちが赦されることを「意図」されました。それで、私たちが法律に対して負っている借金は支払われます。

キリストはその代価を支払ってくださいました。神の義になかった人生が私たちの不義の人生に取って代わります。罰は無実の息子に課せられ、私たちは無実で自由の身となりました。そして、法律によって要求される支払いが支払われているため、法の正義は維持されます。十字架の犠牲を通して、神はイエスを信じる者を義とし、義とされるのです。

父と子は私たちを愛しています、それが彼らが莫大な犠牲を払った理由です。「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」(ヨハネ 3:16) 私たちは神の寛容な愛に感動し、不当な赦しに感謝しながらその提案を心から受け入れました。

神と御子に多大な苦しみを与えた私たちの罪を恥じており、私たちを赦してくださいよう謙虚をお願いします。しかし同時に、私たちは受けた許しによって安堵し、私たちを救ってくださいました方を敬い、主に従順を与えようという意欲を持って十字架の足跡を離れます。私たちと神の間にこの愛と信頼の関係が確立されると、神は私たちを正しいと宣言してくださいます。私たちを見て、私たちが受け入れるキリストの義の外套を見てください。預言者はこう言います。「わたしは主にあって大いに喜び、わたしの魂はわたしの神にあって喜ぶでしょう。神はわたしに救いの衣を着せ、義の衣をわたしに着せてくださったからです。」(イザヤ 61:10)。イエスは仲介者として私たちと神の間におられ、私たちはイエスのうちに受け入れられています。したがって、私たちの中にはそのような宣言に値するものは何もありません。キリストの義が私たちを覆うので、私たちは義であると宣言されます。

1) 信仰による義認の働きにおいて、人間はどこに誇りを持っているのでしょうか？

A: 「自慢はどこにあるのですか？」削除されました。なぜ法律なのか？作品から？いいえ；ただし信仰の法則による。」(ロマ 3:27)。

義認の働きにおいては、人間の誇ることは完全に排除されます(ロマ 16:30)。

3:27)。彼が赦しを得たのは、行いによるのではなく、信仰によるものでした。私たちが行いによってではなく、贈り物としてキリストから義を受け取るという考えは、貴重な考えです。サタンは、この単純で素晴らしい真理が私たちの強さの源であることを知っている、人々の心を覆い隠して、この単純で素晴らしい真理を理解させないことを望んでいます。しかし、聖書はこの点について非常に明確に述べています。

「では、聖書には何と書いてあるのでしょうか？アブラハムは神を信じ、それが彼にとって義であるとみなされました。

さて、働く人たちにとって、報酬は贈り物としてではなく、借金として数えられます。しかし、働かずに不敬虔な者を義とされる方を信じる者には、その信仰は義とみなされるのです」(ロマ4:2-5)。

火曜日

自己の死

罪深い人間の生涯は、キリストの生涯とは著しく対照的です。イエスを受け入れる前の罪人の人生を思い出して、パウロはこう言います。そして、わたしたちは他の者たちと同じように、生まれながらに怒りの子でした。」（エペソ 2:2,3）。キリストと罪は共存できません。それが心の中に生きるためには、私たちは前世、罪に対して死ななければなりません。「どんな僕も二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、人は、一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからである」（ルカ 16:13）。

1) 聖書によれば、罪から本当に義とされるのは誰ですか？

A.: 「罪の中で死んだ私たちは、どのように罪の中で生きればよいのでしょうか。……死んだ者は罪から義とされるからです。」（ローマ 6:2,14）。

十字架のふもとで赦しを受け入れて義とされるとき、私たちはイエスが経験したことを経験します。私たちは罪の命に対して死にます。私たちはもう彼といかなる関係も持ちたくない。私たちが天から新しい命を受け取ります。キリストを復活させたのと同じ力が父から私たちに送られています。「ですから、もしあなたがキリストとともによみがえったのであれば、上にあるもの、つまり神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探しなさい。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。あなたがたは死んで、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。」（コロサイ 3:1-3）。

この死はどのようなもののでしょうか？「自分は罪に対しては死んでいるが、キリスト・イエスにあって神に対しては生きています」といってください」（ローマ6:11）。戦いが起こるだろう。私たちに遣わされた神の霊は、私たちに聖書に従うよう促す一方で、私たちの生来の性向は、「古い人」を復活させ、古代の慣習に戻らざるを得なくなるのです。しかし、私たちが常に御霊の導きに従うなら、私たちは過去世に対しては死んだままであり、神に対しては生きてままとなるでしょう。私たちは神の御言葉の原則に従って行動します。

これはパウロがガラテヤの人々に説明したことです。「肉は御霊に対抗し、御霊は肉に敵対し、これらがどちらかに敵対するので、あなたがたは自分の思いどおりにならないからです。しかし、もしあなたが御霊に導かれているなら、あなたは律法の下にいません。」（ガラテヤ5:17,18）

水曜日

伝えられたキリストの義

「信仰によって義と認められたので、私たちは神との間に平和を持っています」（ローマ 5:1）。私たちは神が私たちのためにしてくださったことを喜び、それを誇りに思います。神は、私たちの心を征服し、神を愛するようにして、私たちが神の律法に従順にさせたことを知っています。なぜなら、赦された結果として私たちの心に芽生えた愛と神に仕えたいという願望が律法の成就であるからです。「愛は律法の成就である」（ロマ13:10）。したがって、神は、人を正当化するときに、完全に赦し、再び戒めに違反し、傾向に従って人を無力な状態に放置することはありません。

あなたの肉体の。むしろ、それはあなたの心の中に律法を確立し、あなたに従順への動機を与えます。「では、私たちは信仰によって律法を無効にするのでしょうか?全くない;しかし、律法を確立するのは私たちです」(ロマ 3:31)。

聖書には、神はキリストの義が私たちに有利であると認められることに加えて、義を私たちに伝えてくださると述べられています。「主がシオンの娘たちの汚れを洗い流し、義の霊によって彼の中からエルサレムの血を清めてくださったとき」(イザヤ書 16:3)

4:4) 義の霊はイエスによって与えられます。「そのとき、イエスは二度目に彼らに言われた、『あなたがたに平和があるように…』と言い終わると、彼らに息を吹きかけて、『聖霊を受けなさい』と言われた。」(ヨハネ 20:21)、22)。イエスは御霊によってご自身の義を私たちに伝えてくださいます。

1) イエスはどのような霊を私たちに送ってくださいますか?

A: 「そして、私は父に願います。そうすれば、父はあなたに別の慰め主を与えてくださいます…つまり、真理の御霊です。」(ヨハネ14:17)。

イエスは「あなたの言葉は真実です」(ヨハネ17:17)と言われました。そうすれば、真理の御霊は常に御言葉と調和するでしょう。多くの人は、自分は神の御霊に導かれていると言いながら、御言葉に反して歩んでいます。神の真の御霊は常に、聖書に明らかにされた神のご意志に調和して歩むように人を導きます。詩編作者はより具体的に、「あなたの律法は真理です」(詩 119:142)と言っています。したがって、イエスによって伝えられた御霊は常に信者が律法の戒めに従うことを可能にし、導くだろうと私たちは結論します。彼は聖霊に満たされており、その人生は神の戒めに最も一致しています。

次のことを黙想してください: あなたは聖霊に満たされていますか?時の緊急性を考えると、私たちはイエスが私たちに聖霊を注いでくださるよう、もっと執拗に神に叫ぶべきではないでしょうか。

木曜日

御霊の約束

「主を知り、主を知り続けましょう。彼の出発は夜明けのように確実である。そして彼は雨のように、地を潤す後の雨のように、私たちのところに来てくださいます」(ホセ6 :2,3)。

聖霊は水にたとえられます。イエスはこう言われました。「わたしを信じる者は、聖書に書いてあり、内側から生ける水の川が流れ出るでしょう。さて、神は御霊についてこう言われました。御霊は御子を信じる者が受けるであろう」(ヨハネ 7:38,39)。したがって、聖霊が人間に注がれることは、地上に水の雨が降ることにたとえられます。

イスラエルの地での小麦の植え付けは、「早雨」と呼ばれる最初の雨が降る直前に行われました。植物が成長して穂ができました。その後、収穫前の最後の雨が降り、穀物を成熟させました。それは「後の雨」と呼ばれていました。その後、収穫が来ました。これはすべて、救いの計画に関する生きた指導でした。イエスは昇天してすぐ、復活後、地上の教会に聖霊を送りました。これはキリスト教時代の初めに、教会の霊的成長を促進するために送られた初期の雨でした。終わりの時、キリストが地上に聖徒たちを求めて大いなる収穫を刈り取る直前に、キリストは再び御霊を豊かに注ぎ出される。これは後の雨であり、地上の人々の収穫が熟し、神の戒めとイエスの信仰を守る人々であるキリストが来て小麦を集めることができるようになります。

パウロは、信仰によってイエスを受け入れる人々に霊が注がれることを示しています。

ガラテヤの人々に手紙を書き、彼らが聞いた十字架につけられたキリストの説教と、そのメッセージを信じたときに受け取った賜物を思い出させながら、彼はこう言いました。あなたを魅了したのは、誰の目の前で十字架につけられたイエス・キリストでしたか？私があなたに聞きたいのはこれだけです。あなたが御霊を受けたのは律法の行いによってでしたか、それとも信仰をもって聞くことによってでしたか？」（ガラテヤ 3:1,2）。彼らが十字架につけられた救い主を見て彼を受け入れたとき、聖霊を受けました。ホセアは私たちに主イエスを知り続けるように勧めています。そうすることで、「夜明けのように、あなたの外出は確実です。そして彼は雨のように、地を潤す後の雨のように、私たちのところに来てくださいます。」御言葉の中で明らかにされているイエスのご性質と働きを粘り強く知る人々には、最後にして最も豊かな御霊の注ぎが約束されています。それを受け取る人は、いよいよ収穫の時を迎えます。彼らは、第三の天使によって示されたグループに数えられます。「神の戒めとイエスの信仰を守る人々がここにいます」。

彼らは準備ができており、イエスはそれらをご自分のものだと主張するために来られます。彼らは死を経験することはありませんが、生きのまま天国に移されます。ホセアのアドバイスは、私たちが彼らの一員になれるように備えるよう勧めています。ですから、イエスが雨のように私たちのところに来られるように、イエスをもっと知り続けましょう。アーメン！

金曜日

「主を知り、知り続けましょう」オーセ。 6:2

私たちはイエスをどのように考えるでしょうか？

聖書はキリストの生涯のさまざまな段階を私たちに明らかにしています。「初めに言葉があり、言葉は神のうちにあった。」（ヨハネ 1:1 - 原文に忠実、ティンダル訳）。そして、聖書はイエスの誕生を次のように報告しています。「山が築かれる前、丘ができる前、神がまだ畑のある地を造っておらず、世の塵の始まりもなかったとき」（箴言 8:25）、26）。この誕生は「永遠の日に起こりました（ミカエル 5:2）。それ以来、イエスは「神の姿で」（フィリピ 2:6）存在し、約 2000 年前に「言葉が肉となった」（ヨハネ 14:8）まで存在しました。そこでイエスは「ご自身を無にして召使の姿をとり、人間と同じように造られました。そして、外見が人間であることに気づき、へりくだって、

死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順です。それゆえ、神もまた彼を高く評価されたのです」（ピリピ 2:7-9）。そして復活して天に昇り、「彼は神に大祭司と呼ばれ、神に従うすべての人に永遠の救いの作者となられた」（ヘブル5:10）。そこで彼は、神と人との間の唯一の仲介者として今日に至るまで残り（1テモテ2:5）、私たちのために執り成し、私たちを完全にするために御霊の賜物をすべて与えてくださいました。これらすべてのトピックについて、私たちは主を知り続けるためにさらに深く掘り下げることができます。

キリストは、その栄光と善良さにおいて、神の姿をとり、神と同等であり、私たちのために、私たちの罪深い人間のレベルまでご自身を卑下してくださいました。人の前で人としてへりくだることによって、さらに低くなることになります。すべての人の罪を自分自身に負うことによってさらに低くなり、最悪の罪人として数えられます。したがって、下降し、死を経験し、最初の死の眠りから休むだけでなく、罪人にとっては火の湖に相当する第二の死も与えられます。柔和な小羊は、私たちのために、私たちを回復させるために、屈辱のはしごを一步一步下りていきました。そして、それだけでは十分ではなかったかのように、天に昇って私たちのために働き続け、私たちの痛みに耐え、勝利を助け、私たちが受けるに値しないのに、神の言葉で約束されているすべての栄光を私たちに与えてくれました。これらはすべて私たちの瞑想のテーマです。このような崇高な真理の瞑想に我を忘れるとき、私たちは主の愛を吸収し、主の愛に染まり、主のようになるのです。「主の御霊によって、同じ姿において、栄光から栄光へと変えられていくのです」（IIコリント3:18）。

土曜日

まとめ

今週私たちは、第三の天使のメッセージに含まれる福音の基本的な真理を学びます。彼らは：

私たちは行いによってではなく、イエスへの信仰によって神によって義とされるのです。キリストの義は贈り物として私たちに与えられます。この貴重な考えは私たちの心から決して逃げてはなりません。この祝福された経験を実現するには、私たちは罪に対して死ななければなりません。キリストとの出会いによって、世界はその魅力を失い、私たちは愛と正義を勝ち取ります。しかし、私たちは昔の罪の生活に戻りたいという傾向を克服するのに苦労するでしょう。したがって、神は私たちが赦され義とされるためにキリストの義を私たちに与えてくださることに加えて、私たちの中で罪に対して働いて勝利を与えるために、御霊を通してキリストの義を私たちに伝えてくださいます。

私たちがキリストとその義についてますます知るにつれて、私たちはキリストに似たものに変えられていくのです。ついには、キリストが「後の雨のように」私たちのところに来て、御霊を豊かに注ぎ、天の雲の中ですぐにキリストに会える備えをしてくださるのです。死によって、キリストの再臨の際に翻訳されたすべての人々

彼らはこれらすべてのステップを経験しているでしょう。そして、彼らはキリストを知るにつれて、その知識を世界に伝えるようになるでしょう。

「世界に与えられる最後の恵みのメッセージは、神の愛の性質の啓示です。神の子らは、神の恵みが彼らに何をしてくださったかを明らかにしなければなりません。」 「キリストの義のメッセージは地球の端から端まで響き渡り、主の道を備えます。これは、第三の天使のメッセージを締めくくる神の栄光である。」 (『最後の出来事』、p.

173、EGW) 。アーメン！